


**2023 年度  
兵庫県保健師キャリア支援センター事業  
実績報告書**

**2024 年 3 月**  
**兵庫県保健師キャリア支援センター**  
**公立大学法人 神戸市看護大学**





# 目 次

## 緒 言

|                         |     |
|-------------------------|-----|
| 兵庫県保健師キャリア支援センター3年目に寄せて | ……3 |
|-------------------------|-----|

## 1. 兵庫県保健師キャリア支援センター事業

### 1) 兵庫県保健師人材育成研修

|              |      |
|--------------|------|
| (1) 新任期保健師研修 | ……11 |
|--------------|------|

|                       |      |
|-----------------------|------|
| 2023 年度 新任期保健師研修会実施要領 | ……11 |
|-----------------------|------|

|                       |      |
|-----------------------|------|
| 2023 年度 新任期保健師研修会実施状況 | ……21 |
|-----------------------|------|

|                       |      |
|-----------------------|------|
| 2023 年度 新任期研修会アンケート結果 | ……24 |
|-----------------------|------|

|                          |      |
|--------------------------|------|
| 新任期保健師研修会(前期Ⅰ研修) アンケート結果 | ……24 |
|--------------------------|------|

|                          |      |
|--------------------------|------|
| 新任期保健師研修会(前期Ⅱ研修) アンケート結果 | ……36 |
|--------------------------|------|

|                         |      |
|-------------------------|------|
| 新任期保健師研修会(後期研修) アンケート結果 | ……48 |
|-------------------------|------|

|              |      |
|--------------|------|
| (2) プリセプター研修 | ……61 |
|--------------|------|

|                       |      |
|-----------------------|------|
| 2023 年度 プリセプター研修会実施要領 | ……61 |
|-----------------------|------|

|                       |      |
|-----------------------|------|
| 2023 年度 プリセプター研修会実施状況 | ……63 |
|-----------------------|------|

|                          |      |
|--------------------------|------|
| 2023 年度 プリセプター研修会アンケート結果 | ……64 |
|--------------------------|------|

|                 |      |
|-----------------|------|
| (3) 地域ケアの総合調整研修 | ……68 |
|-----------------|------|

|                           |      |
|---------------------------|------|
| 2023 年度 地域ケアの総合調整研修事業実施要領 | ……68 |
|---------------------------|------|

|                          |      |
|--------------------------|------|
| 2023 年度 地域ケアの総合調整研修会実施状況 | ……71 |
|--------------------------|------|

|                             |      |
|-----------------------------|------|
| 2023 年度 地域ケアの総合調整研修会アンケート結果 | ……73 |
|-----------------------------|------|

### 3) 保健師及び地域保健に携わる関係者への調査研究

|                   |      |
|-------------------|------|
| (1) 2023 年度調査研究課題 | ……79 |
|-------------------|------|

### 4) 保健師キャリア支援(再就業支援含む)

|               |      |
|---------------|------|
| (1) 保健師キャリア相談 | ……83 |
|---------------|------|

|                  |      |
|------------------|------|
| 2023 年度保健師キャリア相談 | ……83 |
|------------------|------|

|                    |      |
|--------------------|------|
| 2023 年度保健師キャリア相談実績 | ……84 |
|--------------------|------|

|                   |      |
|-------------------|------|
| (2) 保健師就業・復職支援研修会 | ……85 |
|-------------------|------|

|                           |      |
|---------------------------|------|
| 2023 年度 保健師就業・復職支援研修会実施要領 | ……85 |
|---------------------------|------|

|                           |      |
|---------------------------|------|
| 2023 年度 保健師就業・復職支援研修会実施状況 | ……87 |
|---------------------------|------|

|                              |      |
|------------------------------|------|
| 2023 年度 保健師就業・復職支援研修会アンケート結果 | ……88 |
|------------------------------|------|

|              |      |
|--------------|------|
| (3) オンデマンド研修 | ……90 |
|--------------|------|

|                 |      |
|-----------------|------|
| 2023 年度オンデマンド研修 | ……90 |
|-----------------|------|

### 5) 総括

|                             |      |
|-----------------------------|------|
| 2023 年度兵庫県保健師キャリア支援センター事業総括 | ……95 |
|-----------------------------|------|

|                       |        |
|-----------------------|--------|
| <b>2. 巻末資料</b>        |        |
| 兵庫県保健師の現任教育体系         | ・・・99  |
| 自治体保健師の標準的なキャリアラダー    | ・・・100 |
| 兵庫県保健師キャリア支援センター事業    | ・・・104 |
| 新任期保健師研修 専門的能力評価表     | ・・・105 |
| 保健師キャリア相談チラシ          | ・・・110 |
| 兵庫県保健師キャリア支援センターチラシ   | ・・・111 |
| 兵庫県保健師キャリア支援センター事務局名簿 | ・・・112 |
| <b>編集後記</b>           | ・・・113 |

# 緒 言



## 兵庫県保健師キャリア支援センター3年目に寄せて

兵庫県保健師キャリア支援センターが発足して3年目の節目を迎えることができました。平素より関係機関の皆様のご理解とご支援を賜り、日々活動を継続できておりますことに感謝申し上げます。

さて、当センターでは、兵庫県保健師人材育成ガイドラインに基づく人材育成研修や、キャリアアップを図るための相談・支援、保健師活動に関する調査研究や情報発信等、地域で活動される保健師の方々の資質向上につながる様々な取組を行っています。今年度は、兵庫県市町保健師協議会での情報提供を始め、他県からのお問い合わせや学会での活動報告の場など、当センターの活動を発信させていただく機会もございました。

5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行されてから、次第にコロナ禍以前に近い環境で研修や事業を行うことができるようになりました。参加者からは、他機関の保健師と対面で交流でき、顔を見てコミュニケーションや情報交換ができる喜びの声を多くお寄せいただいております。新任期保健師研修では、先輩・中堅期保健師の講話やファシリテーターから学びを得たり、プリセプター研修で年代を問わず情報交換するなど、横のつながりのみならず、年代を超えた保健師同士の交流により、新たな気づきや活動のモチベーションを高めることにもつながり、スキルアップや保健師活動伝承の一翼を担うこともできました。一方で、様々な職歴を有する保健師採用の増加を背景とした、効果的な人材育成も新たな課題となってきております。

また、昨年度から再開した地域ケアの総合調整研修では、自治体と大学がチームを組んで、科学的手法を用いて保健活動の課題を明確にし、根拠に基づいて課題解決につなげる取組を行っております。今年度は3チームから実践報告をいただきました。これにより、各機関における効果的な保健活動を支援するとともに、行政機関と大学をつなぐ契機となり、協働体制の強化につながることを期待しています。

研修や事業を通して当センターの活動が少しずつ浸透してきているところではございますが、今後も積極的に情報発信を行い、保健師活動の資質向上や、貴重な人脈づくり及び現場と大学をつなぐ場としてもご活用いただくことを期待しております。今後とも保健師の皆様と共に取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。

兵庫県保健師キャリア支援センター事務局代表

公立大学法人 神戸市看護大学いちかんダイバーシティ看護開発センター長 岩本 里織





## 1. 兵庫県保健師キャリア支援センター事業







## 1)保健師人材育成研修



## (1) 新任期保健師研修

2023 年度 新任期保健師研修会実施要領

### 1. 目的

行政機関で公衆衛生に携わる新任期保健師が、公衆衛生看護活動の原点である個別支援の重要性を学び、対象及び地域の理解を深め、地域特性を踏まえた上で、地域の健康課題解決に向けた事業の展開につなげる、保健師活動の一連のプロセスを理解し、実践できる能力を養うことを目的とする。

### 2. 目標

- (1) 個別支援において、相談者と信頼関係を築くことの大切さや、生活者としての価値観、思いを踏まえた上で支援することの重要性を理解することができる。併せて、情報収集からアセスメント、課題の明確化及び課題に応じた目標設定、訪問計画、実施、評価という一連のプロセスを理解し、実践することができる。
- (2) 地域診断において、個別支援から把握した情報をはじめ、日常的な保健活動から得られる情報・データの内容及び重要性を理解することができる。これらを実践し、地域全体の健康課題について明らかにするとともに、地域の強みを活かした事業展開（目標設定及び計画立案まで）を実践することができる。
- (3) 地域の関係機関と連携して立案した事業計画を実際に行い、評価・修正するといった、PDCA の一連の過程について理解することができる。また、最終的に評価計画に基づいた事業評価を行うことができる。

### 3. 実施主体

兵庫県（運営：兵庫県保健師キャリア支援センター）

### 4. 対象

新任期保健師（原則採用後 3 年未満の保健師で、非常勤等含む。）

### 5. 内容

- 1 年目相当 個別支援（情報収集、アセスメント、目標・課題設定、支援計画作成等）
- 2 年目相当 地域診断（地域診断の方法及び実践、PDCA サイクルとの関係等）
- 3 年目相当 地域診断に基づく PDCA（保健事業の計画と評価、地域ケアシステムの構築）

### 6. スケジュール※プログラムは別紙 1～4 参照

#### (1) 前期 I 研修（オンライン研修）※研修 URL は研修案内文書に記載

##### 1) 1 年目相当（個別支援）：

日時：5 月 18 日（木）9:30～12:00

内容：①講義「個別支援について（仮題）」

講師：神戸大学大学院教授 和泉比佐子氏

②講義「1 年目の課題の取り組み方について」

講師：県庁健康増進課

##### 2) 2 年目相当（地域診断）：

日時：5 月 23 日（火）9:30～12:00

内容：①講義「地域診断について（仮題）」

講師：神戸大学大学院教授 和泉比佐子氏

②講義「2 年目の課題の取り組み方について」

講師：県庁健康増進課

##### 3) 3 年目相当（地域診断に基づく PDCA）：

日時：5 月 25 日（木）9:30～12:00

内容：①講義「地域診断に基づく事業計画と評価について（仮題）」

講師：神戸大学大学院教授 和泉比佐子氏

②講義「3 年目の課題の取り組み方について」

講師：県庁健康増進課

## (2) 前期Ⅱ研修（対面研修）

### 1) 1年目相当（個別支援）：

日時：9月6日（水）10:00～16:30

会場：神戸国際会館 9階 大会場

神戸市中央区御幸通8丁目1番6号

内容：①先輩保健師からの講話「研修の学びと後輩保健師に伝えたいこと（仮題）」

②グループワーク及び全体発表、課題への助言指導（中間）

### 2) 2年目相当（地域診断）：

日時：9月21日（木）10:00～16:30

会場：神戸国際会館 9階 大会場

神戸市中央区御幸通8丁目1番6号

内容：①先輩保健師からの講話「研修の学びと後輩保健師に伝えたいこと（仮題）」

②グループワーク及び全体発表、課題への助言指導（中間）

### 3) 3年目相当（地域診断に基づくPDCA）：

日時：9月27日（水）10:00～16:30

会場：神戸国際会館 9階 大会場

神戸市中央区御幸通8丁目1番6号

内容：①先輩保健師からの講話「研修の学びと後輩保健師に伝えたいこと（仮題）」

②グループワーク及び全体発表、課題への助言指導（中間）

## (3) 後期研修（対面研修）

### 1) 1年目相当（個別支援）：

日時：1月12日（金）10:30～16:00

会場：兵庫県民会館 11階 パルテホール

神戸市中央区下山手通4丁目16番3号

内容：①中堅期以降保健師による講話「個別支援の実際（仮題）」

②グループワーク及び全体発表、課題への助言指導（最終）

### 2) 2年目相当（地域診断）：

日時：1月18日（木）10:30～16:00

会場：調整中

内容：①中堅期以降保健師による講話「地域診断の実際（仮題）」

②グループワーク及び全体発表、課題への助言指導（最終）

### 3) 3年目相当（地域診断に基づくPDCA）：

日時：1月26日（金）10:30～16:00

会場：調整中

内容：①中堅期以降保健師による講話「地域診断に基づく事業計画と評価の実際（仮題）」

②グループワーク及び全体発表、課題への助言指導（最終）

## (4) 各所属でのフィードバック

所属の実情に合わせて、個別指導または発表会等によるフィードバック

（個々に派遣調整・依頼する。必要に応じて様式6により、兵庫県保健師キャリア支援センターあてに派遣調整依頼も可能）

## 7. 課題の取り組み方及び提出物等について

### (1) 事前課題

1) 提出期限 5月17日（水）

2) 提出方法

健康福祉事務所及び市町ごとに事前課題をとりまとめて、それぞれが所属機関（または自治体）から直接兵庫県保健師キャリア支援センターあてのメールにて提出する。その際、メールの表題に「新任期保健師研修事前課題（〇年目）」と記載すること。（ZIPファイルで1～3年目分をまとめて送付しても可）

メールアドレス：phncenter@kobe-ccn.ac.jp



### 3) 提出物

#### ①「兵庫県保健師人材育成ガイドライン」の専門的能力評価表（研修前評価）

1 年目相当：1 個別支援（P52）

2 年目相当：2 地域診断（P53～54）

3 年目相当：3 地域診断に基づく PDCA（P55～56）

（※「3 年目相当」について、ガイドライン評価表の項目は「3 地域連携」と表記）

※自己評価及び指導保健師（プリセプター保健師、係長、専門員等）による評価を行い、自己評価及び指導保健師評価として各 1 部提出すること。

※ファイル名は以下の例のように記載して送付する。

受講者本人分の評価の場合：〇〇市受講者氏名（自己評価）

指導者による評価の場合：〇〇市受講者氏名（指導者評価）

### (2) 研修課題

#### 1) 中間提出

①提出期限 8 月 18 日（金）

②提出方法

健康福祉事務所及び市町ごとに中間課題をとりまとめて、それぞれが所属機関（または自治体）から直接兵庫県保健師キャリア支援センターあてのメールにて提出する。その際、メールの表題に「新任期保健師研修中間課題（〇年目）」と記載すること。（ZIP ファイルで 1～3 年目分をまとめて送付しても可）

③提出物（詳細は前期研修 I で説明）

1 年目：①様式 1 家庭訪問支援記録（ケースの概要と現状～訪問計画まで）

②様式 2 個別事例関連図（1 年目の様式 1 に準じた箇所まで）

2 年目：①様式 1 保健師活動計画表（個別支援から把握した情報～行政課題まで）

②様式 2 社会資源関連図（2 年目の様式 1 に準じた箇所まで）

3 年目：①様式 1 保健事業あるいは地域のシステム構築の計画のための現状分析

②様式 2 保健事業あるいは地域のシステム構築の計画と評価（評価計画まで）

③様式 2（別紙）保健活動・事業の含まれる政策・施策全体（3 年目の様式 1、2 に準じた箇所まで）

#### 2) 最終提出

①提出期限 12 月 22 日（金）

②提出方法

健康福祉事務所及び市町ごとに最終課題をとりまとめて、それぞれが所属機関（または自治体）から直接兵庫県保健師キャリア支援センターあてのメールにて提出する。その際、メールの表題に「新任期保健師研修最終課題（〇年目）」と記載すること。（ZIP ファイルで 1～3 年目分をまとめて送付しても可）

③提出物

1 年目：①様式 1 家庭訪問支援記録（今までの修正を踏まえ、完成）

②様式 2 個別事例関連図（完成）

2 年目：①様式 1 保健師活動計画表（今までの修正を踏まえ、完成）

②様式 2 社会資源関連図（完成）

3 年目：①様式 1 保健事業あるいは地域のシステム構築の計画のための現状分析

②様式 2 保健事業あるいは地域のシステム構築の計画と評価（今までの修正を踏まえ、完成）

③様式 2（別紙）保健活動・事業の含まれる政策・施策全体（今までの修正を踏まえ、完成）

### (3) 事後課題

1) 提出期限 2 月 28 日（水）

2) 提出方法

健康福祉事務所及び市町ごとに事後課題をとりまとめて、それぞれが所属機関（または自治体）から直接兵庫県保健師キャリア支援センターあてのメールにて提出する。その際、メールの表題に「新任期保健師研修事後課題（〇年目）」と記載する

こと。(ZIP ファイルで1～3年目分をまとめて送付しても可)

### 3) 提出物

#### ①「兵庫県保健師人材育成ガイドライン」の専門的能力評価表(研修後評価)

1年目相当: 1 個別支援 (P52)

2年目相当: 2 地域診断 (P53～54)

3年目相当: 3 地域診断に基づくPDCA (P55～56)

(※「3年目相当」について、ガイドライン評価表の項目は「3地域連携」と表記)

※自己評価及び指導保健師(プリセプター保健師、係長、専門員等)による評価を行い、自己評価及び指導保健師評価として各1部提出すること。

※ファイル名は以下の例のように記載して送付する。

受講者本人分の評価の場合: ○○市受講者氏名(自己評価)

指導者による評価の場合: ○○市受講者氏名(指導者評価)

#### ②研修後アンケート(後日配布)

## 8. 申し込み

### (1) 申し込み期限 5月12日(金)

### (2) 申し込み方法

健康福祉事務所及び市町ごとに別紙5の参加申込書を取りまとめて、それぞれが所属機関(または自治体)から直接兵庫県保健師キャリア支援センターあてのメールにて提出する。その際、メールの表題に「新任期保健師研修申し込み」と記載すること。

### (3) 留意事項

- ・原則として、全ての研修に参加することを前提として申し込むものとする。
- ・課題領域はグループ編成の参考とするため、十分検討の上、研修期間中同一の課題領域とすること。
- ・取り組むテーマが申し込み時に定まらない場合は、「未定」として提出してもよいが、グループ編成の都合上、6月末までには報告すること。

## 9. 研修のすすめ方

### (1) 受講者の留意事項

#### 1) 研修課題に関すること

- ①研修課題にあたっては、前期Ⅰ研修を受講し、課題に取り組む準備性を高めて臨み、所属での助言を得て作成すること。
- ②研修申し込み及び課題提出にあたっては、必ず所属機関の確認を得て行うこと。
- ③研修にあたっては、全受講者の研修課題をPDFファイルにて事前配布するので、課題作成にあたっては、配布資料とすることを前提に、個人情報等の取り扱いには十分留意して作成し、ファイルにパスワードを設定して送付すること。

#### 2) 研修時に持参するもの

- ①各自グループメンバーの資料を印刷して当日参加すること(グループは後日通知)。

### (2) 研修全体に関すること

#### 1) 研修の進め方について

- ①3か年を目途として、体系的に実施する。
- ②全ての研修に参加することを原則とする。
- ③研修は、集合研修と職場での助言指導を交えた実践型研修とする。
- ④前期Ⅱ研修及び後期研修の集合研修は、自治体保健師及び大学教員によるファシリテーターの助言のもと進める。
- ⑤各所属でのフィードバックの際に教員の派遣を希望する場合は、個々に講師と交渉し、派遣の調整・依頼を行うものとする。兵庫県保健師キャリア支援センターに県内の看護系大学の教員の派遣調整を依頼する場合は、10月31日(火)までに、「新任期保健師研修における派遣調整依頼書(別紙6)」により、兵庫県保健師キャリア支援センターあてのメールにて依頼すること。センターにおいて申し込みを受けて派遣調整を行うが、必ずしも希望に添えない場合もあることをご了承願いたい。なお、講師の派遣にかかる経費は、実施機関で負担するものとする。

#### 2) 研修に係る講師等の協力依頼及び推薦について

ファシリテーター、先輩保健師及び中堅期以降保健師の講話講師の協力については、別途依頼するものとする。

### (3) その他

#### 1) 感染予防対策等の措置について

- ① 対面研修の受講時に発熱等の症状がある場合は、事務局へ連絡の上、参加を見合わせる。
- ② 対面研修の受講者等は、マスクの着用や手指消毒等各自感染対策を講じて参加すること。
- ③ 新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては、研修の形式を変更する場合があります。その場合は、別途通知するものとする。

### 10. 問合せ先

兵庫県保健師キャリア支援センター事務局 担当：磯濱  
TEL 078-794-8084（直通） / 078-794-8080（代表）  
FAX 078-794-8084  
E-mail [phncenter@kobe-ccn.ac.jp](mailto:phncenter@kobe-ccn.ac.jp)

2023年度 新任保健師研修年間スケジュール

別紙1

| 時期          |             | 1年目                  | 2年目   | 3年目   |  |
|-------------|-------------|----------------------|---|---|--|
| 月           | 日           | 時間/会場                |   |   |  |
| 参加申込み       | 5/12(金)     | 参加申込み締め切り            |   |   |  |
| 事前課題        | 5/17(水)     | 事前課題(専門的能力評価表)提出締め切り |   |   |  |
| 【前期Ⅰ】       | 5/18<br>(木) | 会場                   | オンライン   |   |  |
|             |             | 9:30                 | 講義(個別支援)(90分) 質疑応答<br>講師:神戸大学大学院 教授<br>和泉比佐子氏 |   |  |
|             |             | 11:00                | 休憩  |   |  |
|             |             | 11:05<br>12:00       | 課題の説明(60分) 質疑応答<br>講師:県庁健康増進課                 |   |  |
|             | 5/23<br>(火) | 会場                   |   | オンライン   |  |
|             |             | 9:30                 |   | 講義(地域診断)(90分) 質疑応答<br>講師:神戸大学大学院 教授<br>和泉比佐子氏 |  |
|             |             | 11:00                |   | 休憩  |  |
|             |             | 11:05<br>12:00       |   | 課題の説明(60分) 質疑応答<br>講師:県庁健康増進課                 |  |
|             | 5/25<br>(木) | 会場                   |   |   | オンライン  |
|             |             | 9:30                 |   |   | 講義(地域診断に基づく事業計画と<br>評価)(90分) 質疑応答<br>講師:神戸大学大学院 教授<br>和泉比佐子氏 |
|             |             | 11:00                |   |   | 休憩   |
|             |             | 11:05<br>12:00       |   |   | 課題の説明(60分) 質疑応答<br>講師:県庁健康増進課                                |
|             | 8/18(金)     |                      | 研修課題(中間)提出締め切り                                |   |  |
|             | 【前期Ⅱ】       | 9/6<br>(水)           | 会場  | 神戸国際会館  |  |
|             |             |                      | 10:00   | 先輩保健師の講話(60分)                                 |  |
| 12:00       |             |                      | グループワーク<br>(日頃の活動の振り返り)(60分)                  |   |  |
|             |             |                      | 休憩  |   |  |
| 13:00       |             |                      | グループワーク(120分)<br>課題の共有・質疑応答・意見交換              |   |  |
| 15:00       |             |                      | 休憩  |   |  |
| 15:10       |             |                      | グループワーク(30分)<br>全体発表の準備・資料作成                  |   |  |
| 15:40       |             |                      | 全体発表(30分)<br>課題に取り組んでの気づき・学び・<br>今後に向けて等      |   |  |
| 16:10       |             |                      |   |   |  |
| 16:30       |             | ファシリテーターから総評         |   |   |  |
| 9/21<br>(木) |             | 会場                   |   | 神戸国際会館  |  |
|             |             | 10:00                |   | 先輩保健師の講話(60分)                                 |  |
|             |             | 12:00                |   | グループワーク<br>(日頃の活動の振り返り)(60分)                  |  |
|             |             |                      |   | 休憩  |  |
|             |             | 13:00                |   | グループワーク(120分)<br>課題の共有・質疑応答・意見交換              |  |
|             | 15:00       |                      | 休憩  |   |  |
|             | 15:10       |                      | グループワーク(30分)<br>全体発表の準備・資料作成                  |   |  |
|             | 15:40       |                      | 全体発表(30分)<br>課題に取り組んでの気づき・学び・<br>今後に向けて等      |   |  |
| 16:10       |             |                      |   |   |  |
| 16:30       |             | ファシリテーターから総評         |   |   |  |

| 時期      |             |  | 1年目                                     | 2年目   | 3年目                          |     |
|---------|-------------|--|---|---|------------------------------|-----|
| 月       | 日           | 時間/会場  |   |   |                              |     |
| 【前期Ⅱ】   | 9/27<br>(水) | 会場   |   |   | 神戸国際会館                       |     |
|         |             | 10:00  |   |   | 先輩保健師の講話(60分)                |     |
|         |             | 12:00  |   |   | グループワーク<br>(日頃の活動の振り返り)(60分) |     |
|         |             |  |   |   | 休憩                           |     |
|         |             | 13:00  |   |   | グループワーク(120分)                |     |
|         |             | 15:00  |   |   | 課題の共有・質疑応答・意見交換              |     |
|         |             |  |   |   | 休憩                           |     |
|         |             | 15:10  |   |   | グループワーク(30分)<br>全体発表の準備・資料作成 |     |
|         |             |  |   | 全体発表(30分)<br>課題に取り組んでの気づき・学び・<br>今後に向けて等        |                              |     |
|         |             | 16:10  |   |   |                              |     |
|         |             | 16:30  |   |   | ファシリテーターから総評                 |     |
|         |             | 12/22(金)   | 研修課題(最終)提出締め切り                          |   |                              |     |
| 【後期】    | 1/12<br>(金) | 会場   | 兵庫県民会館                                  |   |                              |     |
|         |             | 10:30  | 個別支援の実際(講話)(60分)<br>講師:中堅期以降の保健師        |   |                              |     |
|         |             | 11:30  |   |   |                              |     |
|         |             |  | 休憩                                      |   |                              |     |
|         |             | 12:30  | グループワーク(120分)<br>課題・研修全体を通して<br>学び等意見交換 |   |                              |     |
|         |             | 14:30  |   |   |                              |     |
|         |             |  | 休憩                                      |   |                              |     |
|         |             | 14:40  | グループワーク(30分)<br>全体発表の準備・資料作成            |   |                              |     |
|         |             | 15:10  | 全体発表(30分)<br>課題や研修全体での気づき・学び・<br>今後に向けて |   |                              |     |
|         | 15:40       |  |   |   |                              |     |
|         | 16:00       | ファシリテーターから総評   |   |   |                              |     |
|         | 1/18<br>(木) | 会場   |   |   | 調整中                          |     |
|         |             | 10:30  |   | 地域診断の実際(講話)(60分)<br>講師:中堅期以降の保健師                |                              |     |
|         |             | 11:30  |   |   |                              |     |
|         |             |  | 休憩                                      |   |                              |     |
|         |             | 12:30  |   | グループワーク(120分)<br>課題・研修全体を通して<br>学び等意見交換         |                              |     |
|         |             | 14:30  |   |   |                              |     |
|         |             |  | 休憩                                      |   |                              |     |
|         |             | 14:40  |   | グループワーク(30分)<br>全体発表の準備・資料作成                    |                              |     |
|         |             | 15:10  |   | 全体発表(30分)<br>課題や研修全体での気づき・学び・<br>今後に向けて         |                              |     |
|         | 15:40       |  |   |   |                              |     |
|         | 16:00       |  | ファシリテーターから総評                            |   |                              |     |
|         | 1/26<br>(金) | 会場   |   |   |                              | 調整中 |
|         |             | 10:30  |   | 地域診断に基づく事業計画と評価の<br>実際(講話)(60分)<br>講師:中堅期以降の保健師 |                              |     |
| 11:30   |             |  |   |   |                              |     |
|         |             | 休憩   |   |   |                              |     |
| 12:30   |             |  | グループワーク(120分)<br>課題・研修全体を通して<br>学び等意見交換 |   |                              |     |
| 14:30   |             |  |   |   |                              |     |
|         |             | 休憩   |   |   |                              |     |
| 14:40   |             |  | グループワーク(30分)<br>全体発表の準備・資料作成            |   |                              |     |
| 15:10   |             |  | 全体発表(30分)<br>課題や研修全体での気づき・学び・<br>今後に向けて |   |                              |     |
| 15:40   |             |  |   |   |                              |     |
| 16:00   |             | ファシリテーターから総評   |   |   |                              |     |
| 事後課題    | 2/28(水)     | 事後課題①研修事後アンケート及び②専門的能力評価表提出締め切り                      |   |   |                              |     |
| 2月下旬～3月 |             | 各所属の実情に合わせて、受講者へのフィードバック(個別指導、合同発表会等) ※必要時教員の派遣依頼も可能 |   |   |                              |     |

2023年度 新任期保健師研修年間スケジュール(1年目)

別紙2

| 時期          |             |       | 1年目   |
|-------------|-------------|-------|---|
| 月           | 日           | 時間/会場 |   |
| 参加申込み       | 5/12(金)     |       | 参加申込み締め切り   |
| 事前課題        | 5/17(水)     |       | 事前課題(専門的能力評価表)提出締め切り  |
| 【前期Ⅰ】       | 5/18<br>(木) | 会場    | オンライン   |
|             |             | 9:30  | 講義(個別支援)(90分) 質疑応答<br>講師:神戸大学大学院 教授<br>和泉比佐子氏               |
|             |             | 11:00 | 休憩  |
|             |             | 11:05 | 課題の説明(60分) 質疑応答<br>講師:県庁健康増進課                               |
|             |             | 12:00 |   |
|             | 8/18(金)     |       | 課題(中間)提出締め切り  |
| 【前期Ⅱ】       | 9/6<br>(水)  | 会場    | 神戸国際会館  |
|             |             | 10:00 | 先輩保健師の講話(60分)   |
|             |             | 12:00 | グループワーク<br>(日頃の活動の振り返り)(60分)                                |
|             |             |       | 休憩  |
|             |             | 13:00 | グループワーク(120分)<br>課題の共有・質疑応答・意見交換                            |
|             |             | 15:00 | 休憩  |
|             |             | 15:10 | グループワーク(30分)<br>全体発表の準備・資料作成                                |
|             |             | 15:40 | 全体発表(30分)<br>課題に取り組んでの気づき・学び・<br>今後に向けて等                    |
|             |             | 16:10 |   |
|             |             | 16:30 | ファシリテーターから総評  |
|             | 12/22(金)    |       | 課題(最終)提出締め切り  |
| 【後期】        | 1/12<br>(金) | 会場    | 兵庫県民会館  |
|             |             | 10:30 | 個別支援の実際(講話)(60分)<br>講師:中堅期以降の保健師                            |
|             |             | 11:30 | 休憩  |
|             |             | 12:30 | グループワーク(120分)<br>課題・研修全体を通して<br>学び等意見交換                     |
|             |             | 14:30 | 休憩  |
|             |             | 14:40 | グループワーク(30分)<br>全体発表の準備・資料作成                                |
|             |             | 15:10 | 全体発表(30分)<br>課題や研修全体での気づき・学び・<br>今後に向けて                     |
|             |             | 15:40 |   |
|             | 16:00       |       | ファシリテーターから総評  |
| 事後課題        | 2/28(水)     |       | 事後課題(①研修事後アンケート及び②専門的能力評価表)提出締め切り                           |
| 2月下旬<br>~3月 |             |       | 各所属の実情に合わせて、受講者へのフィードバック<br>(個別指導、合同発表会等)<br>※必要時教員の派遣依頼も可能 |

※スケジュールは、時間配分が変わる可能性があります。

2023年度 新任期保健師研修年間スケジュール(2年目)

別紙3

| 時期          |             |                | 2年目   |
|-------------|-------------|----------------|---|
| 月           | 日           | 時間/会場          |   |
| 参加申込み       | 5/12(金)     |                | 参加申込み締め切り   |
| 事前課題        | 5/17(水)     |                | 事前課題(専門的能力評価表)提出締め切り  |
| 【前期Ⅰ】       | 5/23<br>(火) | 会場             | オンライン   |
|             |             | 9:30           | 講義(地域診断)(90分) 質疑応答<br>講師:神戸大学大学院 教授<br>和泉比佐子氏               |
|             |             | 11:00          | 休憩  |
|             |             | 11:05<br>12:00 | 課題の説明(60分) 質疑応答<br>講師:県庁健康増進課                               |
|             |             | 8/18(金)        | 研修課題(中間)提出締め切り  |
| 【前期Ⅱ】       | 9/21<br>(木) | 会場             | 神戸国際会館  |
|             |             | 10:00          | 先輩保健師の講話(60分)   |
|             |             | 12:00          | グループワーク<br>(日頃の活動の振り返り)(60分)                                |
|             |             |                | 休憩  |
|             |             | 13:00          | グループワーク(120分)<br>課題の共有・質疑応答・意見交換                            |
|             |             | 15:00          | 休憩  |
|             |             | 15:10          | グループワーク(30分)<br>全体発表の準備・資料作成                                |
|             |             | 15:40          | 全体発表(30分)<br>課題に取り組んでの気づき・学び・<br>今後に向けて等                    |
|             |             | 16:10          |   |
|             |             | 16:30          | ファシリテーターから総評  |
|             | 12/22(金)    | 研修課題(最終)提出締め切り |   |
| 【後期】        | 1/18<br>(木) | 会場             | 調整中   |
|             |             | 10:30<br>11:30 | 地域診断の実際(講話)(60分)<br>講師:中堅期以降の保健師                            |
|             |             |                | 休憩  |
|             |             | 12:30          | グループワーク(120分)<br>課題・研修全体を通して<br>学び等意見交換                     |
|             |             | 14:30          | 休憩  |
|             |             | 14:40          | グループワーク(30分)<br>全体発表の準備・資料作成                                |
|             |             | 15:10          | 全体発表(30分)<br>課題や研修全体での気づき・学び・<br>今後に向けて                     |
|             |             | 15:40          |   |
|             |             | 16:00          | ファシリテーターから総評  |
| 事後課題        | 2/28(水)     |                | 事後課題(①研修事後アンケート及び②専門的能力評価表)提出締め切り                           |
| 2月下旬<br>~3月 |             |                | 各所属の実情に合わせて、受講者へのフィードバック<br>(個別指導、合同発表会等)<br>※必要時教員の派遣依頼も可能 |

※スケジュールは、時間配分が変わる可能性があります。

## 2023年度 新任期保健師研修年間スケジュール(3年目)

別紙4

| 時期          |              |   | 3年目   |
|-------------|--------------|---|---|
| 月           | 日            | 時間/会場   |   |
| 参加申込み       | 5/12(金)      |   | 参加申込み締め切り   |
| 事前課題        | 5/17(水)      |   | 事前課題(専門的能力評価表)提出締め切り                                  |
| 【前期Ⅰ】       | 5/25<br>(木)  | 会場  | オンライン   |
|             |              | 9:30  | 講義(地域診断に基づくPDCA)(90分) 質疑応答<br>講師:神戸大学大学院 教授<br>和泉比佐子氏 |
|             |              | 11:00   | 休憩  |
|             |              | 11:05   | 課題の説明(60分) 質疑応答                                       |
|             |              | 12:00   | 講師:県庁健康増進課  |
| 8/18(金)     |              | 研修課題(中間)提出締め切り  |   |
| 【前期Ⅱ】       | 9/27<br>(水)  | 会場  | 神戸国際会館  |
|             |              | 10:00   | 先輩保健師の講話(60分)   |
|             |              | 12:00   | グループワーク<br>(日頃の活動の振り返り)(60分)                          |
|             |              |   | 休憩  |
|             |              | 13:00   | グループワーク(120分)<br>課題の共有・質疑応答・意見交換                      |
|             |              | 15:00   | 休憩  |
|             |              | 15:10   | グループワーク(30分)<br>全体発表の準備・資料作成                          |
|             |              | 15:40   | 全体発表(30分)<br>課題に取り組んでの気づき・学び・<br>今後に向けて等              |
|             |              | 16:10   |   |
|             |              | 16:30   | ファシリテーターから総評  |
| 12/22(金)    |              | 研修課題(最終)提出締め切り  |   |
| 【後期】        | 1/26<br>(金)  | 会場  | 調整中   |
|             |              | 10:30   | 地域診断に基づく事業計画と評価の実際(講話)(60分)                           |
|             |              | 11:30   | 講師:中堅期以降の保健師  |
|             |              |   | 休憩  |
|             |              | 12:30   | グループワーク(120分)<br>課題・研修全体を通して<br>学び等意見交換               |
|             |              | 14:30   | 休憩  |
|             |              | 14:40   | グループワーク(30分)<br>全体発表の準備・資料作成                          |
|             |              | 15:10   | 全体発表(30分)<br>課題や研修全体での気づき・学び・<br>今後に向けて               |
|             |              | 15:40   |   |
| 16:00       | ファシリテーターから総評 |   |   |
| 事後課題        | 2/28(水)      |   | 事後課題(①研修事後アンケート及び②専門的能力評価表)提出締め切り                     |
| 2月下旬<br>~3月 |              | 各所属の実情に合わせて、受講者へのフィードバック<br>(個別指導、合同発表会等)<br>※必要時教員の派遣依頼も可能 |   |

※スケジュールは、時間配分が変わる可能性があります。



## 2023 年度 新任期保健師研修会実施状況

### 1. 継続研修(採用年数別研修)

#### 1) 前期 I 研修(オンライン研修)

##### (1) 1 年目相当(個別支援)

- ①日時:2023 年 5 月 18 日(木) 9:30~12:00
- ②参加状況:79 名(新任期保健師 65 名、聴講者 14 名)
- ③研修内容:講義「個別支援」  
講師:神戸大学大学院 教授 和泉 比佐子 氏  
課題説明「個別支援としての家庭訪問(1 年目)」  
講師:兵庫県保健医療部健康増進課
- ④研修結果アンケート:回答数 49 回答率 75.4% (結果は P24~28 参照)
- ⑤特記事項:本研修の課題説明は、オンデマンド研修配信(内容は P90 参照)

##### (2) 2 年目相当(地域診断)

- ①日時:2023 年 5 月 23 日(火) 9:30~12:00
- ②参加状況:88 名(新任期保健師 81 名、聴講者 7 名)
- ③研修内容:講義「地域診断」  
講師:神戸大学大学院 教授 和泉 比佐子 氏  
課題説明「地域診断(2 年目)」  
講師:兵庫県保健医療部健康増進課
- ④研修結果アンケート:回答数 55 回答率 67.9% (結果は P29~32 参照)
- ⑤特記事項:本研修の課題説明は、オンデマンド研修配信(内容は P90 参照)

##### (3) 3 年目相当(地域診断に基づく PDCA)

- ①日時:2023 年 5 月 25 日(木) 9:30~12:00
- ②参加状況:66 名(新任期保健師 52 名、聴講者 14 名)
- ③研修内容:講義「地域診断に基づく事業計画と評価について」  
講師:神戸大学大学院 教授 和泉 比佐子 氏  
課題説明「地域診断に基づく PDCA(事業計画と評価)(3 年目)」  
講師:兵庫県保健医療部健康増進課
- ④研修結果アンケート:回答数 37 回答率 71.2% (結果は P33~35 参照)
- ⑤特記事項:本研修の課題説明は、オンデマンド研修配信(内容は P90 参照)

## 2)前期Ⅱ研修

### (1)1年目相当(個別支援)

①日時:2023年9月6日(水) 10:00~16:30

②場所:神戸国際会館 9階大会場

③参加状況:79名

内訳:・新任期保健師 63名  
(健康福祉事務所 17名、中核市 16名、市町 30名)  
・ファシリテーター16名  
(大学 3名、県庁・健康福祉事務所 9名、中核市 4名)

④研修内容:・先輩保健師からの講話「2年目保健師として伝えたいこと」

講師:自治体 2年目 保健師

・グループワーク「日頃の活動の振り返り」

「課題の取組について共有・意見交換」

⑤研修結果アンケート:回答数 54 回答率 85.7% (結果は P36~40 参照)

### (2)2年目相当(地域診断)

①日時:2023年9月21日(木) 10:00~16:30

②場所:神戸国際会館 9階大会場

③参加状況:98名

内訳:・新任期保健師 78名  
(健康福祉事務所 16、中核市 23名、市町 39名)  
・ファシリテーター20名  
(大学 9名、県庁・健康福祉事務所 4名、中核市 6名、市 1名)

④研修内容:・先輩保健師からの講話「後輩保健師に伝えたいこと」

講師:自治体 3年目 保健師

・グループワーク「日頃の活動の振り返り」

「課題の取組について共有・意見交換」

⑤研修結果アンケート:回答数 58 回答率 74.4% (結果は P41~44 参照)

### (3)3年目相当(地域診断に基づくPDCA)

①日時:2023年9月27日(水) 10:00~16:30

②場所:神戸国際会館 9階大会場

③参加状況:61名

内訳:・新任期保健師 50名  
(健康福祉事務所 12、中核市 16名、市町 22名)  
・ファシリテーター11名  
(大学 3名、中核市 4名、県庁・健康福祉事務所 3名、市 1名)

④研修内容:・先輩保健師からの講話「新任期保健師に伝えたいこと」

講師:自治体 4年目 保健師

・グループワーク「日頃の活動の振り返り」

「課題の取組について共有・意見交換」

⑤研修結果アンケート:回答数 27 回答率 54.0% (結果は P45～47 参照)

### 3)後期研修

#### (1)1年目相当(個別支援)

①日時:2024年1月12日(金) 10:30～16:00

②場所:兵庫県民会館 11階 パルテホール

③参加状況:79名

内訳:・新任期保健師 63名  
(健康福祉事務所 18名、中核市 16名、市町 29名)  
・ファシリテーター16名  
(大学 3名、県庁・健康福祉事務所 9名、中核市 4名)

④研修内容:・中堅期保健師からの講話「個別支援の実際」

講師:自治体 中堅期保健師

・グループワーク「課題の取組について共有・意見交換」

⑤研修結果アンケート:回答数 56 回答率 88.9% (結果は P48～52 参照)

#### (2)2年目相当(地域診断)

①日時:2024年1月18日(木) 10:30～16:00

②場所:神戸国際会館 9階大会場

③参加状況:95名

内訳:・新任期保健師 75名  
(健康福祉事務所 14名、中核市 24名、市町 37名)  
・ファシリテーター20名  
(大学 8名、県庁・健康福祉事務所 5名、中核市 6名、市 1名)

④研修内容:・中堅期保健師からの講話「地域診断の実際」

講師:自治体 中堅期保健師

・グループワーク「課題の取組について共有・意見交換」

⑤研修結果アンケート:回答数 62 回答率 82.7% (結果は P53～57 参照)

#### (3)3年目相当(地域診断に基づくPDCA)

①日時:2024年1月26日(金) 10:30～16:00

②場所:中央区文化センター 1階 多目的ホール

③参加状況 60名

内訳:・新任期保健師 47名  
(健康福祉事務所 15名、中核市 15名、市町 17名)  
・ファシリテーター13名  
(大学 5名、県庁 4名、中核市 3名、市 1名、)

④研修内容:・中堅期保健師からの講話「PDCAに基づく保健師活動」

講師:自治体 中堅期保健師

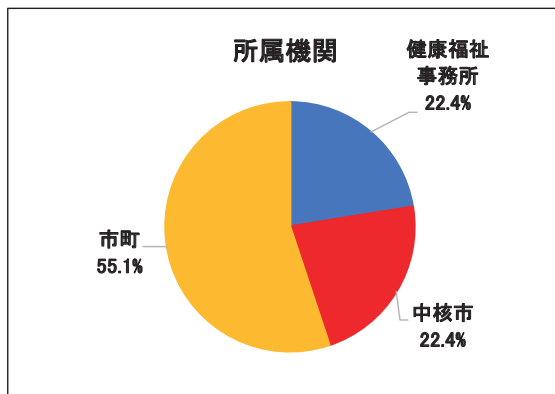
・グループワーク「課題の取組について共有・意見交換」

⑤研修結果アンケート:回答数 21 回答率 44.7% (結果は P58～60 参照)

研修参加者:65名 聴講:14名 アンケート回答者:49名(回答率75.4%)

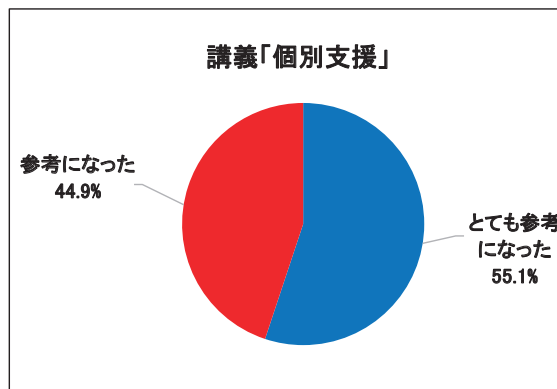
1. 研修参加者の所属機関

|         | 人数 | 割合(%) |
|---------|----|-------|
| 健康福祉事務所 | 11 | 22.4  |
| 中核市     | 11 | 22.4  |
| 市町      | 27 | 55.1  |



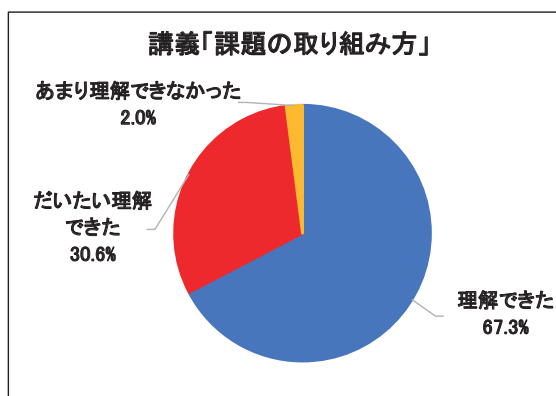
2. 講義「個別支援」

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 27 | 55.1  |
| 参考になった       | 22 | 44.9  |
| あまり参考にならなかった | 0  | 0.0   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |



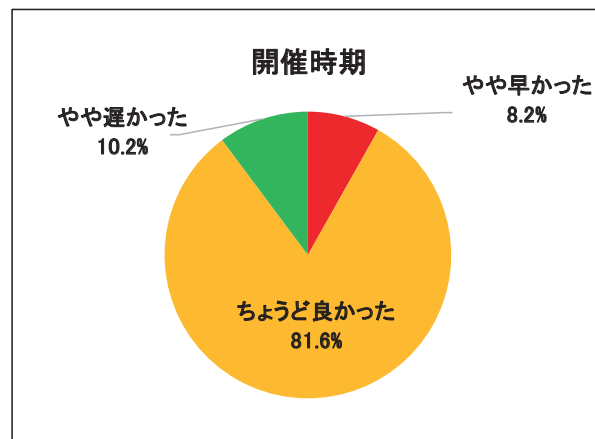
3. 講義「課題の取り組み方」

|             | 人数 | 割合(%) |
|-------------|----|-------|
| 理解できた       | 33 | 67.3  |
| だいたい理解できた   | 15 | 30.6  |
| あまり理解できなかった | 1  | 2.0   |
| 理解できなかった    | 0  | 0.0   |



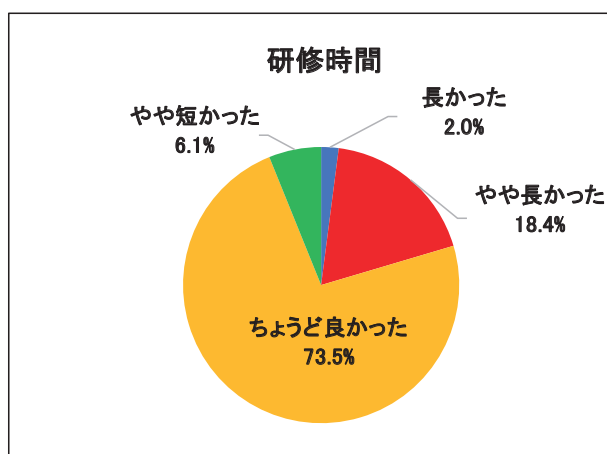
#### 4. 研修開催時期

|          | 人数 | 割合(%) |
|----------|----|-------|
| 早かった     | 0  | 0.0   |
| やや早かった   | 4  | 8.2   |
| ちょうど良かった | 40 | 81.6  |
| やや遅かった   | 5  | 10.2  |
| 遅かった     | 0  | 0.0   |



#### 5. 研修時間

|          | 人数 | 割合(%) |
|----------|----|-------|
| 長かった     | 1  | 2.0   |
| やや長かった   | 9  | 18.4  |
| ちょうど良かった | 36 | 73.5  |
| やや短かった   | 3  | 6.1   |
| 短かった     | 0  | 0.0   |



## 講義「個別支援」からの学び(主な意見)

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 個別支援の理解と振り返り(14)        | 家庭訪問の視点についてイメージ出来た。  |
|                         | 学生時代に学んできた看護理論から今後実際に行っていく支援まで知り、個別支援の重要性を理解できたから。   |
|                         | 新たに今年度から保健師活動を行う上で、個別支援における対象者の方との関わり方や、支援のあり方、事例の把握の仕方について、どのように関わったら良いのかと悩んだり、理解や知識が浅かった所があったので、今回のご講義を聴いて、個別支援への携わり方に対する理解がより深まり、今後の保健師活動に活かしていきたいと感じたため。 |
|                         | 治療とは異なる、セルフケア力の向上に努めたいと考えることができた。  |
|                         | 前職が看護師であったため、看護師と保健師としての視点の違いについても理解できました。   |
|                         | 私自身、新卒ではないため保健師としての個別支援の取り組み方を改めて確認することができて、とても良かったです。   |
| 情報収集・アセスメントの理解/振り返り(13) | アセスメントする上で、情報収集するポイントや、また、それをどのように統合すれば良いかということは学生の頃から難しいと思っていたので、今回の研修での学びを参考に課題に取り組みたいと感じた。  |
|                         | 個別支援を行うことの必要性や目的を分かりやすく説明いただいた。アセスメントの仕方について分かりやすく説明いただいた。   |
|                         | 情報提供の枠組みやアセスメントの方法などを再確認することができたため。  |
|                         | 個別支援をするにあたり、個人だけではなく、家族や地域・社会といった幅広い側面からのアセスメントが重要であることがわかった。  |
| 看護過程・理論の理解と振り返り(13)     | 学生時代に学んだ内容をおさらいすることができ、看護過程を展開していく上で本日学んだ内容を活かして研修に取り組むことができると思ったため。   |
|                         | 学習してきた発達理論などを活用しアセスメントやアプローチをしていくことが必要だと学びました。   |
|                         | 学生時代から時間が経っていたため、忘れていたことや、改めて話を聞くことで、これから業務するときに役立つと思います。  |
| 支援対象の理解・関係構築(5)         | 対象者のみではなく、対象者の家族も視点の中に入れることを学んだため。   |
|                         | 様々な側面のアセスメントを行い、対象やその家族を把握して支援していくことの重要性について改めて学びました。支援を行っていく中で、コミュニケーションの際の留意点を意識していくことで、より信頼関係が築きやすいのだと学びました。  |
|                         | 対象者をアセスメントするための基本である対象者の認識や思いをまず理解するという話を聞き、改めて意識しながら保健指導を行おうと思いました。   |

※見出しの()は回答者数を表す。以下同じ。

講義「課題の取り組み方」からの学び(主な意見)

|                  |   |
|------------------|---|
| 課題の取り組み方の理解(17)  | どのように課題を進めていったら良いのかや、課題を行う上でのポイントについて非常に丁寧に説明していただけたので、理解を深める事ができた。   |
|                  | 講義を踏まえた点が多く、講義の振り返りとともに、課題の説明と課題の目的についてよく理解することができた。  |
|                  | 実際にどのようなことを記載すればよいか、注意点も含め明確に説明されており理解が深まったため。  |
|                  | アセスメントや目標設定の仕方等学ぶことができた。  |
|                  | 対象の支援をしていく計画から家庭訪問、評価などの一連の流れやポイントを理解することができたため。  |
|                  | 様式の書き方を全般に目標設定の考え方など詳しく説明があったため。  |
|                  | あまり訪問に行っていないため、イメージを持ちながら聞くことは難しかったですが、個別支援の講義があったうえで、具体的に計画の書き方や視点を教えていただけたため、理解ができました。  |
|                  | 記載例と合わせて説明をいただいた事で、書き方など理解しやすかったです。情報収集の着眼点に記載されていた所を中心にアセスメントを行い、生活に沿った援助を考えていきたいと思います。  |
|                  | 身体的、社会的など様々な側面から対象者を捉え、カテゴリーに分けて整理することでわかりやすく書くことができるとわかったため。   |
| 家庭訪問(個別支援)の理解(9) | 家庭訪問の必要性について知ることができた、情報収集の視点や計画の進め方などわかりやすかったため。  |
|                  | 対象者を中心に日々の訪問や記録から課題を抽出し生活を支えることが重要であることがわかった。課題を見つけるために、対象者の立場になって考える事や視野を広く持つことが大切であると感じた。また、目的、アセスメント、課題、目標、計画を連動させることで根拠のある計画を立てることができると感じた。実習等から計画立案が苦手だと認識しているため、今回の講義を参考に課題に取り組みたいと考える。 |
|                  | 家庭訪問は実施経験があったが、あらためて確認することができた。   |
|                  | 訪問の際には、課題を明確にし、きちんと目的や目標を理解したうえで行うことが必要であることがわかった。  |
|                  | 優先順位の必要性を知り、問題の緊急性・重要性・困難性を予測して立てることが重要であると感じたため。   |

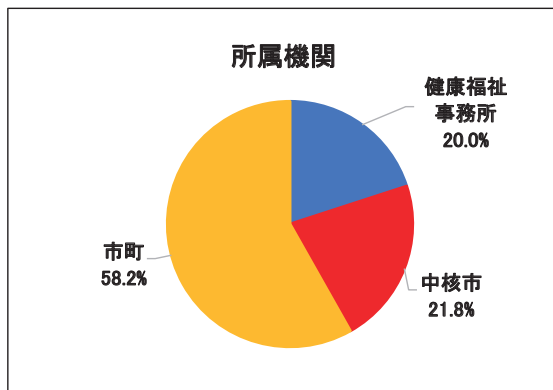
| 研修全体を通しての感想など(主な意見)              |  |
|----------------------------------|--|
| 家庭訪問(個別支援)の理解/振り返り(13)           | 保健師活動の基盤となる個別支援について、その意義や地域全体への影響を含めて理解することができた研修であった。   |
|                                  | 保健師活動において必要不可欠である家庭訪問について学ぶことができ良かったです。また、対象者や家族に対する支援方法についても学ぶことが出来ました。出来ていない所ばかりみるのではなく、強みも把握し支援していくことが重要であるということが印象に残りました。              |
|                                  | 私が所属する課では、ケース対応がほとんどないですが、個別支援の研修を受けることで今後の公衆衛生看護活動に活かすことができ、自身の能力向上にも繋がるため、積極的に研修に取り組みたいと思います。  |
|                                  | 自分の担当地区の引き継ぎが徐々にはじまってきて、ケースの把握に苦労するちょうどこの時期に研修があったので、内容を活かしていきたいと思いました。  |
|                                  | 丁寧に個別支援の計画を立て、実践できる機会をいただいたので、対象者に合わせた支援ができるよう懸命に取り組んでいきたいと思いました。  |
|                                  | 個別支援の講義と課題の説明の内容がマッチしており、理解しやすいものであった。アセスメントする際に、知識や理論を使い根拠を持ったものとなるようにしたい。また対象者のニーズを把握し、今何を優先的に実施していくのか、家族・支援者の負担を考慮した計画が立てられるようにしたいと感じた。 |
|                                  | 大学の時に習ってきた内容もありましたが、実際に業務に携わってから聞くことでなんとなくではありましたが、イメージをもちながら聞くことができ、理解にもつながりました。  |
|                                  | 訪問後に気になっていたことが解決できた。   |
| プリセプターと一緒に参加することで共通認識になり、良かったです。 |  |



研修参加者:81名 聴講:7名 アンケート回答者:55名(回答率67.9%)

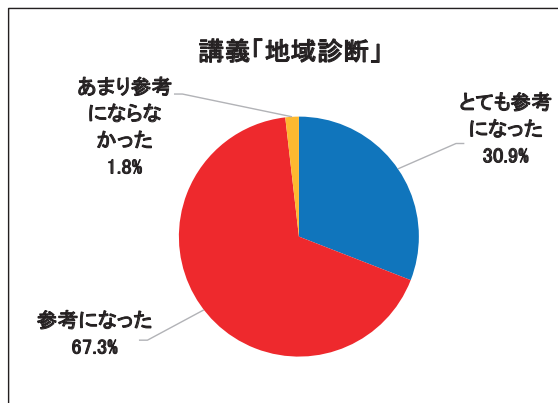
1. 研修参加者の所属機関

|         | 人数 | 割合(%) |
|---------|----|-------|
| 健康福祉事務所 | 11 | 20.0  |
| 中核市     | 12 | 21.8  |
| 市町      | 32 | 58.2  |



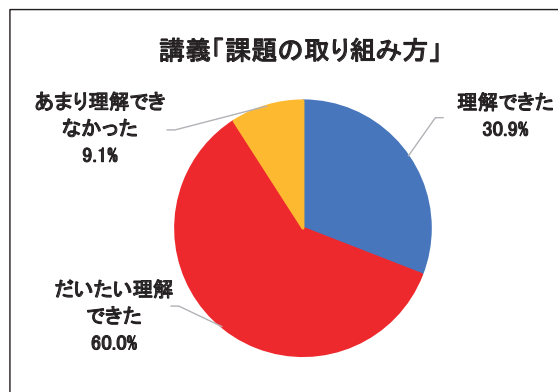
2. 講義「地域診断」

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 17 | 30.9  |
| 参考になった       | 37 | 67.3  |
| あまり参考にならなかった | 1  | 1.8   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |



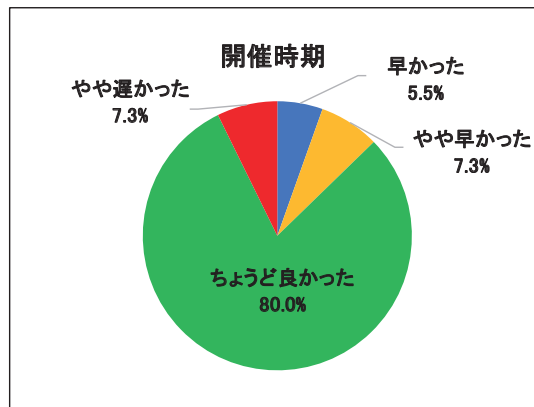
3. 講義「課題の取り組み方」

|             | 人数 | 割合(%) |
|-------------|----|-------|
| 理解できた       | 17 | 30.9  |
| だいたい理解できた   | 33 | 60.0  |
| あまり理解できなかった | 5  | 9.1   |
| 理解できなかった    | 0  | 0.0   |



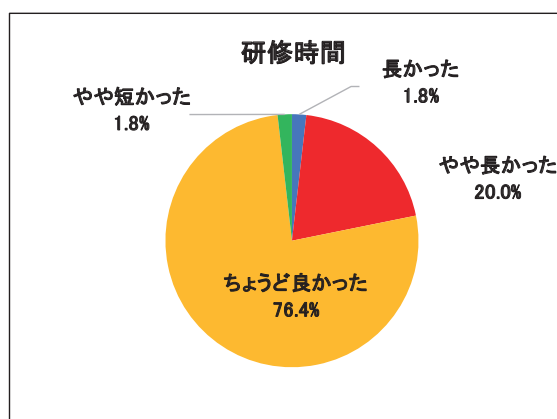
#### 4. 研修開催時期

|          | 人数 | 割合(%) |
|----------|----|-------|
| 早かった     | 3  | 5.5   |
| やや早かった   | 4  | 7.3   |
| ちょうど良かった | 44 | 80.0  |
| やや遅かった   | 4  | 7.3   |
| 遅かった     | 0  | 0.0   |



#### 5. 研修時間

|          | 人数 | 割合(%) |
|----------|----|-------|
| 長かった     | 1  | 1.8   |
| やや長かった   | 11 | 20.0  |
| ちょうど良かった | 42 | 76.4  |
| やや短かった   | 1  | 1.8   |
| 短かった     | 0  | 0.0   |



| 講義「地域診断」からの学び(主な意見) |  |
|---------------------|--|
| 地域診断の理解(13)         | 臨床の話も交えながらの地域診断について説明でわかりやすかった。  |
|                     | 具体的にどのように考えていけばよいのか教えていただく事ができ、とても参考になった。  |
|                     | 地域を見る際に必要な視点について理解が深まった。   |
|                     | 卒業してからの年数も長く知識として記憶に古いため、丁寧に講義いただいてわかりやすかったです。   |
|                     | 地域診断とはどのように行うのか、項目ごとに具体的にわかりやすく、かつ全ての項目を関連付けてご講義いただけだったので、とても参考になりました。   |
|                     | 地域診断することの意味を学べたから。   |
|                     | 地域診断を行うにあたり、まず地域を知ることの大切さは何となくでも知っているつもりだったが、どのような情報を得て、どう整理していくかという具体的な内容を今日教えていただいたと思います。とても大変なことだなと思いました。一つずつ、情報を得ていきながら視点を広げて考えていきたいと思っています。 |
|                     | 今までの訪問等での情報と根拠となるデータと照らし合わせて実施していきたい。  |
| 地域診断のプロセスの理解(7)     | 情報収集のポイントが分かった。  |
|                     | 地域診断に関する情報収集の方法や、アセスメントの方法について理解できた。   |
|                     | 地域診断の際に必要な視点や、アセスメント、分析方法について学ぶことができたため。   |
|                     | 目標設定を個人(集団)あるいはサブシステムに焦点を当てるのか、留意して設定することを学べた。   |
|                     | 課題を進めるに当たって、まず地区診断を行うプロセスを再度振り返ることが出来た。  |

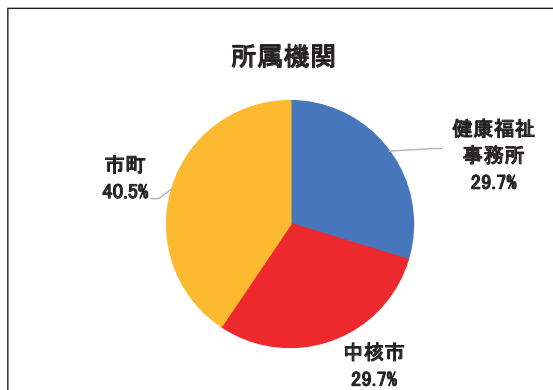
| 講義「課題の取り組み方」からの学び(主な意見) |  |
|-------------------------|--|
| 課題の取り組み方の理解(18)         | 課題の進め方を具体例にのせて説明していただき、分かりやすく理解できたため。                            |
|                         | 1つ1つの項目内容について記載の注意点もふまえて教えてくださりわかりやすかった。                         |
|                         | 課題にどう取り組めば良いか想像できていなかったが少し理解できた。                                 |
|                         | 課題内容は全てつながっており、突然項目が出てくる事がないように留意したいと感じた。                        |
|                         | 説明がわかりやすく、やり方を自分の中で考えることができた。                                    |
|                         | 各項目で例示をしていただき、どのような情報を集めれば良いのかが明確になった。                           |
| 地域診断の理解(2)              | 地域診断がどのようなものか分かった。   |
|                         | 和泉先生の講義の内容に基づいて、地域診断をどのように進めていけば良いかを知ることができたため。                  |
| その他(11)                 | 具体例があり分かりやすかったが、個別ケースがない業務で地域に出ることもないため、課題をどのように進めていくかが想像しにくかった。 |
|                         | 自分の地域で担当の業務と結びつけて考えるのが難しかったです。                                   |

| 研修全体を通しての感想など(主な意見) |  |
|---------------------|--|
| 課題に関すること(6)         | 個別ケースがない業務で地域に出ることもないため、課題をどのように進めていくかに時間を要する。基本的に新人は地区を持ったりと経験を積むと思うが、市町によって違うところもあるため課題内容のしにくさを感じます。       |
|                     | 的確な情報収集、アセスメントができるか不安になりましたが、頑張りたいと思います。   |
|                     | 課題が難しいと感じたが、日々の活動を通して地域を知っていこうと思った。  |
|                     | 十数年前に学んだ知識があやふやであり、今回の研修課題をどうすすめればよいか探っているところでした。今回研修に参加し、地域診断についてや、研修課題をどのようにすすめればよいかを学ぶことができ、とてもありがたかったです。 |
| 地域診断の理解(3)          | 地区診断についてや課題の進め方についてわかったため、ケースや地域支援者、地域の特徴を捉えていきながら課題を進めていこうと思いました。   |
|                     | 地域診断の基礎的な部分から振り返ることができたためよかった。   |
|                     | 個別支援から地域診断につながるものがわかりやすかったです。  |

研修参加者:52名 聴講:14名 アンケート回答者:37名(回答率71.2%)

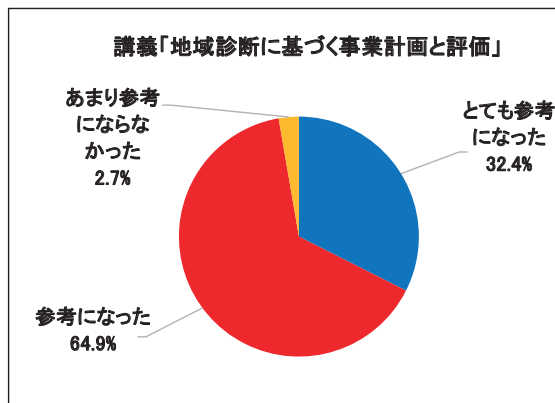
1. 研修参加者の所属機関

|         | 人数 | 割合(%) |
|---------|----|-------|
| 健康福祉事務所 | 11 | 29.7  |
| 中核市     | 11 | 29.7  |
| 市町      | 15 | 40.5  |



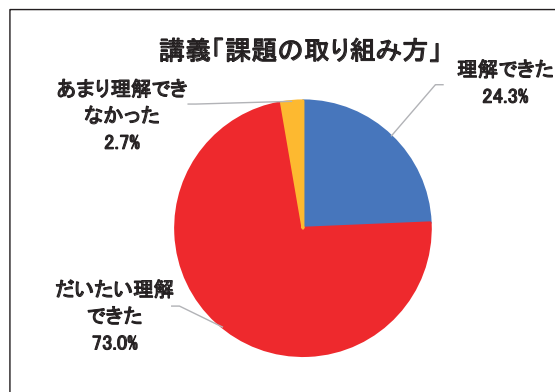
2. 講義「地域診断に基づく事業計画と評価」

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 12 | 32.4  |
| 参考になった       | 24 | 64.9  |
| あまり参考にならなかった | 1  | 2.7   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |



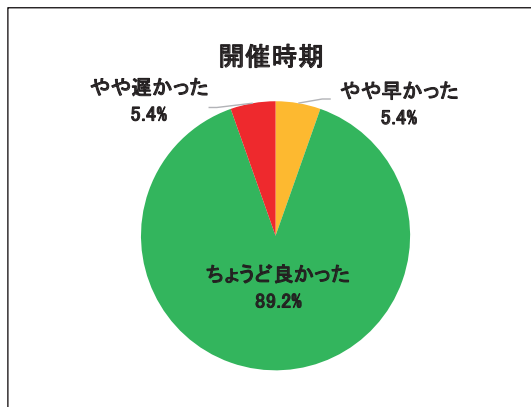
3. 講義「課題の取り組み方」

|             | 人数 | 割合(%) |
|-------------|----|-------|
| 理解できた       | 9  | 24.3  |
| だいたい理解できた   | 27 | 73.0  |
| あまり理解できなかった | 1  | 2.7   |
| 理解できなかった    | 0  | 0.0   |



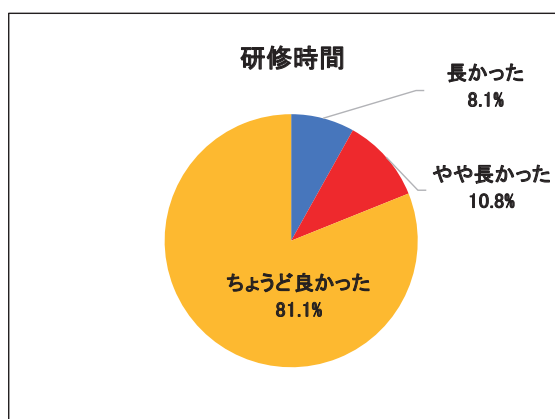
#### 4. 研修開催時期

|          | 人数 | 割合(%) |
|----------|----|-------|
| 早かった     | 0  | 0.0   |
| やや早かった   | 2  | 5.4   |
| ちょうど良かった | 33 | 89.2  |
| やや遅かった   | 2  | 5.4   |
| 遅かった     | 0  | 0.0   |



#### 5. 研修時間

|          | 人数 | 割合(%) |
|----------|----|-------|
| 長かった     | 3  | 8.1   |
| やや長かった   | 4  | 10.8  |
| ちょうど良かった | 30 | 81.1  |
| やや短かった   | 0  | 0.0   |
| 短かった     | 0  | 0.0   |



| 講義「地域診断に基づく事業計画と評価について」からの学び(主な意見) |   |
|------------------------------------|---|
| PDCAや保健事業の理解/振り返り(11)              | 健康課題には実在型、リスク型、ウェルネス型、(可能性のある健康課題)と4つに分類されることを学び、それぞれ介入方法が違うことを知り勉強になりました。その分類例も記載されていたので参考になりました。また今まで日常的に使用していた目的や目標という言葉の意味について改めて学ぶことができたので、課題を通して評価方法などと一緒に勉強したいと思います。 |
|                                    | 評価計画の立案の仕方や評価方法についてよくわかったため。  |
|                                    | 健康課題や計画策定について理解が深まったため。   |
|                                    | 健康課題を明確化するのに役立つ内容であった。  |
|                                    | PDCAには地域診断を元に事業展開する必要性を学びました。評価やプランを続けていく意義や具体的な例を示していただき、わかりやすかったです。   |
|                                    | 評価計画について、さまざまな評価視点があることがわかったため。   |
| 統計に関すること(2)                        | 大学の卒業して時間がかかり経っているので、地域保健事業の概要について復習もでき良かったです。  |
|                                    | 統計の手法について振り返る機会になりました。  |
| その他(5)                             | 分析(検定など)のやり方が参考になった。  |
|                                    | わかりやすかったです、分析そのものをあまりしたことがないので難しそうと感じました。   |
|                                    | 事業評価については内容が難しかったので、振り返りながら課題を進めていきたい。  |

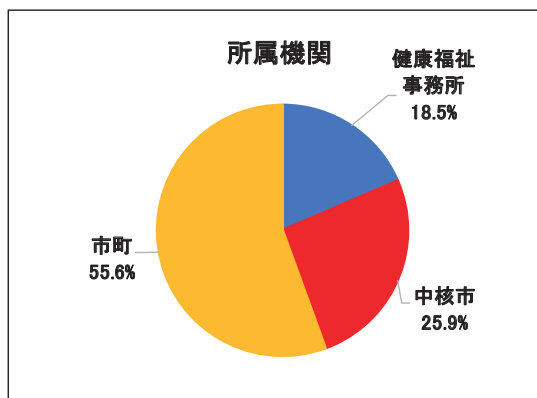
| 講義「課題の取り組み方」からの学び(主な意見) |  |
|-------------------------|--|
| 課題の取り組み方の理解(11)         | 各様式の対応方法や実施意義について理解できたから。  |
|                         | 普段の事業が地域の健康課題の上に成り立ち、評価・改善を繰り返していることを理解できたため。  |
|                         | 様式の1つ1つの項目について教えていただいたので大変わかりやすかったです。昨年度評価の部分のみ過去の課題様式を用いながら見よう見まねで作成してみたのですが、あまり理解できずでした。今回の講義を受けて様式を用いながら事業についていちから考え、今後の活動に活かしたいと思いました。 |
|                         | 2年目の課題から展開していくので、どのように課題を進めるか想像できた。  |
| その他(4)                  | PDCAを実際に取り組むことは初めてなので難しそうと感じました。   |
|                         | 事業評価だけにならないかと心配。   |

| 研修全体を通しての感想など(主な意見) |   |
|---------------------|---|
| 課題に関すること(8)         | 難しさを感じつつもやりがいがあるなと思いました。  |
|                     | 育休や部署異動があり、新たな部署での、3年目研修で不安な部分が多いがこの研修を通して事業の理解につなげたいと思った。      |
|                     | 課題に取り組むことで国や県の政策や計画、目標とすることを把握しながら健康福祉事務所で行う事業について考えていきたいと思います。 |

研修参加者:63名 アンケート回答者:54名(回答率85.7%)

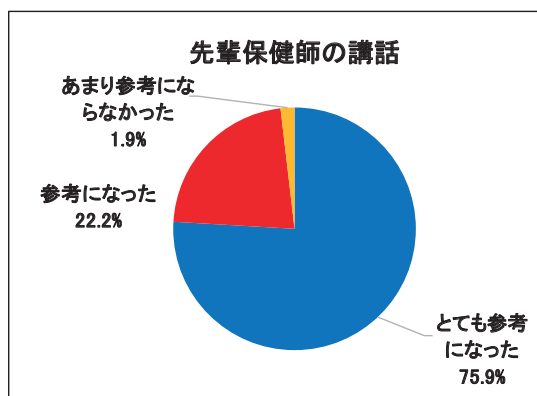
1. 研修参加者の所属機関

|         | 人数 | 割合(%) |
|---------|----|-------|
| 健康福祉事務所 | 10 | 18.5  |
| 中核市     | 14 | 25.9  |
| 市町      | 30 | 55.6  |



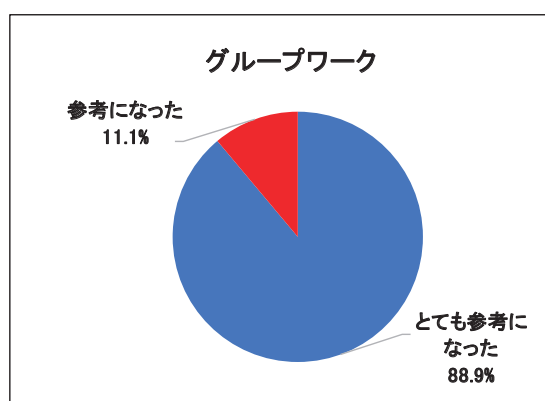
2. 先輩保健師の講話

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 41 | 75.9  |
| 参考になった       | 12 | 22.2  |
| あまり参考にならなかった | 1  | 1.9   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |



3. グループワーク

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 48 | 88.9  |
| 参考になった       | 6  | 11.1  |
| あまり参考にならなかった | 0  | 0.0   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |





| 先輩保健師の講話からの学び(主な意見)   |   |
|---|---|
| 新任期保健師としての共感(19)  | 先輩が1年目の時に困っていたことは、今の自分の悩みと重なり、「私だけではない」と少し勇気づけられた。どんな経験も学びに繋げるつもりで積極的に取り組もうと思った。  |
|   | 2年目保健師さんの講話を聞いて、私自身も今年度から新卒で保健師になったので、とても共感できる部分があり、日々の取り組み方などとてもタメになる話が多く、1年目の保健師の活動方針として、とても学びになりました。   |
|   | 今、私自身が直面している課題や困り事、悩みを、先輩も同じように感じていたことがあり、日々の業務など経験を積む中で少しずつ解決していけることもあることがわかった。2つの事例から先輩の経験を知ることができ、対象者との関わりや支援の切り込みなど、これからの業務で参考にしていきたいと感じた。            |
|   | 今まさに自分が感じたり不安になっていることを、先輩も同様に感じておられたことがわかり、前向きになれた。自分用マニュアルを作って対応をされていたことをお聞きし、参考にしようと思った。  |
|   | 自分自身も上手くいかなかったことや、成果を感じる事がなく、本当に大丈夫だったのか思い悩むことが多いですが、事例紹介の話で、自分だけではないんだなと思い、少しホッとすることができました。日々コツコツと積み重ねが大切だなと実感しました。                                      |
|   | 先輩からの講話を聞き、先輩も1年目の時は今自分が不安に思っていることと同じ様な不安や悩みを持っていたということが知れ、安心した気持ちにもなったし、今後経験をつむことでこのような不安が少しでも軽減されれば良いなと思いました。経験や知識が未熟でも対象に誠実に関わることが大切だと学べたので、今後活かしたいです。 |
| 先輩や上司とのコミュニケーション(6)   | 1人で抱え込まず周りに聞くことで新しい視点が得られたり、自分自身の現状を知ってもらえるため積極的に先輩保健師の方に声掛けなどを行いたいと思いました。  |
|   | やるべきことを整理し、周りに報告連絡相談をすることの大切さを改めて実感しました。  |
|   | 職場でのコミュニケーションが、対象者との関係づくりに役立っていくこと。   |
| 個別支援全般(16)  | 保健師の価値観ではなく対象者の価値観を大切にすることの大切さ。   |
|   | 成功例、失敗例を踏まえて、PHNとしての関わり方、距離感の重要性が理解できました。   |
|   | 困難事例から改善点を出すことができている、参考になりました。  |
|   | 対象者と長期的な関わりができ、近くで支援できることをモチベーションに取り組んでいこうと思います。  |
|   | 同じ母子業務をしているので、貴重なケースの話が聞いて良かったです。支援が難航したケースというのは、当時のことを振り返るのもしんどいかと思うのですが、当時のリアルな支援の様子を聞くことが出来て良かったです。  |
| ケースとの関係づくりや支援のタイミングが難しかったため、ケースの全体像を捉え、支援の優先順位を決めて関わる方が大切だと学んだ。 |   |
| 保健師活動全般(9)  | 支援者として認識してもらおう大切さ。やるべきことを整理し、業務をすることが大切。  |
|   | 優先順位の立て方や全体像を捉えることの重要性を学んだ。   |
|   | 日々の業務で様々なケースを対応しながら、自分の知識や経験の少なさで悩むことが多いですが、一つ一つのケースを大切に丁寧に行って経験を積んだり、コツコツ長期的な目で見て、過度に頑張りすぎず、小さな目標達成の積み重ねをすることが大切だと思いました。                                 |
|   | 積極的に業務にあたることで自ら学びを得ていくことが大切と気づいた。   |

| グループワークを通して、今後課題に取り組む上で参考になったこと、学んだこと、気づいたことなど<br>(主な意見) |  |
|--|--|
| 多角的視点からの<br>気づき(20)                                      | グループで話し合うことで自分にはない視点や考えを聞けて、計画の見直しが出来ました。また、声掛けや質問の方法を工夫する事でより対象者を理解出来るのだと学びました。   |
|  | 自分と異なる分野での視点に触れることができ、自分では気がつかないポイントを見ることができた。様々な視点を心得ることで、自分の訪問や支援がより対象者に対して豊かなものになると気づいた。  |
|  | 自分の考えをもつこと、まとめることは大事だが、必ず相談することが大切。相談することで視野が広がること、支援が広げられることを強く実感できた。   |
|  | 多方面からの意見で気づけたことも多かったので、職場でも時間を作って話す機会を作りたいです。  |
|  | グループワークを通して周囲の意見を聞くことの大切さを、改めて実感しました。他市の社会サービスを知る機会にもなり、自分の市が行っているサービス内容で、まだ自分が勉強しきれない点も振り返りたいと思いました。  |
|  | 地域特性や他市の情報を知ることで、自分も持っている情報を再度整理する機会となった。関わり方や関わる時の視点を、他の人から意見を聞くことが大切だと学びました。様々な視点を持つておくことで、他の対象者でも活用できると思いました。   |
| 対象(個人・家族)の<br>理解/信頼関係の構築<br>(12)                         | 母子だけに焦点を当てて、支援を考えていたが、家族全体をみて、母子以外の家族の力も評価した上で関わっていく必要があると感じた。また、できないことなどマイナスポイントばかりに目がいき、できないことをできるようにするためには、ということを考えがちであったことに気がついた。もっと対象の強みにも着目して、活かしていくことも視野に入れていきたい。 |
|  | 1回の訪問だけではなく、何度も行うことで関係性を築くことができることを学ぶことができた。   |
|  | 自分の価値観を押しつけるのではなく、対象者の思いや価値観を大切に支援ができるようにしたいと思います。また、困ったことに対してすぐ成果を期待したくなりますが、長期的な目で焦らず、本当に支援を必要とした時に介入できるような関係づくりを大切にしていきたいです。  |
| 個別支援全般(10)   | 情報を点でなく線で見ると、バックグラウンドも見ることができて対象をとらえたいと思った。事例を一つ取り上げたが、自分にも当てはまること(事例)があり、今後に活かしたいと思った。  |
|  | 対象者の生活の場を自分の目で見るからこそ分かり、最適な支援に繋がると思うため、家庭訪問の大切さを改めて学ぶことができた。   |
|  | 得た情報を整理し、課題を見つけ、見通しを立てた関わりの重要性や情報を得るときの具体的な視点が知れよかった。  |
|  | 拒否された事例をきくことができ個別支援の重要性、PHNが支援者であると認識してもらうことの重要性を感じた。  |
| 多職種(他機関)の<br>活動理解/連携の<br>重要性(5)                          | 生育歴や現在の状況となっている理由に目を向けることの大切さ。長い目で対象者のことを支え、自立に向けてサポートしていくことが必要。   |
|  | 関係機関との連携の大切さを学びました。  |
|  | PHNだけでなく他機関と連携すること、母への支援だけでなく、取り巻く家族を含んだ支援が必要だと思いました。  |
|  | 保健師としてケース対応する際に、連携をとることができる機関が多い事は強みだと気づいたので、関わりがないかも思っていた機関も見学など積極的に見ていくのは、1年目のチャンスなんだと思いました。   |

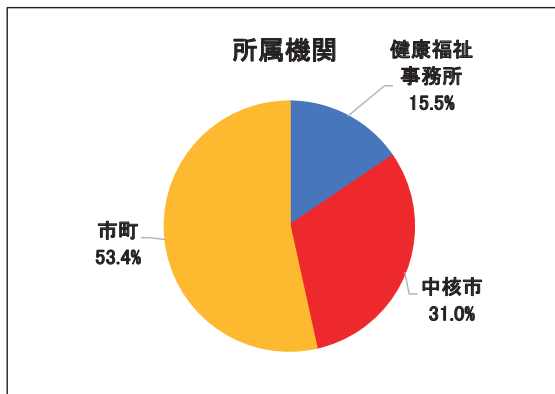
| 事前課題の作成を通じて学んだこと、課題に取り組むにあたって難しかったこと、感想など(主な意見) |  |
|---|--|
| 事例の選定(4)  | 経験が少ないので、事例の選択、事例の見通しを立てることが難しいなと思いました。  |
|   | 普段訪問を行う業務を担当していないで、対象者の選定が難しかった。   |
| 情報収集・整理/<br>アセスメント(13)                          | カテゴリを分けて情報を記載することでケースの全体像が見え、考えが深まりました。  |
|   | 多くの情報がある中で、まとめることの難しさを感じた反面、整理することで方向性がみえやすくなること、不足していることに気づくことができた。   |
|   | 時間に追われながら、仕事に追われながらと言う毎日ですが、一つ一つのケースをアセスメントできるようにしていきたいと思いました。他の人に見てもらおうと思うと、説明のためにも客観的にケースを考える時間にできたので、自分の頭の整理にもなりました。          |
| 目標設定(評価)(4)                                     | 評価期限を作るのが難しかった。  |
|   | 継続している事例であれば情報量が多いが、新規で受けたケースしかない課題に取り組む上で目標を立てることが難しかった。  |
| 計画立案(5)   | 個別性のある課題を見つける心がけて取り組みました。対象の生活に落とし込んだ支援計画ができたと思うので、実践していこうと思います。   |
|   | 課題をすることで、対象者の課題が見え、支援の展開を考えられた。支援計画の必要性を感じられた。   |
| 対象者の理解/信頼<br>関係の構築(8)                           | 事前課題の作成では対象者の全体像を理解することが難しく、指導者の方に指導していただく中で少しずつ対象者について把握することが出来たのではないかと思います。そのため、1人で考えるより相談することでより対象者を理解することが出来るのだと学びました。       |
|   | 短期間で信頼関係を気づくことの難しさを感じた。対象者が質問に答えていても、真意がつかめないと感じることもあり、正しく情報を得なければ、本当の課題は見えてこない。   |
|   | 対象者や家族の全体像を簡潔にまとめることが難しかった。文字に起こしてみると、新たに課題となりそうなところが見つかり、定期的に振り返ってみることも大切だと感じた。   |
|   | 事実とそうでないことの整理をするうえで、かなり自分の想像が入っていることに気がついた。自分の考える「こうあるべき」が先行してしまっていて、対象の気持ちや希望が把握できていなかった。想いを表出、言語化してもらうための関わりを身につけて行く必要があると思った。 |
| 個別支援全般(14)                                      | 自分の中のあいまいなイメージを、計画表にあらわすことで具体化することができた。不足している情報、計画までの整合性を再確認することができた。  |
|   | 課題や目的を明確にして関わる必要性を感じました。   |
|   | 事例をまとめるのは大変だったが、頭の整理ができた。ゆっくり事例に向き合えた。   |
|   | 一つのケースを深く考えることができ、勉強になった。  |

| 研修全体を通しての感想など(主な意見)       |   |
|---------------------------|---|
| 同期の保健師との交流(日常業務の振り返り)(15) | 午前中のグループワークでは他の事務所のことや頑張っていることを聞いて参考になった。新任期の保健師で集まる機会は初めてだったのでつながりができてよかった。                |
|                           | 同じ兵庫県といえど、所属によって半年の経験や所属の特色も様々。そういったお互いの経験について話したり聞いたりするのはとても興味深かった。                        |
|                           | グループワークで、同じ新任期同士で話しやすかった。また、ファシリテーターの人に入ってもらえたことで、新任保健師の中で疑問になったこともアドバイスしてもらえたことでとても学びになった。 |
|                           | ありがとうございました。午前中のGWがアイスブレイクになり良かったです。  |
|                           | 同期入職の保健師がいないので、今日グループワークを通して話すことができ、悩みや大変なことを共有できて、明日からのモチベーションにもつながるなと思いました。               |
|                           | グループワークをたくさんしたことで、自分と同じ様な状況にあるPHNと意見を交換できて、横のつながりを保つことができたのでよかった。                           |
|                           | 日頃の悩みをグループメンバーと相談することができ、良い機会となりました。  |
| 課題の学びに関すること(11)           | グループワークで、ケースについて様々な意見をきくことができ、学びを深められた。自分自身のケースでも、今回の研修を活かして修正し、今後の支援につなげていきたい。             |
|                           | 業務の中で事例検討をする機会は多くないので、様々なケースや支援の考え方など知ることができました。日々の業務に活かしていこうと思います。                         |
|                           | 本人の発言だけでなく、家庭訪問することで目で情報を得ることで、家庭訪問の意義を感じた。   |
| その他(5)                    | 保健師の魅力について、様々な経験層の先輩方から聞きたいです。  |
|                           | 短い時間でしたが、多くのことを学べたと思います。次回の研修に向けて、より知識を深めておきたいと思いました。                                       |

研修参加者:78名 アンケート回答者:58名(回答率74.4%)

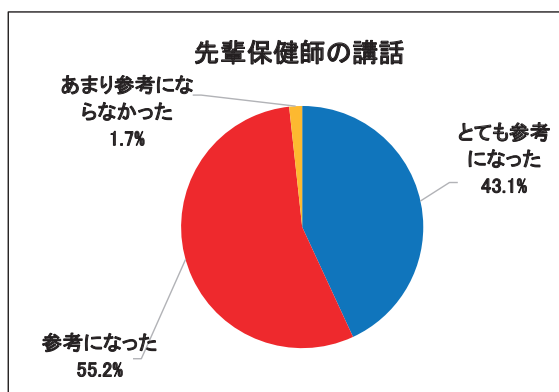
1. 研修参加者の所属機関

|         | 人数 | 割合(%) |
|---------|----|-------|
| 健康福祉事務所 | 9  | 15.5  |
| 中核市     | 18 | 31.0  |
| 市町      | 31 | 53.4  |



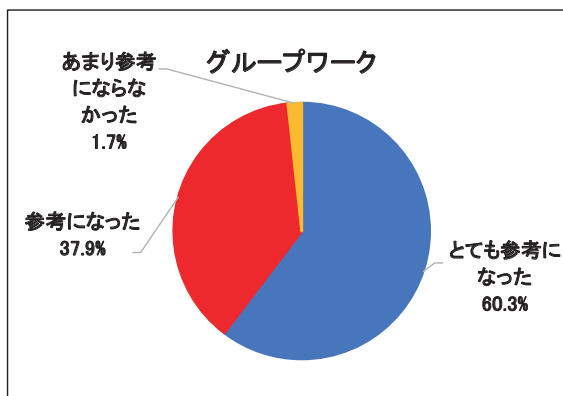
2. 先輩保健師の講話

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 25 | 43.1  |
| 参考になった       | 32 | 55.2  |
| あまり参考にならなかった | 1  | 1.7   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |



3. グループワーク

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 35 | 60.3  |
| 参考になった       | 22 | 37.9  |
| あまり参考にならなかった | 1  | 1.7   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |



| 先輩保健師の講話からの学び(主な意見)      |  |
|--------------------------|--|
| 他者とのコミュニケーション/関係性の構築(14) | 日々の業務の中で困ったことは周囲に相談しながら進めていくことが大切であり、そのためには日頃から周囲と積極的にコミュニケーションをとったり声をかけて、関係性を築いていくことが大切だと学んだ。                               |
|                          | 人と積極的に関わることが大切だと学びました。   |
|                          | 先輩保健師や住民さん、関係機関など、色々な人と関わることが大切であることを改めて感じました。新任期のうちにいろんな経験が積めるように、積極的に仕事を行えるようにしていきたいと感じました。                                |
|                          | 電話だけでなく、顔の見える関係性をつくるのが大切と学んだ。  |
| 新任期保健師としての共感(10)         | 先輩は何でもできる人というイメージがあり、自分と比較して落ち込んでしまうこともありましたが、先輩も自分の知らないところで失敗したり周りの人に助けってもらったりしながら乗り越えて経験値にされてきたんだと言うことが分かり、前向きになることができました。 |
|                          | 育児経験がない中で母子を支援する事に引け目を感じていたが、私だけではないと思えて良かった。  |
|                          | 経験したことが全てではないと言う話がとても学びとなりました。自分と違う価値観や生き方をしてきた対象者に寄り添う支援の中で、戸惑うことが多かったですが、参考にします。   |
|                          | 自分から見ると1年上の先輩はしっかりしていて、自分もそうなれるか不安に感じていたが、先輩も同じ様な経験をしてきているのだと感じられたことが良かった。   |
|                          | 日々の活動や2年目のときの状況等、先輩保健師から聞くことができ参考になった。   |
|                          | 今私が感じていることと似ていると感じ参考にしやすい講話でした。積極的に地域、人々と関わることを大切にしたいです。   |
| 自分自身の健康管理(7)             | 自分の健康も大切にするというお話が印象的でした。   |
|                          | 自分の体調管理の面は分かっているつもりでしたが、講話を聞かせていただきはっとなりました。自分の健康と市民の健康、どちらも守れる保健師でありたいです。   |
| 報告・連絡・相談(4)              | 迷ったら相談・連絡・報告すること、積極的に関わりをもつことが新任期では大切。   |
|                          | 報連相が苦手な中で普段のコミュニケーションを大切にされているという点で、すごく共感しました。   |
| その他(11)                  | 対応ケースの事例なども聞いてみたいと思いました。   |
|                          | 住民の方が悩んだ時に顔が浮かぶ保健師になりたいという話が印象に残りました。  |
|                          | 今が学べるチャンスと認識し、わからないことは積極的に聞く。  |
|                          | 初心を忘れない気持ちはとても大切だと改めて感じた。  |
|                          | 自分が直接経験していないことも自分の経験とするというのは学びになった。他の地区の対応ケースから学ぶことも自身の経験としたい。   |
|                          | 積極的に様々なことにチャレンジすること。   |

グループワークを通して、今後課題に取り組む上で参考になったこと、学んだこと、気づいたことなど  
(主な意見)

|                           |  |
|---------------------------|--|
| 情報収集/アセスメント<br>(21)       | 地区のデータ・数字など客観的な事実と、地区活動をしている中で気づいた主観的な情報どちらも取り入れた地区診断が、事業を展開していく上で大切だと感じた。   |
|                           | コアシステム・サブシステムの視点で情報収集していくことで、よりアセスメントが深まることを学ぶことができた。グループワークの中で、住民の声を聞く機会が少ないと言うことが課題にあがった。住民の声をきくためには、積極的に地域に出て行く必要があると学んだ。 |
|                           | アセスメントを出すときは根拠をもってデータを出した上で説明することが大切だと思いました。   |
|                           | 他の人の意見を聞いたことで視野が広がりました。グループの方の目的が同じ様な内容だったため、自分はこの情報を入れていなかった、この情報を入れた方が良かったと感じることができました。                                    |
|                           | 日々の活動からアンテナをはっておくこと。データは経年的にみること。  |
|                           | 地区踏査の大切さ。必要なデータの収集。主観的なデータだけでなく客観的なデータも大切。   |
| 健康課題・行政課題の<br>抽出/優先順位(12) | 課題は優先順位をつけて考えること。日々の活動からアンテナをはっておくこと。  |
|                           | 課題の書き方や考え方について分かった。  |
|                           | 指標をもとにした健康課題の書き方。  |
|                           | 人々の健康課題や行政課題の書き方、まとめ方をどのように書くかが難しかったので、書き方、まとめ方が分かって良かったです。  |
|                           | 抽出した課題の優先順位をどのように考えたらよいか参考になりました。  |
| 他地域の活動の理解<br>(8)          | 自分の市町ではないところの取り組み状況も知ることで良かったです。   |
|                           | 他事務所から見た地域の捉え方を共有することができ、新たな視点を持つことができた。また、他健福の取り組みを知り、活かしたいと思った。  |
|                           | 他の市の事業や社会資源を知ることで、市の事業の強化や拡大に向けて参考になった。なんとなくもっていた担当地区のイメージを、データにより根拠づけられた。   |
| 地域の理解(6)                  | 地区診断を通して、改めて自分の地区のこと(現状について)を知ることができた。   |
|                           | 自分の地区を客観的に見ることができて良かった。同じ課題でも要因や背景は地区によってバラバラであると学んだ。  |
|                           | 自分の管轄する地域の強み、弱みが分かった。  |

| 事前課題の作成を通じて学んだこと、課題に取り組むにあたって難しかったこと、感想など(主な意見) |  |
|---|--|
| 情報収集・整理/<br>アセスメント(28)                          | 業務担当で地域に出ることがないため、実際の住民の声を聞く大切さを学びました。   |
|   | 必要な情報を集めること、何が必要なデータなのかを考えながら個を考えながら、地域の情報を集めることが虫の目、鳥の目を意識して取り組みました。ただ、情報をどこから取ればいいのかかわからず、思った以上に時間を要してしまったり、必要な情報が何かかわからなくなり、混乱してしまい難しかったです。 |
|   | データがどこにあるか、どこを調べたら情報が得られるのか分からず苦労した。   |
|   | データの精査、アセスメントのつながりを確認することの重要性を知ることができたと思う。   |
| 地域の理解(7)  | 他の市町村を知ることで、自分の担当地域の強みと弱みを考えることができました。   |
|   | 異動したばかりで地区の事や事業のことをまだ良く分かっていない状態で課題に取り組むことはとても大変でしたが、課題を通して知ることができてよかったです。   |
| 健康課題の抽出(6)                                      | なんとなく感じていた疑問や課題がデータを通して明確になり、根拠に基づいた支援ができるようになりました。  |
|   | 個別支援を通して市民からの訴えを聞き、事業のデータで根拠をとり課題を出すことが難しかった。全体を見ることで見えてくる課題もあるため、広い視点で見ることの大切さを学べた。   |
| 課題に関すること(11)                                    | 地区担当制ではないのでテーマ設定や地区の見方(とらえ方)が難しかった。  |
|   | 多忙の中、課題に割く時間があまりなく難しかった。地区診断をする機会があまりないので良かった。   |
|   | 地域全体を見るデータ収集をすることがなかったため、データをもとに地域の特徴や課題を検討することが難しかった。   |

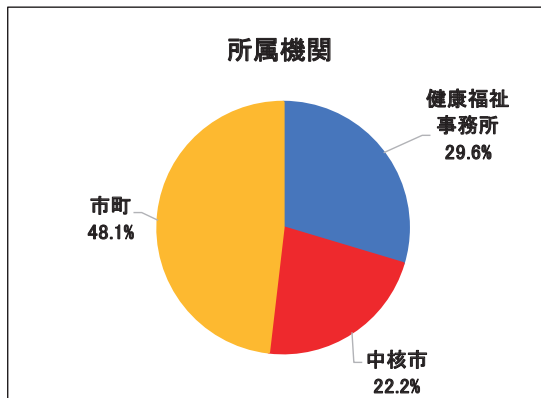
| 研修全体を通しての感想など(主な意見)               |   |
|-----------------------------------|---|
| 同期の保健師との交流<br>(日常業務の振り返り)<br>(11) | 研修課題は苦手ではありますが、研修に行くと同じく2年目のメンバーに会うことができ、話ができるので、改めて自分自身の仕事を振り返ることができ、明日から頑張ろうと思えます。ありがとうございました。    |
|                                   | 2年目同士いろいろ話すことができ楽しかったです。ファシリテータの先生との話の中でも、新たな視点や聞きたいことが聞けて嬉しかったです。                                  |
|                                   | 他の市町の方と情報交換することで、自分の市を振り返ることができ、良い機会になりました。また、自分の市にも取り入れられたら良いなと感じる部分も多く見つけられたのでこれからの業務で活かしていきたいです。 |
| 多角的視点からの<br>気づき(5)                | グループワークを行うことで、多視点の見方があり、考え方が広がったので良かった。   |
|                                   | グループワークで気づくことが多くあったので、参加できて良かったです。次回の課題作成に活かそうと思います。  |
| 課題に関すること(5)                       | ファシリテータの方がとてもわかりやすく説明してくれたため、地区診断が少し面白いなと感じることができました。   |
|                                   | モデル事例だけでなくグループ全員の検討があった方が、色々な意見が聞けて今後の課題作成にもっと役立つと思いました。  |



研修参加者:50名 アンケート回答者:27名(回答率54.0%)

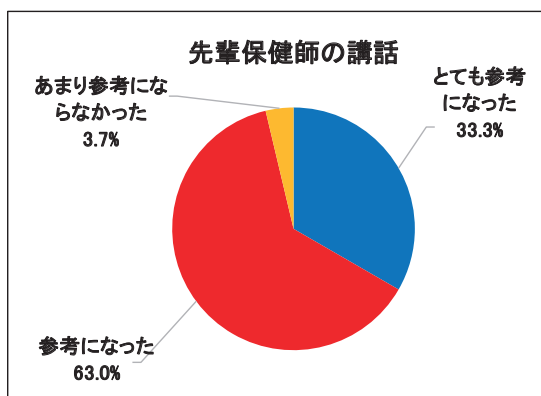
1. 研修参加者の所属機関

|         | 人数 | 割合(%) |
|---------|----|-------|
| 健康福祉事務所 | 8  | 29.6  |
| 中核市     | 6  | 22.2  |
| 市町      | 13 | 48.1  |



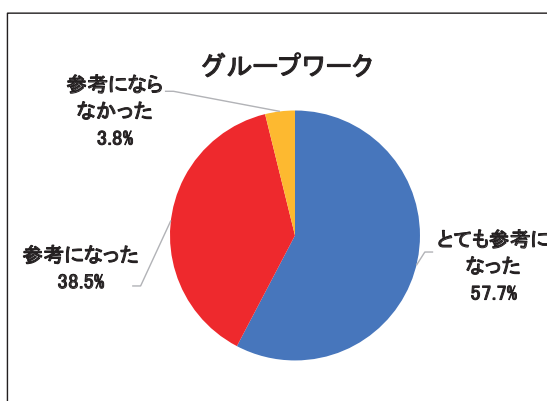
2. 先輩保健師の講話

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 9  | 33.3  |
| 参考になった       | 17 | 63.0  |
| あまり参考にならなかった | 1  | 3.7   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |



3. グループワーク

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 15 | 57.7  |
| 参考になった       | 10 | 38.5  |
| あまり参考にならなかった | 0  | 0.0   |
| 参考にならなかった    | 1  | 3.8   |



| 先輩保健師の講話からの学び(主な意見)      |  |
|--------------------------|--|
| 多職種(他機関)の活動理解/連携の重要性(11) | 積極的に関係機関と関わっていくことが大切だと学びました。個別事例で関係機関と関わっていくことで、関係機関の役割や特色がわかり、事業での研修や会議を企画する際に参集機関の検討がしやすくなると感じました。顔の見える関係が構築されていると保健所が企画する事業にも参加してもらいやすくなるのもメリットのひとつだと考えました。 |
|                          | 個人ではなく、組織として判断・対応する意識を持つことや、関係機関に顔を知ってもらうよう積極的に行動されているのは、自分もしていきたいと思いました。  |
|                          | 関係機関との関係づくりが重要であること、そのためには電話連絡だけでなく直接顔を合わせる必要があることを学びました。  |
|                          | 企画課の保健師は何をしているんだろう?とっていたので、知ることができて良かったです。人々の健康に直接アプローチする部署と連携しながら、体制整備をする役割を学べました。  |
| 個別支援の重要性(3)              | 個別支援を大切にして、関係者と顔の見える関係が出来るようにしていきたいと感じた。   |
|                          | PHNとして関わりを作る中で、個別支援でデータで裏付けていく確かな根拠を持つことが、誰のために実践しているか振り返りきっかけになることを学びました。なかなか業務でいっぱいになり振り返りがあまり出来ていなかったのも、見直ししていきたいと思う。                                       |
| 保健師活動全般(7)               | 私は新卒入庁ではないですが、自分よりずっと若い先輩がとても難しい業務に取り組まれていることに身が締まる思いでした。内容も3年目研修目的と合っており、個別支援⇒施策の例も聞けて学びとなりました。ありがとうございました。   |
|                          | データの集計、ヒヤリングのくり返しをしていたという話をきいて、自分にはできていない点だなと感じました。施策を考えていく上で上記をくり返すこと、しっかり行うことが大切だと思います。  |

| グループワークを通して、今後課題に取り組む上で参考になったこと、学んだこと、気づいたことなど(主な意見) |  |
|--|--|
| 健康課題・行政課題の抽出/優先順位(7)                                 | 健康課題を抽出すること、チームでデータを出しながら、何が一番取りまなくてはいけない課題かを考えて、整理すると、難しいことをやるためではなく、住民に必要な事業を整理することになるので、忘れてはいけないと思った。                         |
|  | 先生にプロセス評価のことなど聞けてよかった。他の方も健康課題の認識が違っていたり、自分だけが迷った人ではないと分かって安心した。   |
| 目標設定/評価(4)   | アンケートをとる目的を整理することを学ぶことができた。  |
|  | 行政課題の考え方を明確にすることができた。目標設定では、自分と同じような視点で迷っている点を共有することができた。  |
| PDCA全般(5)  | 事業展開するには地域診断をしっかり行うことが大事だと学びました。また、地域診断した結果を市民へフィードバックし、地域や個々の力を借りる、引き出すことも大切だと気づきました。そしてこの話し合いの結果を、保健師や課内にもフィードバックし共有しようと思いました。 |
|  | 健康課題の書き方など参考になった。また今後、個別での気づきを大切に、地域状況をアップデートしながらPDCAを回して、事業を考えていきたい。  |
| 個別支援の重要性(5)  | 個別支援から得たデータについて、再度意識して見直す必要があると感じました。  |
|  | 事業が先ではなく、個別が先でその課題解決のために事業を実施する。   |
| その他(3)   | 他市と照らし合わせたことで、強み、弱みを再発見できた。  |

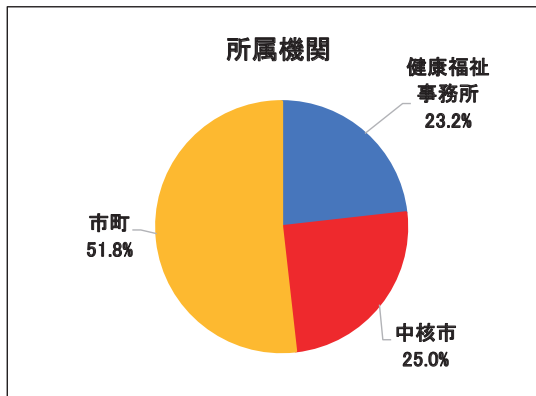
| 事前課題の作成を通じて学んだこと、課題に取り組むにあたって難しかったこと、感想など(主な意見) |   |
|---|---|
| 情報収集/アセスメント(2)                                  | データがまとまっているものがなく、経年的なデータを収集・分析することが難しかったです。   |
|   | 必要な情報の抽出が大変だった。   |
| 健康課題・行政課題の抽出/優先順位(4)                            | 目標と課題を混同して記載していたので、違いはわかりましたが、表現が難しいと感じました。   |
|   | 健康課題について、“できる”や”～の必要がある”といった書き方ではなく、現状を指標と関連させながら書くものだというのがわかってよかったです。  |
| 目標設定/評価(8)                                      | アウトカム評価とアウトプット評価のすみわけや質的評価が難しく、数値、データを用いた評価が多くなってしまった。また、地域診断で分かった課題に対し、実施する事業の目標がブレてしまっていたことに気づけた。   |
|   | アウトカムとアウトプットの違いが難しかった。データが多めになってしまい、選択することが難しかった。   |
|   | また、計画策定においては評価できる内容にすること、評価計画の根拠が難しかったです。   |
| 事業の根拠(2)  | 担当事業の施策や根拠を知ることができて学びになった。  |
| PDCA全般(4)                                       | 事前課題のためにデータを集める中で、これまで曖昧に感じていた地域の特徴が、データとして裏付けられ、日頃の活動が計画につなかっていくという実感を得た。現在、計画策定を業務として担当しているため、今回の課題によって学んだ上位計画や施策との関連を考えるとという視点を活かせるようになった。 |
|   | 今、自分達が実施している事業が、地域の課題に結びついているのか、コロナ禍でどう変化させていくか、もう一度検討する機会になりました。   |
| 課題に関すること(5)                                     | 個別の健康課題や行政課題が、課題ではなく目標になっていたり、方向性になっていた。また、1、2年目と違い事業の実施・評価まで考えるのは大変だった。  |
|   | 事業(システム)を構築する視点が難しいと感じました。  |

| 研修全体を通しての感想など(主な意見)      |  |
|--------------------------|--|
| 同期の保健師との交流(日常業務の振り返り)(9) | 他市の方と、前年より良い交流を持つことができました。話し合う内容も、職場の様子のことであったり情報交換であったりと3年目として責任感を持った関係づくりができたのかなと思います。前年の顔合わせした方であったので、お互い気楽に接することができました。より良く関係を深めることができました。 |
|                          | アイスブレイク等の自由に話せることが、良かった。   |
|                          | グループワークで他市町の話から色々な気づきを得られたので、課題や日頃の業務に活かしたい。   |
| 課題に関すること(2)              | 帰って、自分の課題を見たときに昨日のモデルが参考になり、少しだが修正できたので、学びになってると感じた。これを職場で生かさねばと思います。  |
| 保健師活動全般(2)               | 1・2年目と比べて、3年目になり保健事業や課題についてグループワークをする中で、自分の意見をもってとりくめるようになったと実感できた。意味のある3年だったんだと感じました。   |
|                          | この研修で他事務所の事業や事業の進め方、取り組みについて学ぶことができました。今回の研修で学びをより深められるように日々の業務に取り組みたいと思います。   |

研修参加者:63名 アンケート回答者:56名(回答率88.9%)

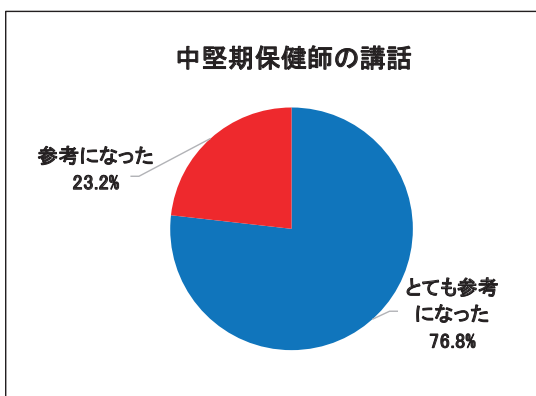
1. 研修参加者の所属機関

|         | 人数 | 割合(%) |
|---------|----|-------|
| 健康福祉事務所 | 13 | 23.2  |
| 中核市     | 14 | 25.0  |
| 市町      | 29 | 51.8  |



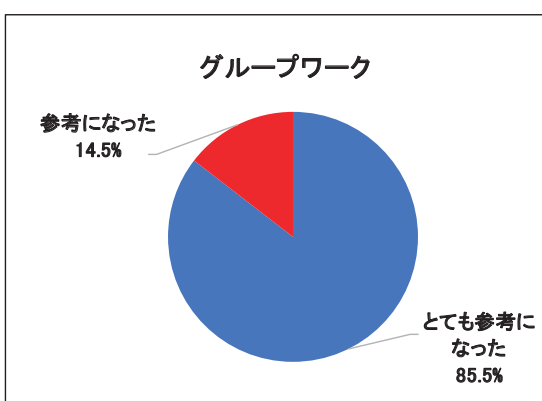
2. 中堅期保健師の講話

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 43 | 76.8  |
| 参考になった       | 13 | 23.2  |
| あまり参考にならなかった | 0  | 0.0   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |



3. グループワーク

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 47 | 85.5  |
| 参考になった       | 8  | 14.5  |
| あまり参考にならなかった | 0  | 0.0   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |



## 中堅期保健師の講話からの学び(主な意見)

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 対象(個人・家族)の理解/信頼関係の構築(35) | 対象者との信頼関係はゼロから、またはマイナスから始まることもあるが、介入の機会を逃さないことや本人の思いを汲み取りながら真摯に対応することが信頼の獲得に繋がっていくことが学べた。   |
|                          | はじめは関係性がうまくいかなくても、日々の丁寧な対応を積み重ねていくことが大切だとわかった。  |
|                          | 難病の方に関わらせて頂く際に、病状の経過を予め把握し、その時期に大切な支援を念頭におきながら関わることの重要性や、対象者の方一人一人と関わる際に、小さな相談も一つずつ答えていくことで、信頼関係が構築していくことが分かり、これからの保健師としての業務に繋げていきたいと感じた。 |
|                          | ”信頼の貯金”という言葉はとても心に響きました。どうしても成果を求めたくなりますが、コツコツと信頼を積み重ねることは、ケースが動いた時、支援が必要となった時にとても重要だと改めて思いました。   |
|                          | 相手がどうなりたいのか、どんな生活を希望するのか、相手目線の情報収集や視点をすることで、信頼を築くことができたという良い事例を聞くことができました。  |
| 個別支援全般(20)               | 個別の課題が地域の課題へと繋がっていることを改めて実感する機会となりました。  |
|                          | 保健師が対象者に対してこうなってほしい！と思いがちですが、まずは対象者やその家族の方の話にじっくりと耳を傾けて、相談してくれたことに対してきちんと返すことの大切さを改めて学びました。   |
|                          | 「正しい、合理的と思うことを押しつけるのではなく価値観や思いを踏まえること」という内容がとても印象に残った。対象者のニーズに耳を傾け、できる支援も一緒に考えていくことが、地域のニーズや声を聞くことにもつながると感じた。                             |
|                          | 保健所保健師の役割に悩むこともあるが、ケースとの関わりを通じて得たことを教えてもらい参考になった。   |
| 先輩や上司とのコミュニケーション(11)     | 訪問後や困ったことがあれば、周囲に気軽に相談することが重要、助言を頂きながら自分の振り返りにもなると学んだ。  |
|                          | 私自身も個別支援の関わりを通して、判断がこれでよいのか不安に感じる事が多く、上司や先輩に相談・確認しつつ、丁寧に関わることの重要性を学び、大切にしていきたいと感じた。   |
|                          | 先輩保健師にHVやTEL後に話すことの重要性について学んだ。  |
|                          | 個人でなく組織の一員として、周りに報告、連絡、相談をすることで支援の方向性をその都度考えていきたい。  |
|                          | 忙しそうにしている先輩を見て相談の機会を逃すこともあったので、積極的に報連相をどんどんしていこうという勇気にもつながりました。   |
|                          | 所内でも相談することで、新しい視点や支援について知れるため、より良い支援につながられるよう、チーム内や関係職種と話し合う必要性について、改めて学びました。   |
| その他(6)                   | 自己研鑽を欠かさず、自分から知識を獲得できるように努める姿勢が大切だと学んだ。   |
|                          | 新任期には新任期の役割、今しかできないことがあり、できることを積極的に行いたい。  |
|                          | 市町所属のため、福祉事務所での仕事内容を非常に丁寧に具体的に知ることができて良かったです。今後連携していく上でイメーがわきやすくなりました。  |
|                          | ケースの資源等をまとめたノートを作り蓄積している。それを他の支援でも活かしていること。   |

| グループワークを通して、今後課題に取り組む上で参考になったこと、学んだこと、気づいたことなど<br>(主な意見)      |   |
|---|---|
| 対象(個人・家族)の<br>理解/信頼関係の構築<br>(10)                              | 自分だけでなく他の新任期の保健師においても、支援者主体で支援を考えてしまいがちになるため、本人の思いをしっかり聞き、新たな気づきを引き出すことや、家族の思いを聞いたり他機関と連携したりして支援の幅を広げることが必要である。   |
|   | 個別支援をする中で、個人には家族や疾病、特徴などの個性を捉えていくことが大切。母子の事例では、母と児に注目しがちだが父親の健康状態も注意しないといけない。   |
|   | 同期の方の対象者さんと信頼関係を構築していくための鍵となる対応に関して等、とても学ばせてもらった。   |
|   | 母子にだけ目を向けるのではなく、父や協力者等、養育者に対して視点を広げて見ていくことの大切さを改めて実感することができた。個々によってバックグラウンドも違うため、その人に合った支援をその都度考えて、最善の関わりができるようにしたいと思った。  |
|   | 本人だけでなくその家族にも目を向けて支援することが大切だと学びました。自分一人で支援するのではなく、他職種との連携をしながら、様々な視点から支援していくことが必要だと感じました。   |
|   | 疾患と対象者の理解を深める重要性。まずは対象者を知る、信頼を蓄積する。関係性を築く重要性。   |
| 多職種(他機関)の<br>活動理解/連携の<br>重要性(8)                               | 橋渡しの役割を持つ保健師が対象者を関係機関に繋ぐというのは、ただ単に必要な機関につなぐことではなく、機関を対象者が信用して有効的に活用できるように紹介することであり、しっかり背中を押してあげることであるということ。   |
|   | 保健師だけでなく、周囲にどんな職種の方がいて、どんな役割を担っているのか知ること、そしてその方達を巻き込んでいくことで、役割分担ができケースについてもいろんな視点から把握することができると気づき、今後自分の業務に活かしていきたいと思った。   |
| 他地域の活動の理解<br>(6)  | 他市町での取り組みや事業について知ることができ、参考になった。   |
|   | 他の人のケースや地域について知ることができ、自分の地域の課題に気づけた。いろんな視点でケースについて考えることが大切だと思った。  |
| 個別支援全般<br>(活動の振り返り)<br>(23)                                   | 対象者1人ひとりにあった支援を考えていくことの重要性や、個人から集団、地域へと視点を広げていくことの重要性を改めて学び、今後も大切にしていきたいと考える。   |
|   | 個別支援は家庭訪問などを通して、本人の強みと支援のタイミングをとらえ、それに合わせた柔軟な支援を展開することが重要であることを学びました。   |
|   | 自分ではまだ経験していないケース対応についてや、根拠となる法律や参考書などを知ることができた。   |
|   | モデル事例として私の事例をもとにグループワークを行うことができ、支援に生かしたり、今後の支援の助言をもらうことができました。信頼関係を構築することはもちろんですが、保健師でしかできないこと、多職種のなかでの保健師の役割を明確にすること、専門職としての視点で支援をしていくこと、そのうえで社会資源の把握や関係機関との連携の必要性を再認識しました。自分の中でのアセスメントや評価も俯瞰的にみれるようになりたいと思いました。 |
|   | 色々なケースを知ることで、個別性を考えることの大切さを感じました。   |
| グループワークを通して自分の活動を振り返ることができました。自分が対象をどう捉えたか、何を思って関わったかを振り返られた。 |   |
| その他(5)  | ケースを所内で共有して、助言をもらうことが重要であると学んだ。   |

| 前回の研修以降、課題に取り組むにあたって難しかったこと、感想など(主な意見) |  |
|--|--|
| 情報収集・整理/<br>アセスメント(9)                  | 評価の判断が難しかったが、評価できる計画を立てることが大切という学びにつながった。  |
|  | アセスメントする力や情報を整理する力が必要だと思った。また、今後の計画を立てる時にも知識や経験が必要で、先輩に相談しながら取り組んだ。  |
|  | 課題として考えていなかったところや、新たに支援が必要だとなることがあり、計画に書いていなかったことを支援することがあったため、問題が起こる予測をもっと考えてアセスメントしていくことが必要だと感じました。  |
| 健康課題の抽出/<br>優先順位(2)                    | PHNの解決したい課題を、対象者のニーズの違いから優先順位を付けていくことが難しかった。また、課題がたくさんある時に、対象者がその課題をどう捉え、どう思っているのか、と言う視点を大切にしていこうと思った。   |
|  | 本人の意向に沿った、ニーズに合った支援を考えることが難しかったです。   |
| 計画立案/実施(7)                             | 対象者本人のみの関わりとなってしまったため、今後は共に生活している家族の思いを確認し、本人のやりたいことや目標を共有することで、家族の協力を得て、より効果的な支援に繋がりたいと思いました。   |
|  | 自身が立てた訪問計画の目標や実施内容がなかなか円滑には進まなかったり、アセスメントや今後の支援を検討に、自分の考えがこれで本当に良いのかと迷うことも多かったところに難しさを感じた。しかし、自分が行なった支援を可視化でき、振り返りを行えたことは、次の支援に活かしたり、改善点を把握でき、自身の学びに大いに繋がったと感じた。 |
|  | 子どもは数ヶ月で成長発達し、それに伴って家族の課題や問題も変化していくため、その時に合う支援を検討していくことに難しさを感じた。   |
| 対象や状況の変化に<br>合わせた対応の難しさ<br>(8)         | 目標、計画立案した時とは状況が変わっていったため、その際にどう対応していくか等、修正していくことが難しかった。  |
|  | 事例を決め、計画を立てて、ケースの支援にあたっていたが、当初想像していたものとは違う方向に進んだり、臨機応変に計画を変更していく必要があった。状況により判断、計画、実行に時間がかかりケースの進行についていけないことがあり、その点に難しさを感じた。                                      |
|  | 訪問につなげていくことの難しさ、ニーズの把握や、保健師としての役割を見いだすことの難しさを感じた。  |
| 個別支援全般(10)                             | 1年間関わることで情報も増えまとめていく中で、新たな課題の気づきにつながり、支援へとつなげることができたので、振り返りができて良かったです。   |
|  | 訪問計画を立案・実施に至るまで、アセスメントや目標などの流れが繋がるように書くこと、自分以外の人でも訪問計画を実施できるような内容の記載をするのが難しかった。  |
|  | 訪問前に目的を明確にしていたが、自分が気づいていなかった点もあり学びになった。経済面や家族員の生活や家事能力など、生活をしている上で必要な能力などを文字にすることで自分の考えが整理されて良かったです。   |
|  | いつも用いている記録様式よりも内容が具体的になった。今後の方針や計画をまとめることができた。   |
|  | 一事例を深めて振り返ることができたが、方向性や実際に進めていく過程が難しかった。   |
| 課題に関すること(15)                           | 広い多角的な視点を持って関わるということを言葉では理解しているが、実践してみると上手くいかなかったこと。   |
|  | シートに書くことで対象者との関わり方や今後の方針を考えやすかった。  |
|  | ケースを取り上げてもらったことで、反映できたこともあって良かったです。  |
|  | 訪問回数が多く実施内容をまとめるのが大変でした。   |
|  |  |

| 今後、新任期研修で学びたいことや取り入れてほしい内容など(主な意見) |  |
|------------------------------------|--|
| 同期の保健師との交流<br>(日常業務の振り返り)(6)       | 研修会のなかで、新任保健師としてのそれぞれの思いや悩み等を共有できる時間が毎回の研修であればいいと思います。                 |
|                                    | 自由に1年目同士で話せる機会がほしいです(グループにとらわれず)。                                      |
|                                    | 事例にとらわれない、保健師としての悩みの共有、相談タイムがあればいいなと思いました。                             |
| 個別支援(対人関係スキル/事例検討)(4)              | 対象者との関係性の築き方で大切にしていること。  |
|                                    | 今回のように、1つの事例を検討していくことは行っていただきたい。                                       |
| 災害時の保健活動(3)                        | 災害時の保健師活動は授業で学んでいますが、地震や台風など様々な災害現場での実践をした保健活動と結果を聞いてみたい。              |
|                                    | 災害時PHN活動について(演習など)。  |
| その他(4)                             | これまで、市の保健師の先輩から母子について、健康福祉事務所の保健師の先輩からは難病について講話があったので、他の分野についても聞いてみたい。 |
|                                    | 学生の時の「頑張ろう!」という気持ちを再確認したいため、保健師を目指している学生さんとの交流の場。                      |

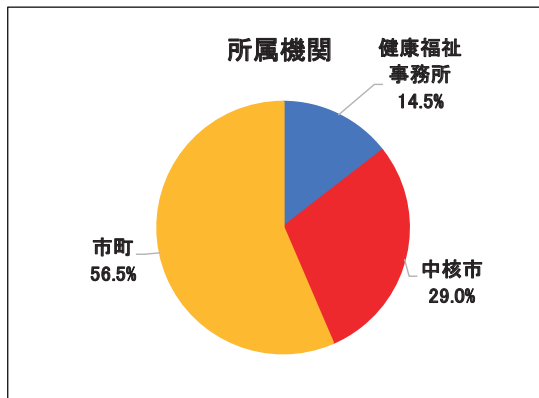
| 研修全体を通しての感想など(主な意見)               |  |
|-----------------------------------|--|
| 同期の保健師との交流<br>(日常業務の振り返り)<br>(12) | 他の圏域や市の同期の保健師と関われる貴重な機会となり、嬉しかった。悩み事が自分だけでないことや、同じことをつまづいていることが知れて安心した。新人なりに精一杯頑張ろうと思えた。                             |
|                                   | グループワークを通して、他市の保健師1年目の方がどう感じて日々の業務を行っているのかを知ることができ、自分自身を振り返るとともに、今後の課題が見つかったので良かったと思います。                             |
|                                   | 他市町や役割の違いのある方と話し、近い市町の同期の方と話せて現状を聞けて良かったです。  |
| 個別支援に関する<br>学び(11)                | 日々支援を行っていく中で、頭では考えていてもこうした形で文字にして計画を立てることで、見落としていた点や気付けなかった視点から対象者を見ることができました。今後も職場の人と相談や事例を共有しながら、支援を進めていきたいと思いました。 |
|                                   | 個別支援の中で対象者との信頼関係を築くことが、今後の支援にもつながってくるので大切だと感じました。一人で抱えるのではなく、相談・報告することで、さまざまな視点をもって支援を考えていくことが必要だと学びました。             |
| 研修全体を通しての<br>学び(7)                | 新任期や中堅期の保健師の講話や個別支援を通してのグループワーク等を行い、新任保健師に必要な考え方やスキルの向上に繋がったと考えられる。  |
|                                   | 講話もグループワークもとても勉強になった。ファシリテーターの先生にも大変お世話になりました。ありがとうございました。振り返れるような声かけをたくさんしてくれました。活動したことを深掘りできました。                   |
|                                   | 普段の業務の中では知ることが難しい知識であったり視点について学ぶことが、前期・後期の研修を通して多くありました。今回学んだことを今後支援に活用していきたいです。                                     |
| その他(6)                            | 対面の集合研修は顔の見える関係ができよかった。  |
|                                   | アイスブレイクがあるなしでは、発言の多さに違いがあるかなと思います、学びになりました。  |



研修参加者:75名 アンケート回答者:62名(回答率82.7%)

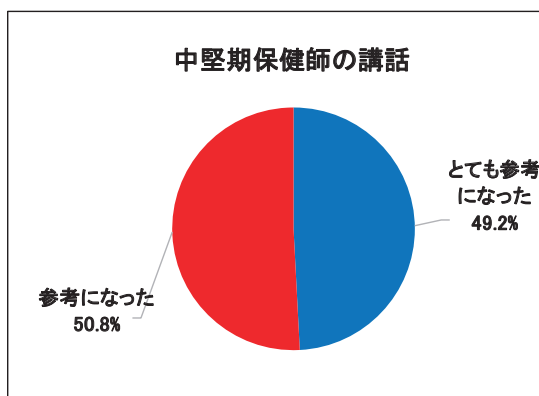
1. 研修参加者の所属機関

|         | 人数 | 割合(%) |
|---------|----|-------|
| 健康福祉事務所 | 9  | 14.5  |
| 中核市     | 18 | 29.0  |
| 市町      | 35 | 56.5  |



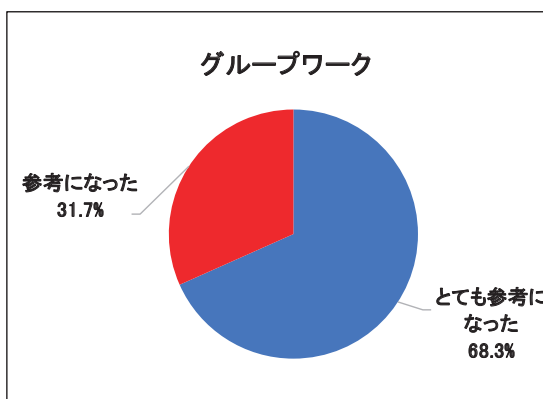
2. 中堅期保健師の講話

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 30 | 49.2  |
| 参考になった       | 31 | 50.8  |
| あまり参考にならなかった | 0  | 0.0   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |



3. グループワーク

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 41 | 68.3  |
| 参考になった       | 19 | 31.7  |
| あまり参考にならなかった | 0  | 0.0   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |



| 中堅期保健師の講話からの学び(主な意見) |  |
|----------------------|--|
| 地域診断のプロセスに関する学び(24)  | 地区診断の流れについてとても具体的にお話いただき、今やっていたことの見直しになった。   |
|                      | 日々の活動の中で気になったことについて地区診断されていて、実際に活動計画に活かされている方法を知ることができてよかったです。   |
|                      | 地区診断した結果、得られた情報をどのようにして事業に活かしていくのか、実際に取り組まれた内容を教えていただいたことで、よりイメージがしやすかった。  |
|                      | 地域診断について具体的な事例を挙げて下さったのでとても分かりやすかったです。課題の流れをイメージ付けるために、前期にこの講話があっても良いのかなと思いました。  |
|                      | 母子保健の例を通して、地域診断が必要になった場面から、どのように地域診断から健康課題を明確にし、活動計画を立てるのかという一連の流れがわかり良かった。  |
| 情報収集・整理/アセスメント(4)    | 事業のデータや実施結果から、他区の強みや弱みを知ることができると学んだ。データの中でも、どのデータのどの部分がどういったアセスメントにつながるのか参考になった。   |
|                      | データや実際の地域住民の声(アンケートなど)で、事業の見直しや新たな事業の立ち上げについてもつながっていくと感じました。   |
| 健康課題の抽出/優先順位(5)      | 2つの地区を比較しながら地区診断をすることで、それぞれの課題や地域特性について、より理解を深められると思いました。  |
|                      | 日々保健師としての活動を行う上で感じている課題を地区踏査を行ったり、出生率、事業の参加率、参加者のアンケート等を分析することで課題の裏付けとなること、事業を展開するうえで活かすことができることを学ぶことができた。                       |
|                      | 問題の抽出や優先順位なども、今後地区について考察するときを活用すると、どのように目標を定め計画し、取り組んでいけばいいのか、明確になることが良く分かった。  |
| 地域診断全般(9)            | 事業を再考する上での地区診断の重要性を感じた。  |
|                      | 一つ一つ丁寧にデータを収集することで、地区のことや住民の思いを知ることができる過程をわかりやすく教えていただきました。健康課題を明確にするため、数値や住民の声から何を読み解く必要があるのか、色々な視点から考えることが大切だと思いました。           |
|                      | 普段の地区活動において疑問に感じることを、課題だと思うことを、実際にデータ化してアセスメントすることで具体的な課題が見えてくるため、日々の気づきや直感を大切にしたい。同じくらいの市町村規模や状況の地域の現状を参考にすることができると知り、学びになりました。 |
| 保健師活動全般(10)          | 発表の仕方、パワーポイントの使い方など参考になりました。   |
|                      | 日々の業務の中でアンテナを立て気づきや疑問をもつこと、それに対してデータを持ってきて整理し、アセスメントすることを定期的に行っていきたいと思った。  |
|                      | 保健師の直感+量的データからアセスメントできることは多くある。広い視点で見ることが大切。   |
|                      | 実施している事業は簡単にはシステム等を変えられないと考えていたが、日々の地域の状況を見て情報をアップデートし、見直しにつなげることが大切だと思った。   |
|                      | 日々の業務の中での気づきを大切に、深め、事業の展開に活かせられるようにしたいと思った。  |

| グループワークを通して、今後課題に取り組む上で参考になったこと、学んだこと、気づいたことなど<br>(主な意見) |   |
|--|---|
| 多角的視点での気づき<br>(16)                                       | グループのメンバーのみんなの資料を通して、自分が気になっているがどのようなデータが必要なのかのヒントを得ることが多く、とても参考になった。自分の地区のデータばかりに目が向きやすくなっていたが、県のデータや国のデータも取り入れ、全体的な傾向なのか、市独自の傾向なのかなど、視点を多くもって考えることが出来ていなかったことに気づけた。   |
|  | 他の方の計画の展開を見せてもらったり、ファシリテーターの方にアドバイスをもらうことで、自分の計画に足りないことや整理の方法について考え直す機会になった。  |
|  | 自分が経験していない事例を知ることができたため、今後活かしていこうと思った。  |
| 地域診断のプロセスの<br>理解(23)                                     | 情報の統合、分析、視点、データの収集方法。   |
|  | 健康課題を具体的に考える事で、目標や計画が具体的にあげやすい事に気づいた。   |
|  | 目標を設定するにあたっては、評価できるものになっているかを意識して目標設定を進めていくことが大事だと学びました。  |
|  | 具体的に目標を設定することで、より具体的な計画の立案につながることを学びました。  |
| 地域の理解(9)   | 自分の担当地区のイメージと、今回の課題から見えてきた地区特性が異なっていたところがあるので、地区の特性を意識した活動をしていきたい。  |
|  | 地域の価値観によって住民さんのアプローチの仕方が変わってくること、地域の背景を知っていくことが大切であることを学んだ。自分の担当している地域を知らなかったことに気がついた。  |
| 他地域の活動の理解<br>(16)  | 他の市の取り組みを知り、活かせることがかなりたくさんあったので、所内へ持ち帰り共有したいと思います。  |
|  | 他市の状況や事業を知ることができ、自分の市に活かすことができる活動内容があった。活動計画の項目立てを行うことで、見やすさや行動実現につながりやすい部分があると学べた。   |
| 地域診断全般(5)  | 地区診断をすることで、地域の特徴や行政がやるべきことが明確になると分かった。  |
|  | 他市のアセスメントを見ると、課題が同じ様な内容でもデータに違いがあり、経過が違ったりしておもしろいと感じた。地域性が把握できればアプローチに幅ができる。より地域に合った、ニーズに合ったものが考えられれると思った。世間の情報にもアンテナを立て、国と県と比べてどうか、比較できるデータを入れることで、より地域の特徴がわかりやすいと感じた。 |
| 保健師活動全般(6)   | 数字だけでなく住民の生の声も大切で、そのためには地域に出て行くことが大切と言うことを学びました。  |
|  | 自分にはない視点やもっと検討が必要な部分が見つかり、今後の課題への取り組み方を改善していきたいと思いました。数字やデータを見ることで、事業の改善点などが見えてくるため、保健師の「感覚」を確信に変えるためにも、業務をこなすだけでなく、立ち止まってデータを振り返ることを大切にしたいです。                          |
|  | 普段の業務で手一杯でいつの間にか「これは現実的には実現が難しい」など、できない理由を探していたことに気づけました。また、誰が見ても理解して行動できるように記載することに、普段から取り組んでいこうと改めて思いました。   |
| 課題に関すること(7)  | モデルケースが特殊なケースではありましたが、違う悩みがあったり同じ悩みがあったりと自分の悩んだところとも重なるところもあり、話し合った内容を自分自身の課題に落とし込みながら考えることができた。また他の方の活動計画がすごくよく書けていたり、データ収集が上手だったり見習いたいところが多かったです。                     |
|  | 一人で課題をすると他の人に伝わる資料の作成ができたと思っていたが、思っていたより対象が広くて伝わりにくいものになっていたと気づいた。  |

| 前回の研修以降、課題に取り組むにあたって難しかったこと、感想など(主な意見) |  |
|--|--|
| 情報収集/アセスメント(11)                        | データを実際に課題につなげることが難しかったです。日々の業務の中でデータを収集したり、カルテを見返したり忙しかったですが、勉強になりました。   |
|  | データに埋もれてしまい、どのデータが最も効果的で、妥当なのか、わからなくなっていました。アセスメントも、自分の都合の良い方に書いていないか、客観性に乏しくないか不安でした。上司に見てもらい、安心して提出しましたが、まだまだ改善すべき点が多く、課題は残ります。  |
|  | 量的データや質的データを自分が何を知らるために集めているのかが、途中であやふやになってしまったと思う。自分が挙げた目的を意識し、集めたデータを整理することが出来ていなかった為、行政課題や目標が具体的に考えることが難しかったです。   |
| 健康課題・行政課題の抽出/優先順位(21)                  | 人々の健康課題と行政課題について、それぞれ分けて考えること。   |
|  | 行政課題の項目では、今やっている事業、ケース管理ありきで考えてしまっていた。課題や目標に対して、何か必要かと言うことに着目して行政課題をあげることが難しかった。   |
|  | 人々の健康課題を考える際にどうしても行政側の視点が入ってしまうなど、それぞれの視点で考える難しさを実感した。   |
| 目標設定/評価(18)                            | 目標を立てるにあたり、データやアセスメントから全て見直し、整理し直したのでとても時間がかかったが、やってみて地域の健康課題が見えてきたのは良かったと思う。  |
|  | 課題を整理し、目的に沿った目標を立てることが難しかったです。そこが決まると考えやすかったです。  |
|  | 評価を数値化することが難しかったです。  |
| 計画立案(9)                                | 計画の立案に際して、具体性を持たせることが難しいと感じた。既存の事業について改善点を考えるだけでなく、新しくできることについては、効果やそれに対する準備など、裏付けるデータが十分でないと、計画が進まないと感じた。   |
|  | 具体的な計画が同じような内容のものばかりになってしまったこと。  |
|  | 計画について自分では実現できないと思うことも多く、どのあたりまで書いて良いか困った。   |
| 課題に関すること(11)                           | 健康課題から具体的な計画の策定を行うことが難しかった。  |
|  | 情報収集の部分から見直したいと思っていましたが、一度できてしまったところから考え直す際に、考えが固定されてしまっていて難しい部分がありました。また、指導いただく先輩は以前の課題の取り組み方で研修を受けられているので、今回新しくなった部分に対応できるよう書き直してもその部分を修正されてしまうといったことがあり、研修と職場の指導が異なっていて困ったことがありました。 |
|  | 地区担当も個別ケースもあまり持ったことがないので、地区診断そのものが難しかった。   |
|  | 人によって書き方が異なり、何が正しいのか迷うことがありました。本日にあった中堅保健師さんの話を参考に、自分の課題で振り返りたいと思います。  |

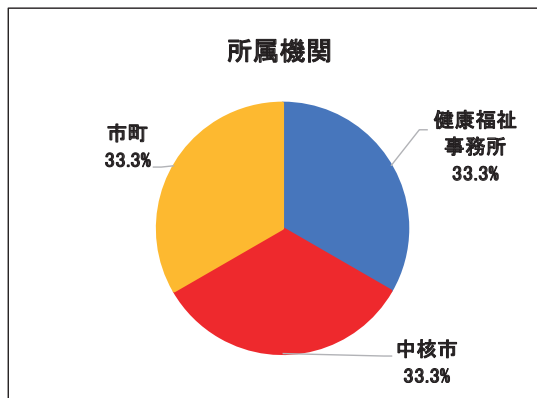
| 今後、新任期研修で学びたいことや取り入れてほしい内容など(主な意見) |   |
|------------------------------------|---|
| 同期の保健師との交流<br>(日常業務の振り返り)<br>(6)   | 同期の保健師と会うことが少ないので、交流会を開いて欲しい。   |
|                                    | 研修課題についてのグループワーク以外に、アイスブレイクで日頃の業務について話す時間を増やしてほしい。他市の事業について知りたい(情報交換がしたい)。                                  |
|                                    | 自身が担当している分野以外の保健活動を行っている保健師との交流する機会があればそれぞれの業務について共有できたり、視点が広がるのではないかと思った。                                  |
| 中堅期保健師の講話<br>(3)                   | 講話は可能であれば、同日、健福と市町それぞれから聞きたい。市町の母子内容が中心であると、どうしても自分の業務に照らし合わせる事が難しい。  |
|                                    | 先輩保健師からの地域診断の講義は、とても分かりやすく参考になったので、研修前半に受けさせていただけました。もしくは、事例を用いて書き方例など見本を講義していただくと、理解しながら研修や課題に取り組めると感じました。 |
| テーマ(多分野)(6)                        | メンタルヘルス。  |
|                                    | 災害支援。   |
|                                    | 講義で高齢分野の話が聞きたい。   |
|                                    | 他課(分野)の内容について、同じテーマをグループが課題抽出してプランを立てるなどして、思考について学びたい。  |
| 研修運営(課題含む)に関する事(5)                 | 1回目の研修の講義で実際の地区診断、その事業展開があれば良いなと思いました。2回目は3年目の研修にもつながる講義であると、次回3年目の研修のイメージがしやすいと感じました。                      |

| 研修全体を通しての感想など(主な意見)       |  |
|---------------------------|--|
| 地域診断全般(8)                 | 事業を考える際にも、地区診断の考え方が大切だと学びました。  |
|                           | 必要なデータのありかや、それを活用して課題をどう見つけ出していくのかを学ぶことができた。   |
| 保健師活動全般(6)                | 担当地区への理解や他市で行っている事業への気づきが深まった。直感の課題のみでなく、量的・質的なデータを収集し、地区の変化に合わせた事業や個別活動の展開をしていきたい。  |
|                           | 一年目と違って地区に目を向けていくこと、そこから活動計画を立てていくこと、事業に繋げていくこととどんどん大きな課題になりつつあることを感じています。研修課題を実際の事業にも活かしていけるように積極的に地域の課題を見つけていける人になりたいです。 |
|                           | 研修に参加することで、自身が保健師であることの自覚や、これまでの活動を振り返り、今後の課題を見つける機会になりました。  |
| 研修全体を通しての学び・気づき等に関する事(15) | 先輩方の話を聞く機会があったり、同期となる保健師さんと話す機会となり、自分も頑張らなければいつも背中を押していただいているように思います。業務に忙しくなってしまうがちですが、基本の大事なことを学ぶ機会を頂き、ありがとうございます。        |
|                           | ファシリテーターの先生に丁寧に指導いただきました。地域診断は難しいと感じましたが、頑張りたいと思います。ありがとうございました。   |
|                           | グループワークで様々な意見を聞けるのはとても貴重だと思う。今後もグループワークの時間を大切にしながら課題をしていきたい。   |
|                           | 何か一言ずつでも、提出した課題に対して個別にコメントがもらえると、課題への取り組み方が合っているのか間違っているのか、気づけるかと思っています。   |

研修参加者:47名 アンケート回答者:21名(回答率44.7%)

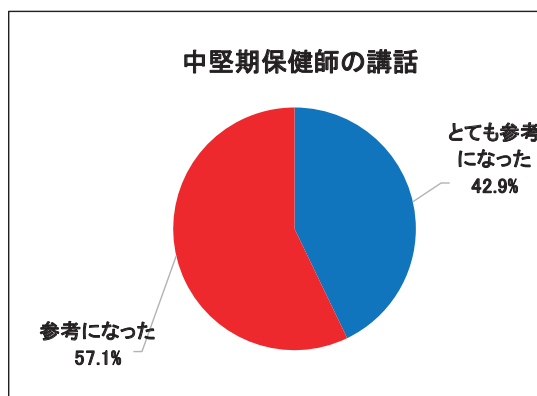
1. 研修参加者の所属機関

|         | 人数 | 割合(%) |
|---------|----|-------|
| 健康福祉事務所 | 7  | 33.3  |
| 中核市     | 7  | 33.3  |
| 市町      | 7  | 33.3  |



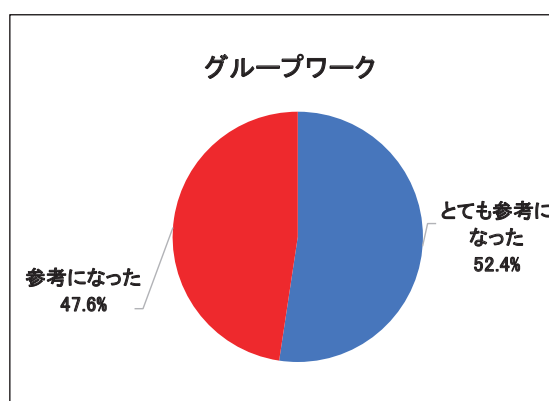
2. 中堅期保健師の講話

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 9  | 42.9  |
| 参考になった       | 12 | 57.1  |
| あまり参考にならなかった | 0  | 0.0   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |



3. グループワーク

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 11 | 52.4  |
| 参考になった       | 10 | 47.6  |
| あまり参考にならなかった | 0  | 0.0   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |



| 中堅期保健師の講話からの学び(主な意見) |  |
|----------------------|--|
| PDCAの理解(14)          | PDCAのプロセスがとてもわかりやすく学ぶことができました。健康課題を設定するだけでなく、課題の根拠や原因の深掘りを見直すことが重要だと学びました。               |
|                      | PDCAについて、実務の中での取り組み方について。  |
|                      | 3年目の研修課題で学んだPDCAサイクルが実際に回っている様子を知ってイメージが膨らんだ。  |
|                      | PDCAを活用した保健師活動についてイメージがついた。  |
|                      | どんな分野でも、PDCAサイクルの考え方は共通している。   |
| 個別支援の重要性(3)          | 個別支援を丁寧に確実に行うということ。事業の展開に積極的に関わることができるようになった3年目だからこそ、個別支援に立ち返って、市民の方への個別の関わりを大切にしようと思った。 |
|                      | 個別支援が根底にあり大切だということ。  |
| その他(2)               | 地域連携の大切さ。  |
|                      | また、関係機関とのやりとりや行政保健師としての役割についても学ぶことが出来た。  |

| グループワークを通して、今後課題に取り組む上で参考になったこと、学んだこと、気づいたことなど(主な意見) |  |
|--|--|
| PDCAの理解(3)   | 事業評価の際に、健康課題を達成できたかどうかという視点を持つこと。  |
|  | 他分野での課題の捉え方、評価について知れて良かった  |
|  | 同じ分野の他の事業の評価を見ることができ参考になった。  |
| 地域の理解(2)   | 自分の市の強みに気づけた。  |
|  | 自治体の強みを探すこと。   |
| 他地域の活動の理解(5)   | 他の健福、市での取り組みについて情報交換ができて貴重な機会となりました。   |
|  | 母子保健、阪神間の市町グループだったため、事業の情報交換や、悩んでいることを密に共有できた。   |
| 個別支援の重要性(3)  | 事業展開には個別支援で感じる個別課題が基礎となり、重要であると改めて学びました。   |
|  | 個別の支援から地域課題が見えてくる。   |
| 多角的視点からの(3)気づき                                       | 健康課題について、上手くまとめているメンバーがおり、書き方や視点を学ぶことが出来た。また、何が難しいのかどうすれば良いのか1人で考えていると漠然としていたことが具体的に良くなった。 |
|  | 自分では思い付かない意見を聞けて参考になった。  |
| 保健師活動全般(2)   | 私のグループは全員、他機関に向けての研修の実施を計画していたので、評価指標となるアンケートの作り方や、他機関の反応など、今後の研修実施にも役に立つ情報がたくさんあり、参考になった。 |
|  | ベースにある保健師としての考え方や、事業の関連を再確認できた。  |

| 前回の研修以降、課題に取り組むにあたって難しかったこと、感想など(主な意見) |  |
|--|--|
| 健康課題・行政課題の抽出/優先順位(2)                   | 行政課題、健康課題を分けて考えることが難しかったことと、健康課題をあげた中で四つの分類のどこにあてはまるかを考えながら検討することが難しかった。 |
|  | 項目に沿って記入するところが難しかった。また、健康課題、行政課題の捉え方や表現が難しかった。                           |
| 目標設定/評価(11)                            | プロセスやアウトプットなどの目標や指標の立て方が難しかった。   |
|  | 評価の時期やどこまでのデータを使うかが難しかった。  |
|  | 評価が最も難しかった。評価をしてみても、事業計画や事前に立てていた評価計画の甘さに気付くことが多かった。                     |
|  | 評価について、指標など次に繋げるためにどういう評価をして行くのかなど難しかった。                                 |
| 課題に関すること(4)                            | 先生からフィードバックをいただけて、わかっていなかったところや課題をするのに困ったところの改善方法がわかったので、とても有意義な研修でした。   |

| 今後、新任期研修で学びたいことや取り入れてほしい内容など(主な意見) |   |
|------------------------------------|---|
| PDCAの展開(1)                         | PDCAサイクルの展開を引き続き取り入れてほしい。また、展開するにあたって、データ収集や分析方法も詳しく教えて欲しい。 |
| 保健師の講話(1)                          | いろいろな課で働く保健師さんの話(福祉事務所、保健センター、地域包括以外)。                      |
| グループワーク(1)                         | 他の市町の人と、課題についてグループワークをして色々な意見を聞く場はとても勉強になる。                 |

| 研修全体を通しての感想など(主な意見) |   |
|---------------------|---|
| 同期の保健師との交流(4)       | 他市町の方との交流は減多になく、同じ年代や同じ時に入庁されている方と交流することで日頃のモヤモヤを共有できたり他市町の取り組みを直接伺うことができ、良かったです。       |
|                     | グループワークは、他市の保健師と情報共有できたりと関わりが楽しかった。またこのような機会を設けて頂きたいです。3年間ありがとうございました。                  |
| 研修全体を通しての学び(6)      | 日常業務に追われ、なかなかしっかり取り組む時間がとれなかったが、不完全ながらもやってみて、当日、グループワークや、先輩の講話を聞くことで肉付けできた。             |
|                     | 3年間かけて、順序だてて保健師活動を学ぶことができよかったです。課題は大変で時間外勤務は増えましたが、ぜひ後輩たちに学んでもらいたいです。学びの機会をありがとうございました。 |
|                     | 新任期保健師研修が最後となり、もう3年経つのだなと改めて実感しました。しかしこれからは1年目からの研修を振り返りながら、たくさんの学びを深めていきたいと思いました。      |
|                     | 保健師としての視点も広がった3年間とても有意義でした。ありがとうございました。   |



## (2) プリセプター研修

### 2023 年度 プリセプター研修会実施要領

#### 1. 目的

すべての住民が自ら健康を保持増進し、安心して質の高いケアシステムの中で暮らすことができるよう、専門的知識・技術を備え、研鑽に努めることのできる保健師を育成するため、新任期保健師の特徴を踏まえた指導ができるプリセプターを育成し、現任教育体制を構築することを目的とする。

#### 2. 目標

- (1) プリセプターの活動内容及び役割を理解する。
- (2) 新任期保健師への支援に活かせるよう、コロナ禍における新任期保健師の教育背景や経験等新任期保健師の特徴を理解する。
- (3) 新任期保健師にとっての個別支援の重要性と、その支援方法について理解を深め、プリセプターとして支援できる能力を習得する。
- (4) 新任期保健師の知識、技術に応じた現任教育計画を立案することができる。

#### 3. 実施主体

兵庫県（運営：兵庫県保健師キャリア支援センター）

#### 4. 日時

2023年6月29日（木） 13:30～16:30

#### 5. 場所

中央区文化センター 11 階 1103・1104  
神戸市中央区東町115番地

#### 6. 対象

- (1) 健康福祉事務所地域保健専門員・健康管理専門員及び現任教育担当者
- (2) 新任期保健師（採用後 3 年未満）を指導している県及び市町保健師
- (3) 新任期保健師（採用後 3 年未満）のトレーナー保健師として従事する者

#### 7. 内容

##### (1) 講義

「新任保健師の個別支援能力を高めるプリセプターシップ～新任期の強みや特性を活かして～」

講師：甲南女子大学看護リハビリテーション学部 教授 合田 加代子 氏

##### (2) グループワーク

「新任期保健師の現状を踏まえたプリセプターとしての支援のあり方～個別支援能力の向上に焦点を当てて～」

助言者：甲南女子大学看護リハビリテーション学部 教授 合田 加代子 氏

##### (3) 趣旨説明及びグループワーク

「新任期保健師現任教育計画の策定と活用について」

講師：兵庫県保健医療部健康増進課

#### 8. 申込み

##### (1) 申込方法

兵庫県保健師キャリア支援センターあてのメールに「2023 年プリセプター研修会申込書（別紙 1）」を添付して申し込む。その際、メールの表題に「プリセプター研修」と明記すること。トレーナー保健師の参加希望がある場合は、トレーナー保健師用研修会申込書（別紙 2）も併せて提出すること。

##### (2) 申込期限

2023年6月22日（木）

## 9. 提出物等

以下について事前に作成の上、研修当日に持参し、研修終了時に提出する。

①「事前課題（別紙）」

②策定している「令和5年度 新任期保健師現任教育計画・報告書」

## 10. 問合せ先

兵庫県保健師キャリア支援センター事務局 担当：磯濱

TEL 078-794-8084（直通）/078-794-8080（代表）

FAX 078-794-8084

E-mail phncenter@kobe-ccn.ac.jp

## プリセプター研修会プログラム

| 時 間               | 内 容  |
|-------------------|--|
| 13:30～13:35       | 挨拶   |
| 13:35～14:50 (75分) | 講義<br>テーマ：新任保健師の個別支援能力を高めるプリセプターシップ<br>～新任期の強みや特性を活かして～<br>講師：甲南女子大学看護リハビリテーション学部 教授 合田 加代子 氏              |
| 14:50～15:30 (40分) | グループワーク<br>テーマ：新任期保健師の現状を踏まえたプリセプターとしての<br>支援のあり方～個別支援能力の向上に焦点を当てて～<br>助言者：甲南女子大学看護リハビリテーション学部 教授 合田 加代子 氏 |
| 15:30～15:50 (20分) | 全体発表・まとめ<br>講師：甲南女子大学看護リハビリテーション学部 教授 合田 加代子 氏   |
| 15:50～16:00 (10分) | 休憩   |
| 16:00～16:30 (30分) | 趣旨説明及びグループワーク<br>テーマ：新任期保健師現任教育計画の策定と活用について<br>講師：兵庫県保健医療部健康増進課  |

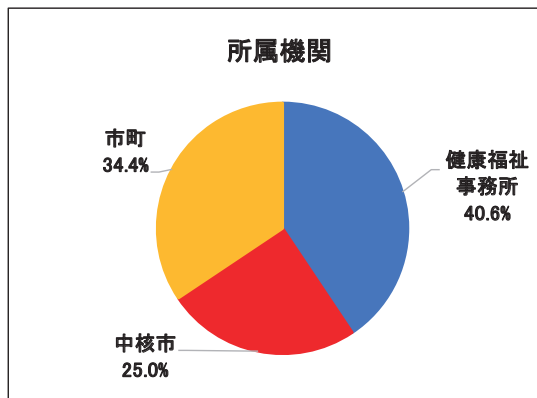
## 2023 年度 プリセプター研修会実施状況

1. 日時:2023 年 6 月 29 日(木)13:30～16:30
2. 場所:中央区文化センター 11 階 1103・1104
3. 参加状況:43 名(健康福祉事務所 16 名、中核市 11 名、市町 16 名、(トレーナー保健師 4 名再掲))
4. 研修内容:
  - 1)講義  
「新任保健師の個別支援能力を高めるプリセプターシップ～新任期の強みや特性を活かして～」  
講師 甲南女子大学看護リハビリテーション学部 教授 合田 加代子 氏
  - 2)グループワーク  
「新任保健師の現状を踏まえたプリセプターとしての支援のあり方～個別支援能力の向上に焦点を当てて～」  
助言者 甲南女子大学看護リハビリテーション学部 教授 合田 加代子 氏
  - 3)趣旨説明及びグループワーク  
「新任保健師現任教育計画の策定と活用について」発表及びまとめ  
講師 兵庫県保健医療部健康増進課
5. 研修結果アンケート:回答数 34 回答率 79.1% (結果は P64～67 参照)

研修参加者:43名 アンケート回答者:34名(回答率79.1%)

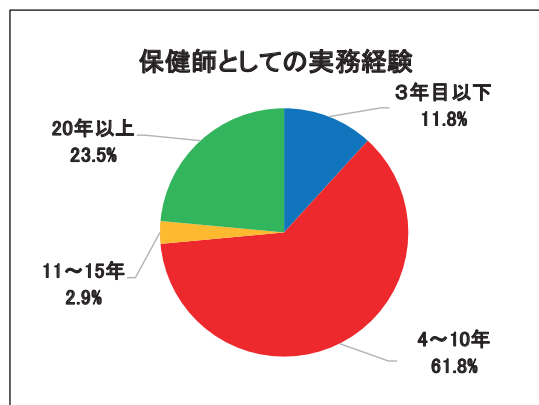
1. 研修参加者の所属機関

|         | 人数 | 割合(%) |
|---------|----|-------|
| 健康福祉事務所 | 13 | 40.6  |
| 中核市     | 8  | 25.0  |
| 市町      | 11 | 34.4  |



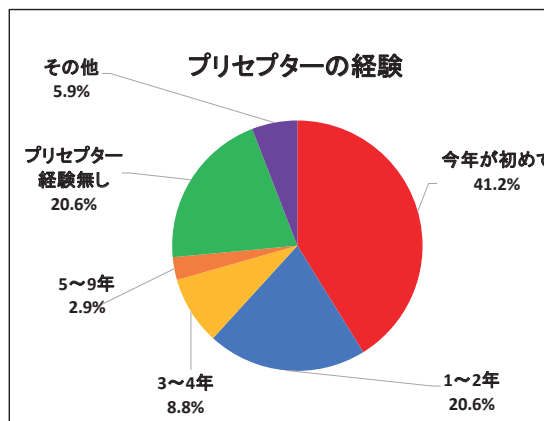
2. 保健師としての実務経験

|        | 人数 | 割合(%) |
|--------|----|-------|
| 3年目以下  | 4  | 11.8  |
| 4～10年  | 21 | 61.8  |
| 11～15年 | 1  | 2.9   |
| 16～20年 | 0  | 0.0   |
| 20年以上  | 8  | 23.5  |



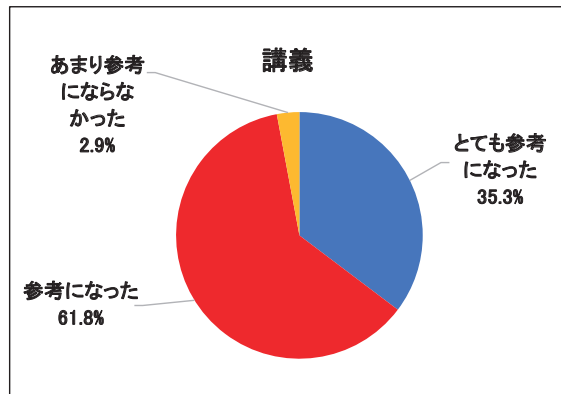
3. プリセプターの経験

|            | 人数 | 割合(%) |
|------------|----|-------|
| 今年が初めて     | 14 | 41.2  |
| 1～2年       | 7  | 20.6  |
| 3～4年       | 3  | 8.8   |
| 5～9年       | 1  | 2.9   |
| プリセプター経験無し | 7  | 20.6  |
| その他        | 2  | 5.9   |



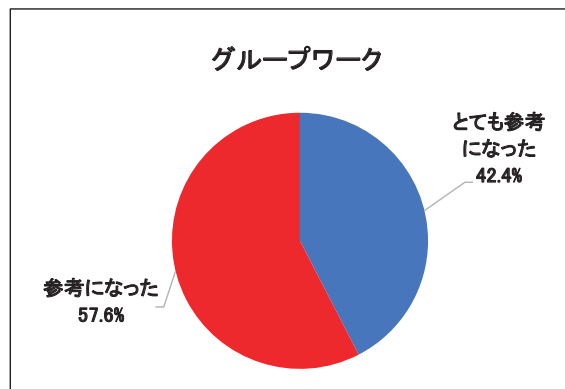
4. 講義「新任保健師の個別支援能力を高めるプリセプターシップ～新任期の強みや特性を活かして～」

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 12 | 35.3  |
| 参考になった       | 21 | 61.8  |
| あまり参考にならなかった | 1  | 2.9   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |



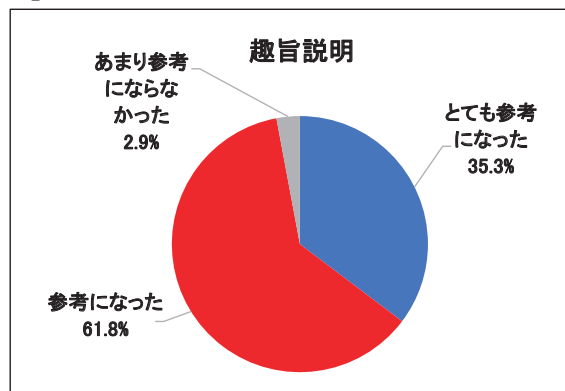
5. グループワーク

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 14 | 42.4  |
| 参考になった       | 19 | 57.6  |
| あまり参考にならなかった | 0  | 0.0   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |



6. 趣旨説明「新任保健師現任教育計画の策定と活用」

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 12 | 35.3  |
| 参考になった       | 21 | 61.8  |
| あまり参考にならなかった | 1  | 2.9   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |



| 講義「新任保健師の個別支援能力を高めるプリセプターシップ～新任期の強みや特性を活かして～」からの学び(主な意見) |   |
|--|---|
| 新任期保健師の理解(10)  | 最近の新人がどのような学びを経て保健師になったかがよくわかった。  |
|  | コロナ禍の新人だということ意識してなかった。  |
| 新任期の特性に応じた育成のあり方(10)                                     | 新任期の特性、リアリティショックがあること、成人の学びの特性、伸びる対応法など新任期の状況や対応を知る、再認識することは理解につながった。                     |
|  | 新任期保健師に対して振り返る機会を作ることの重要性を学んだ。やりっぱなしでは、本人と経験値として身に付かず、実施した手技や言動の理由や根拠を検討することが成長につながると感じた。 |
|  | 経験しても身につく人と身につかない人の違いについて。学生の時に経験してきていることが、異なるためその点も踏まえて関わっていく必要がある。                      |
|  | 経験がある新任、コロナ禍で実習ができなかった新任など、様々な新任がいるが、保健師の本質を伝えていくことが大切だとわかった。                             |
| プリセプターとしてのあり方(4)   | 今、悩みながらやっていることが、それでいいんだということが確認できた。   |
|  | 保健師活動において、なかなか答えがない中、一緒に考える姿勢が大切だということわかりました。   |
|  | 保健師教育の基礎を押さえていただき、プリセプターとして目指す方向が学べた。   |
| 保健師全般(7)   | 改めて自分自身の保健師観についても考える機会になりました。   |
|  | 1対1の教育ではなく、組織全体で地域活動のための教育を心がけたいと思った。   |
|  | 住民と協同しながらというところが保健師の基本であるということが印象的で、指導の場面で活かしていきたいと思った。                                   |

| グループワークを通して、グループワークを通して、プリセプター役割を担う上で参考になったことや、学んだこと、気づいたことなど(主な意見) |   |
|---|---|
| プリセプターとしての共感・情報交換(17)   | 他市の方もプリセプターとして、同じ悩みも持っているとわかり安心した。また、年次の違うプリセプターで話せる機会がとても貴重だと感じた。  |
|   | 新人との関係性構築や助言・問いかけ方法について難しさを感じていたため、グループ内のメンバーから意見をいただけて参考になった。「新人と自分2人で成長していき、住民を大切にできるスキルを培う」という気持ちが大切だと学んだ。 |
|   | 他の市町の状況を聞くことで、新任期保健師の経験やカラーはそれぞれ違うため、担当しているプリセプティに合わせて支援をしていくことが大切だと気付いた。見えている部分と本人が思っている部分は異なることを学んだ。        |
|   | 新任期保健師をどう導くか、どこまで助言するかが共通の悩みごととして挙がった。振り返りの時間を確保し、新任期保健師がどう学んだか等内的経験を話してもらうことは大切だと学んだ。                        |
| 支援のあり方(9)   | 指導するという気持ちで接するのではなく、一緒に考え成長するという気持ちで接することで、プリセプターの経験値に自信のなさを感じることなく関わることができると感じた。                             |
|   | 新任期保健師の実力を伸ばしていくためには、伸ばしていけるような関わりを意識する必要があるのだと学んだ。   |
|   | 振り返りを行うことの大切さや、できていることを認めてあげることの重要性を学ぶことができた。   |

| 研修全体を通しての感想など(主な意見)  |   |
|----------------------|---|
| プリセプターとしての共感・情報交換(6) | グループワークを通して、プリセプターとして悩んでいることや不安に思っていること等を共有することができ良かったです。   |
|                      | プリセプターとして悩んでいることが多かったので、他市町の方の意見を聞くことで自分自身のリフレッシュになった。他の市町で行われている具体的な取り組みを参考にして今後プリセプターとして支援していきたい。 |
|                      | 他機関のプリセプターの悩みや接し方が聞けて良かった   |
| 人材育成計画・評価(5)         | 求める保健師像やそれまでに実施すべき行動、その後評価を具体的に可視化することで、新任期保健師本人も第三者も成長を実感しやすいと感じる。                                 |
|                      | 職場での新任期のマニュアルもありますが、個別の特性に合った計画を作成していくことも大事だと思いました。   |
|                      | 定期的にチェックして有効に活用していきたいと思った。  |
|                      | 教育にも現状をふまえたり、実行評価をするPDCAサイクルが重要だと感じ、丁寧に行きたい。  |

### (3) 地域ケアの総合調整研修

#### 2023 年度 地域ケアの総合調整研修事業実施要領

#### 1 目的

地域保健活動に従事する保健師が、地域全体や活動における課題及び疑問などについて、科学的手法（量的・質的調査など）を用いて明確にした上で、その成果を学術集会や報告会等で公表し、多様な関係者と意見交換することにより、根拠に基づいた課題解決の方策を提案する能力を育成する。

#### 2 目標

- (1) 地域や保健活動において生じている課題を察知し、その明確化と解決に向けて、科学的手法を用いて取り組むことができる。
- (2) 地域保健活動分野において公表されている研究成果を用いることができる。
- (3) 取り組みの成果を、学術集会や報告会等で、プレゼンテーションをするとともに、同僚や関係者とともに検討することで、成果をブラッシュアップすることができる。
- (4) 取り組みの成果をもとに、今後の課題解決に向けた方策を検討することができる。

#### 3 実施主体

兵庫県（運営：兵庫県保健師キャリア支援センター）

#### 4 内容

##### (1) 公開講座・実践報告会

日時：2023 年 12 月 15 日（金）13:30～16:30

場所：KOBE Co CREATION CENTER（仮称）ROOM B（センタープラザ 9 階）  
神戸市中央区三宮町 1 丁目 9 番 1 号

対象：健康福祉事務所及び市町保健師

内容：①公開講座「地域活動において、科学的手法（調査研究）を用いて疑問や課題を明らかにする必要性とその手法について（仮題）」

講師 武庫川女子大学看護学部 教授 和泉 京子氏

②地域ケアの総合調整研修実践報告会（2022～2023 年度分）

・宍粟市：「高齢者保健」

・淡路市：「高齢者保健」

・洲本市：「母子保健」

③地域ケアの総合調整研修の課題研修受講者（予定含）：サポート講師等との打ち合わせ  
公開講座等のみの受講者：希望者は課題解決に向けた方法についての相談可

##### (2) 課題研修

保健活動における課題や疑問を選定し、別途指定された講師とともに、科学的手法を用いて課題や疑問を明らかにするための計画書を作成する。講師の助言を得ながら計画に基づき調査等を行い、課題や疑問を明確化する。取り組みの成果について学術集会や報告会等の場を活用して公表し、意見交換を行い、成果に基づく方策など現場への活用を提案する。

#### ア 対象

健康福祉事務所及び市町保健師

#### イ 定員

特に定めないが、課題研修については、申し込み者が多数の場合は、次年度での実施をお願いする場合がある。なお、新規申し込み及び継続実施である受講者が 1 組もない年度は実施を見合わせる。



## ウ 研修期間

研修受講決定日から 2025 年度末まで（2 年程度実施）

## エ 集合研修

2 日（開始時（公開講座）と実践報告会）

## オ サポート講師

- ① 助言にあたる講師は、県内看護系大学教員、その他テーマに応じた領域の教員等
- ② 講師が行うこと

受講者との打ち合わせ及び研修期間を通して、計画立案、調査等の実施や分析、学術集会や報告会の発表の助言、活動展開について、受講者のニーズに基づきサポートする。

## カ 経 費

集合研修における講師及びサポート講師の派遣にかかる報償費及び旅費については、兵庫県保健師キャリア支援センターが負担する。

集合研修以外のサポート講師の派遣にかかる報償費及び旅費の支給は、対面で行った助言指導に限るものとする。経費の支出については、「6 提出物及び提出期限」に示す別紙 3 で報告された活動実績に基づき、年度内の活動にかかる経費を年度末に一括して精算するものとする。

## キ サポート体制

- ① 課題達成に向けて、原則として受講者 1 組に対して、講師 1 人がサポートにあたるものとする。
- ② サポート方法は、現地及び集合研修による助言等のほか、受講者と講師が調整の上、受講者が大学等に出向いて助言を受けることも可能とする。
- ③ 職場のリーダー保健師（専門員等）は、研修者が研修を受けやすい環境づくりに配慮するとともに、過程を管理し、適宜助言を行う。
- ④ 集合研修のうち、報告会については別途通知する。

## 5 申込み

2023 年 11 月 17 日（金）までに、兵庫県保健師キャリア支援センターあてのメールに「2023 年度地域ケアの総合調整研修事業参加申込書（別紙 1）」を添付して申し込む。その際、メールの表題に「地域ケアの総合調整研修」と明記すること。

課題研修については、第 1 次募集の締め切りを 2023 年 11 月 17 日（金）とし、公開講座及び実践報告会を受けて行う第 2 次募集の締め切りを 2024 年 1 月 31 日（水）とする。（申込み様式は同上（別紙 1）を用いることとする。）

## 6 提出物及び提出期限（課題研修参加者のみ）

| 区分   | 提出物            | 内容  |
|------|----------------|---|
| 事前課題 | 別紙 2           | 地域ケアの総合調整研修事前レポート<br>内容：現場で困っていること、疑問に思っていること、課題だと感じていること                   |
| 経過報告 | 計画書            | 様式自由<br>記載内容：課題を明らかにするために、取り組む具体的な方法とスケジュール、公表方法について記載する（内容：背景、調査方法と調査時期など） |
| 報告会  | 地域ケアの総合調整研修報告書 | 様式自由<br>記載内容：内容：背景、方法、結果、考察（現場への提案）   |
|      | 活動発表資料         | 学術集会へ発表した抄録、プレゼンテーション資料   |

|      |     |   |
|------|-----|---|
| 活動報告 | 別紙3 | 活動実績報告書<br>内容：今年度のサポート講師からの助言指導実績（日時、内容、業務従事者等）について |
|------|-----|---|

<提出期限>

① 事前課題（別紙2）：

以下の提出期限までに、兵庫県保健師キャリア支援センターあてのメールに「2023年度地域ケアの総合調整研修事前レポート（別紙2）」を添付して提出する。その際、メールの表題に「地域ケアの総合調整研修」と明記すること。

提出期限 第1次募集：2023年11月17日（金）

第2次募集：2024年1月31日（水）

②経過報告（計画書）：

2025年度までの2年計画分として作成出来次第随時提出とし、2024年2月29日（木）を提出期限とする。提出の際は、兵庫県保健師キャリア支援センターあてのメールに「2023年度地域ケアの総合調整研修計画書（様式自由）」を添付する。その際、メールの表題に「地域ケアの総合調整研修」と明記すること。

③ 報告会用資料：

別途通知する。

④ 活動報告（別紙3）：

2024年2月29日（木）までに、報告日までに実施した活動実績について、兵庫県保健師キャリア支援センターあてのメールに「2023年度地域ケアの総合調整研修活動実績報告書（別紙3）」を添付して提出する。その際、メールの表題に「地域ケアの総合調整研修」と明記すること。

7. 受講決定（課題研修参加者のみ）

別紙1申込書及び別紙2事前レポートを総合的に判断した上で、受講及びサポート講師を決定し、通知する。

8. 問合せ先

兵庫県保健師キャリア支援センター 担当：岩本・磯濱

TEL 078-794-8084（直通）/078-794-8080（代表）

FAX 078-794-8084

E-mail phncenter@kobe-ccn.ac.jp

附則

この要領は、平成31年4月1日から施行する。

附則

この要領は、令和2年4月1日から施行する。

附則

この要領は、令和4年4月1日から施行する。

附則

この要領は、令和5年4月1日から施行する。

# 2023 年度 地域ケアの総合調整研修会実施状況

## 1. 公開講座

- 1)開催日時:2023年12月15日(金) 13:30～16:30
- 2)開催場所:センタープラザ西館会議室 17号室
- 3)参加状況:16名(健康福祉事務所3名、中核市8名、市町5名)
- 4)研修内容:

### (1)講義

「地域活動において、科学的手法(調査研究)を用いて疑問や課題を明らかにする  
必要性とその手法」

講師:武庫川女子大学看護学部 教授 和泉 京子 氏

### (2)実践報告会

- ①宍粟市:「いきいき百歳体操自主グループの活動継続に関連する要因」
- ②淡路市:「後期高齢者の健康課題の分析について」
- ③洲本市:「保護者が抱えている子育てのしづらさや子育て環境における課題  
～保健師等が認識している課題を明らかにする～」

### ④総評(サポート講師)

武庫川女子大学看護学部 教授 金谷 志子氏  
関西看護医療大学看護学部 教授 伊木 智子氏  
神戸市看護大学看護学部 講師 山下 正氏

### (3)課題解決に向けた助言・指導

講師:武庫川女子大学看護学部 教授 金谷 志子 氏  
教授 和泉 京子 氏  
講師 松井 菜摘 氏  
神戸市看護大学看護学部 教授 岩本 里織 氏  
講師 山下 正 氏

- 5)研修結果アンケート:回答数 14 回答率 87.5% (結果は P73～75 参照)

## 2. 課題研修

保健活動における課題や疑問を選定し、別途指定された講師とともに、科学的手法を用いて課題や疑問を明らかにするための計画書を作成する。講師の助言を得ながら計画に基づき調査等を行い、課題や疑問を明確化する。取り組みの成果について学術集会や報告会等の場を活用して公表し、意見交換を行い、成果に基づく方策など現場への活用を提案する。

する。

1) 研修期間:2022 年度～2023 年度

2) 参加状況:3 市

①宍粟市:「いきいき百歳体操自主グループの活動継続に関連する要因」

サポート講師:武庫川女子大学看護学部 教授 金谷 志子氏

②淡路市:「後期高齢者の健康課題の分析について」

サポート講師:関西看護医療大学看護学部 教授 伊木 智子氏

③洲本市:「保護者が抱えている子育てのしづらさや子育て環境における課題  
～保健師等が認識している課題を明らかにする～」

サポート講師:神戸市看護大学看護学部 講師 山下 正氏

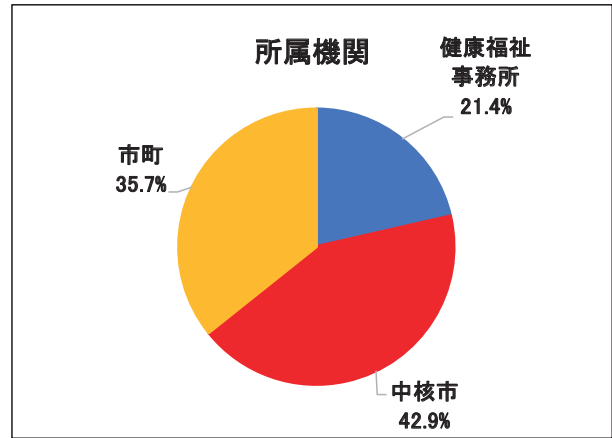
3) 研修内容:各市を担当するサポート講師の助言のもと、チームで検討したいテーマに沿って調査や事業の検討を行い、根拠に基づいた保健事業の展開につなげる。

4) 研修実績:3 市で対面協議、その他随時メール等で助言指導を受けて実施した。

研修参加者:16名 アンケート回答者:14名(回答率87.5%)

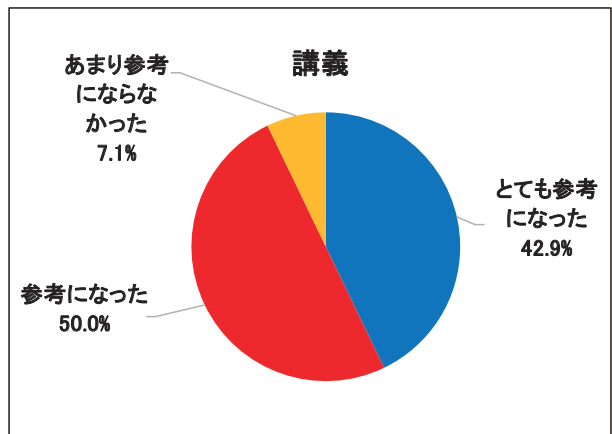
1. 研修参加者の所属機関

|         | 人数 | 割合(%) |
|---------|----|-------|
| 健康福祉事務所 | 3  | 21.4  |
| 中核市     | 6  | 42.9  |
| 市町      | 5  | 35.7  |



2. 講義「地域活動において、科学的手法(調査研究)を用いて疑問や課題を明らかにする必要性とその手法」

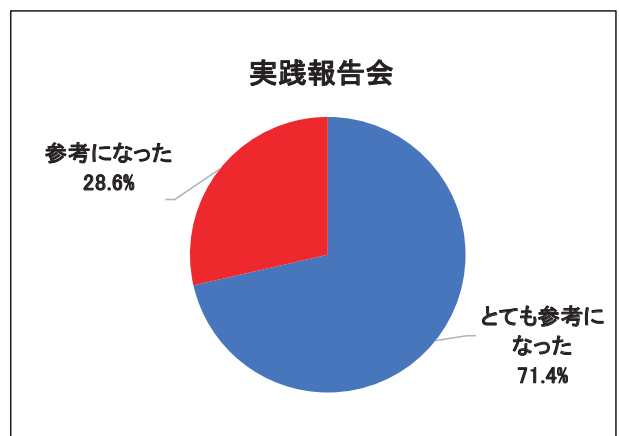
|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 6  | 42.9  |
| 参考になった       | 7  | 50.0  |
| あまり参考にならなかった | 1  | 7.1   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |



3. 実践報告会

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 5  | 71.4  |
| 参考になった       | 2  | 28.6  |
| あまり参考にならなかった | 0  | 0.0   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |

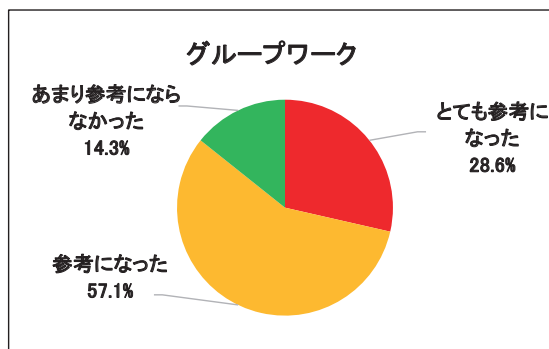
※未回答7名



4. 課題研修及び課題解決に向けた意見交換のグループワーク

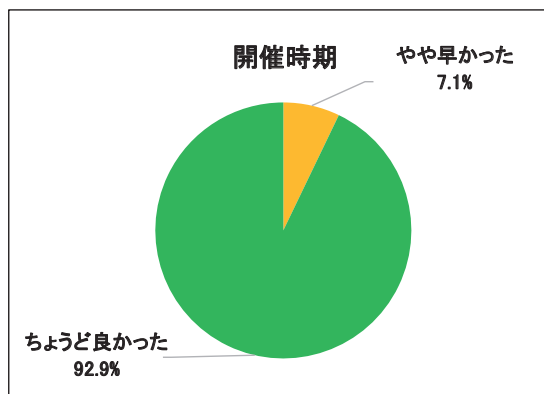
|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 2  | 28.6  |
| 参考になった       | 4  | 57.1  |
| あまり参考にならなかった | 1  | 14.3  |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |

※未回答7名



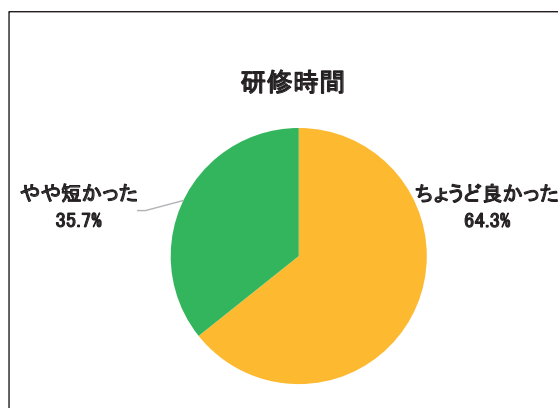
5. 研修開催時期

|          | 人数 | 割合(%) |
|----------|----|-------|
| 早かった     | 0  | 0.0   |
| やや早かった   | 1  | 7.1   |
| ちょうど良かった | 13 | 92.9  |
| やや遅かった   | 0  | 0.0   |
| 遅かった     | 0  | 0.0   |



6. 研修時間

|          | 人数 | 割合(%) |
|----------|----|-------|
| 長かった     | 0  | 0.0   |
| やや長かった   | 0  | 0.0   |
| ちょうど良かった | 9  | 64.3  |
| やや短かった   | 5  | 35.7  |
| 短かった     | 0  | 0.0   |



**講義「地域活動において、科学的手法(調査研究)を用いて疑問や課題を明らかにする必要性とその手法」からの学び(主な意見)**

|                  |  |
|------------------|--|
| 根拠に基づいた活動の重要性(6) | なんとなく感覚で課題と思っていることを数値化する等見える化することが重要であること、見える化することで具体的な活動や評価が出来ること。また、個別ケースを大切に、困っていることや感じていることを目的を持って聞き取ることも研究になることなど改めて勉強になった。 |
|                  | 地域での活動から健康課題をあげ、他市町と比較、文献活用し、形にしていくことの大切さを学ぶことができました。  |
|                  | 保健師に求められる役割、科学的根拠に基づく保健師活動の必要性を理解できた。  |
| 実践での活用の理解(3)     | 具体的な方法で分かりやすかった。   |
|                  | 実際の事例(連携など)についての話があり、参考になった。   |
| 自治体と大学の連携(2)     | このような事業があることを知らなかったのでよかった。   |
|                  | 大学のサポートがあることで、実践の中に活かせる形で研修・研究に取り組みができ、振り返ってまとめることが日々の活動のモチベーションにつながると思います。  |

**実践報告会の学び(主な意見)**

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 調査研究の取組の理解(2)         | 調査研究の実施プロセスとサポート体制についてイメージすることができたため。  |
|                       | しっかりと分析され、その地域特性に合わせた事業展開がなされており、参考になった。   |
| 他市町の取組の理解と事業活用への示唆(4) | 色々な市町村でそれぞれ頑張っていると励みになった。  |
|                       | 身近な内容の発表であり、取り組んでいる事業に活かせるような研究結果が気になるものばかりだったため。  |
|                       | 赤ちゃん訪問など普段の活動のなかで、もやもやしていたことが、発表を聞くことで、「そうだな」と自分の中に落とせた。いき100については、同じような悩みがあり、今後結果が出るのが楽しみである。 |

**実践報告会の学び(主な意見)**

|                  |   |
|------------------|---|
| 研修活用及びサポートの理解(4) | 研修参加も検討しており、具体的にどのようなサポートを受けることができるのか等聞くことができたので。 |
|                  | 今後の方向性について話すことができ、アドバイスをいただくことができた。               |
|                  | 何でも相談できるという事が知れた。                                 |

**研修全体を通しての感想など(主な意見)**

|               |  |
|---------------|--|
| 実践報告会(3)      | 研究結果を知りたくなる発表ばかりで、とても参考になった。           |
|               | 実践発表などの時間がタイトでゆっくり質疑応答できないのが、少し残念だった。  |
| 他機関・大学との交流(4) | 大学の先生方と話す機会ができて良かった。GWの時間がもう少しあれば良かった。 |
|               | 他市の方と交流できて良かったです。ありがとうございました。          |





### 3)保健師及び地域保健に携わる関係者への調査研究



## (1) 2023 年度 調査研究課題

### 1. 進行中の調査研究課題

#### 1) 保健師のキャリア支援に関するニーズと支援体制に関する研究

目的:本研究では、年度開設される保健師キャリア相談の内容を分析し、キャリア支援や離職防止の観点から、自治体の保健師が抱えるキャリア支援に関するニーズを把握すること、保健師キャリア相談の体制を評価することを目的とする。

対象者:保健師キャリア相談の利用者

研究方法:保健師キャリア相談の相談終了時に本調査について説明し、相談方法に応じて紙媒体またはメール等にて研究説明文及び調査票(Web回答のURL含む)を送信する。得られた調査票について、記述統計及び自由記載箇所についての質的分析を行う。

調査内容:相談者の属性に関すること(年齢・性別・経験年数等)及び相談内容の概要、相談対応や相談後の状況等

#### 2) 保健師の産休・育休復帰支援に関する研究

目的:行政保健師の産育休取得前後の支援プログラム構築に向けて、支援ニーズを明らかにし、本結果をもとに、ニーズに適した保健師の産休・育休復帰支援プログラムの開発を目指す。

対象者:兵庫県内において産育休を取得し復帰から3年以内の保健師8名及び、産育休を取得して復帰後3年以内の部下を持つ係長以上の保健師7名

調査期間:2024年2月～2024年3月

研究方法:インタビュー調査を行い、逐語録を作成後分析し、最終的に両者を統合して必要なプログラムを検討する。

調査内容:産育休を取得した保健師に対しては、育休中、育休明けに困ったこと、不安であったこと、職場復帰に向けて自身で努力したこと、求める支援などを聴取する。また、育休を取得した保健師の上司に対しては、育休中に行った支援内容・頻度、育休明けの支援で困難を感じ育休中に行った支援内容・頻度、育休明けの支援で困難を感じたこと、どのような支援体制があったらよいか等

### 3) 職歴を考慮した新任期保健師の人材育成支援に関する研究

目的: 現職に入職して新任期(入職後3年以内)に該当する保健師の職歴を把握し、A県下の保健師採用状況の実態を把握するとともに、多岐にわたる職歴を考慮した人材育成のあり方を検討するための基礎資料を得て、継続的に効果的な人材育成に活用することを目的とする。

対象者: A県下の行政機関に勤務する新任期(入職後3年以内)の保健師367名

調査期間: 2023年3月1日～2023年3月31日

研究方法: 各機関に対して該当者へ依頼文及び調査票の配布を依頼し、郵送またはWEBにより回答を得て、各項目について記述統計により分析する。

調査内容: 対象者属性、職歴、転職理由、保健師業務の認識とその理由、辞職を考えたことの有無とその理由、保健師として活動する上で不安や困難に感じていること、新任期に望む支援等

#### 4)保健師キャリア支援(再就業支援含む)



## (1) 保健師キャリア相談

### 2023 年度 保健師キャリア相談

1. 目的:保健師活動や保健師のキャリアアップに関する相談に応じることで、保健師活動の資質向上および離職防止につなげる。
2. 対象:①現在保健師として活動している方  
②産前・産後休暇、育児休暇中の保健師の方  
③再就業を考えている保健師の方  
など保健師免許を有する方ならどなたでも利用可
3. 主な相談内容:①保健師活動に関する具体的な相談(事業、個別支援等)  
②スキルアップに関すること  
③キャリアラダーに関すること  
④保健師活動に関する調査研究に関すること  
⑤その他保健師活動に関すること  
など保健師活動に関する相談全般
4. 相談定例日:毎月第 3 水曜日 13:00~20:00 (左記以外の日程も応相談)
5. 方法:面談(来所・遠隔)または電話(予約制)
6. 予約方法:保健師キャリア支援センターホームページの相談申し込みフォームまたはメール(随時) Mail:phncenter@kobe-ccn.ac.jp
7. 相談員:保健師キャリア支援センター教員  
神戸市看護大学いちかんだ이버シティ看護開発センター教員:磯濱  
神戸市看護大学公衆衛生看護学分野教員:岩本、山下

## 2023年度 保健師キャリア相談実績

| 番号 | 相談者所属 | 相談方法 | 相談概要             |
|----|-------|------|------------------|
| 1  | 行政機関  | メール  | 対象者との人間関係の構築について |
| 2  | 行政機関  | 電話   | 休職復帰時の学習教材について   |
| 3  | 行政機関  | メール  | 仕事の適性について        |
| 4  | 行政機関  | メール  | 研修会の講師の紹介について    |
| 5  | 医療機関  | ZOOM | 看護師から保健師への転職について |
| 6  | 行政機関  | ZOOM | 個別支援について         |
| 7  | 団体    | 電話   | 研修会講師の紹介について     |
| 8  | 教育機関  | 電話   | 求人の相談            |
| 9  | 行政機関  | ZOOM | キャリアアップについて      |



## (2) 保健師就業・復職支援研修会

2023 年度 保健師就業・復職支援研修会 実施要領

### 1. 目的

新型コロナウイルス感染症の流行を機に、感染症対策の要である保健所や、予防接種など住民の生活に密着した支援を行う市町村など、主に行政機関で働く保健師の需要が増しており、自治体においても保健師の確保に尽力しているところである。

このような背景の中、保健師資格取得後、保健師活動から離れていた人材を有効に活用するため、潜在保健師等の就業・復職にあたり、最新の保健・医療・福祉の動向を理解し、行政機関で働く保健師に求められる基本的な知識等を学ぶことを目的とする。

### 2. 目標

- (1) 最近の保健・医療・福祉の動向を理解する。
- (2) 兵庫県における保健活動に関する施策を理解する。
- (3) 行政機関における保健師活動の実際を理解する。

### 3. 実施主体

兵庫県(運営:兵庫県保健師キャリア支援センター)

### 4. 対象

行政保健師として就業を希望する潜在保健師等(兵庫県看護協会の保健師バンク登録者等)

### 5. 内容

- (1) 講義(最近の動向、兵庫県の保健福祉施策、行政機関における保健師活動の実際)
- (2) 座談会(現職保健師との座談会)

### 6. スケジュール

- (1) 日時:2024年2月16日(金) 10:30~16:00
- (2) 場所:センタープラザ西館会議室 6階 17号室  
神戸市中央区三宮町2丁目11-1
- (3) 内容:①講義  
「最近の保健・医療・福祉の動向と兵庫県における保健施策について(仮題)」  
講師:兵庫県保健医療部健康増進課  
「県における保健師活動の実際について(仮題)」  
講師:兵庫県保健医療部健康増進課  
「政令中核市における保健師活動の実際について(仮題)」  
講師:神戸市健康局健康局  
「市町における保健師活動の実際について:市町(仮題)」  
講師:淡路市健康福祉部健康増進課  
②座談会

## 7. 申込み

(1)申込み期限 2024年2月9日(金)

(2)申込み方法

兵庫県保健師キャリア支援センターホームページの研修申込フォームより、各自申込んでください。

研修案内サイトの URL <https://kobe-phn-cc.jp/news/4054/>

研修申込フォームの URL <https://forms.office.com/r/wA9gL48JRn>

## 8. 問合せ先

兵庫県保健師キャリア支援センター 担当:磯濱

TEL 078-794-8084(直通)/078-794-8080(代表)

FAX 078-794-8084

E-mail [phncenter@kobe-ccn.ac.jp](mailto:phncenter@kobe-ccn.ac.jp)

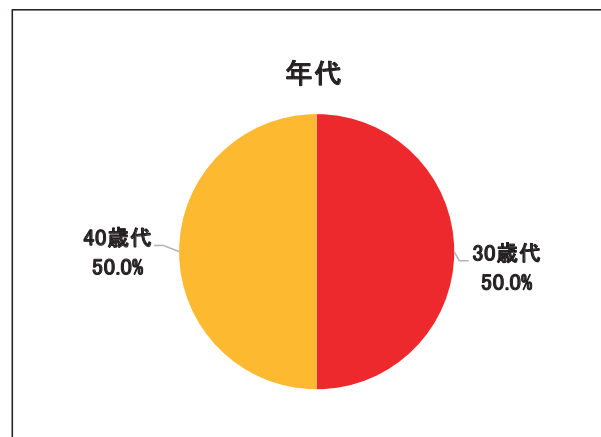
## 2023 年度 保健師就業・復職支援研修会実施状況

1. 日時:2024年2月16日(金)10:30~16:00
2. 場所:センタープラザ西館貸会議室17号室
3. 対象:行政保健師として求職中の者(新卒除く)
4. 参加状況:8名(受講者2名、聴講者6名)
5. 研修内容:
  - 1) 講義
    - ①「最近の保健・医療・福祉の動向と兵庫県における保健施策について」  
講師:兵庫県保健医療部健康増進課
    - ②講義「兵庫県における保健師活動について」  
講師:自治体保健師
    - ③講義「神戸市の保健師活動」  
講師:自治体保健師
    - ④講義「市町における保健師活動の実際について」  
講師:自治体保健師
  - 2) 現職保健師との座談会
6. 研修結果アンケート:回答数 2 回答率 100.0% (結果は P88~89 参照)

研修参加者:2名 アンケート回答者:2名(回答率100.0%)

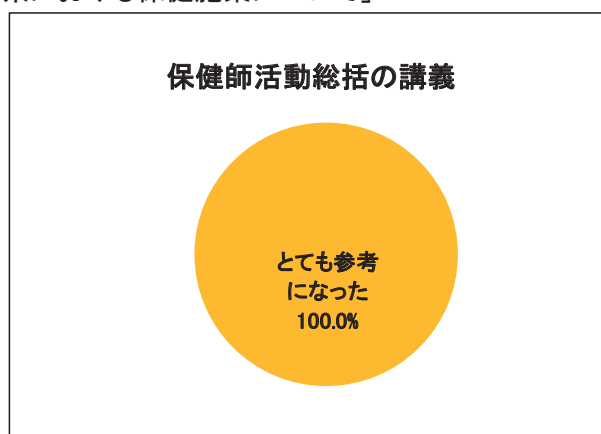
1. 研修参加者の年代

|      | 人数 | 割合(%) |
|------|----|-------|
| 20歳代 | 0  | 0.0   |
| 30歳代 | 1  | 50.0  |
| 40歳代 | 1  | 50.0  |
| 50歳代 | 0  | 0     |



2. 講義(総論)「最近の保健・医療・福祉の動向と兵庫県における保健施策について」

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 2  | 100.0 |
| 参考になった       | 0  | 0.0   |
| あまり参考にならなかった | 0  | 0.0   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |

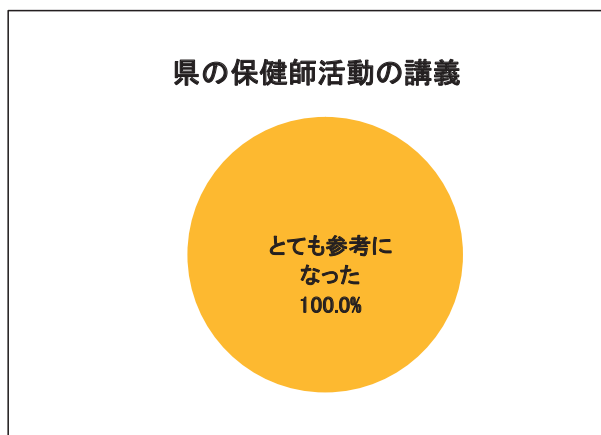


【学びの概要】

最新の知識や状況を知ることができた。

3. 講義(各論)「兵庫県における保健師活動について」

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 2  | 100.0 |
| 参考になった       | 0  | 0.0   |
| あまり参考にならなかった | 0  | 0.0   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |



【学びの概要】

難病の個別災害マニュアルや中央こども家庭センターでの虐待対応など、県の保健師の活動を具体的に知ることができた。

#### 4. 講義「神戸市の保健師活動」

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 2  | 100.0 |
| 参考になった       | 0  | 0.0   |
| あまり参考にならなかった | 0  | 0.0   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |

##### 【学びの概要】

震災の経験を踏まえて、他県に対して支援を行っていたり、複数での訪問対応など自治体固有の活動を知ることができた。

#### 政令中核市の保健師活動の講義



とても参考になった  
100.0%

#### 5. 講義「市町における保健師活動の実際について」

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 2  | 100.0 |
| 参考になった       | 0  | 0.0   |
| あまり参考にならなかった | 0  | 0.0   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |

##### 【学びの概要】

市町村で成人期の健康づくりや母子保健の丁寧な活動を知ることができた。住民が集まる工夫も大事だとわかった。

#### 市町の保健師活動の講義



とても参考になった  
100.0%

#### 6. 座談会

|              | 人数 | 割合(%) |
|--------------|----|-------|
| とても参考になった    | 2  | 100.0 |
| 参考になった       | 0  | 0.0   |
| あまり参考にならなかった | 0  | 0.0   |
| 参考にならなかった    | 0  | 0.0   |

##### 【学びの概要】

とても話しやすい雰囲気だった。現職保健師の聞く力、包容力を実感した。

#### 座談会



とても参考になった  
100.0%

##### 【研修全体を通して】

講義も資料もとてもわかりやすかった。

### (3) オンデマンド研修

#### 2023 年度 オンデマンド研修

目的:新型コロナウイルス感染症禍で市町村間の保健師による直接的な情報共有の場がなく、活動方法を模索している方も多い。そのために、兵庫県内の先駆的活動や特徴的活動を実施している自治体やその活動を取り上げ、オンデマンドで活動紹介を行う。  
方法:兵庫県保健師キャリア支援センターホームページ内のオンデマンド研修視聴サイトからパスワード入力の視聴ページへ遷移し、視聴する。

#### 1. 先駆的保健師活動の紹介

複数の自治体の活動紹介を取材して準備中

#### 2. 新任期保健師研修

##### 1) 課題説明

(1) 1年目の課題の取り組み方について

開催日時: 2023年5月18日(木) 11:05~12:00

内容: 課題説明「個別支援としての家庭訪問(1年目)」

講師: 兵庫県保健医療部健康増進課

(2) 2年目の課題の取り組み方について

開催日時: 2023年5月23日(火) 11:05~12:00

内容: 課題説明「地域診断(2年目)」

講師: 兵庫県保健医療部健康増進課

(3) 3年目の課題の取り組み方について

開催日時: 2023年5月25日(木) 11:05~12:00

内容: 課題説明「地域診断に基づくPDCA(事業計画と評価)(3年目)」

講師: 兵庫県保健医療部健康増進課

##### 2) 先輩保健師の講話(現在 2022 年度分のみ配信中。2023 年度分は年度内に配信予定)

(1) 2年目保健師の講話(2022年10月に開催した新任期研修での講話)

テーマ: 2年目の保健師として伝えたいこと

講師: 自治体 2年目 保健師

(2) 3年目保健師の講話(2022年10月に開催した新任期研修での講話)

テーマ: 後輩保健師に伝えたいこと~これまでの保健師活動を振り返って~

講師: 自治体 3年目 保健師

(3) 4年目保健師の講話(2022年10月に開催した新任期研修での講話)

テーマ: 新任期保健師に伝えたいこと

講師: 自治体 4年目 保健師

**3)中堅期保健師の講話**(現在 2022 年度分のみ配信中。2023 年度分は年度内に配信予定)

(1)個別支援について(2023 年 1 月に開催した新任研修での講話)

テーマ:個別支援の実際

講師:兵庫県保健医療部健康増進課

(2)地域診断について(2023 年 1 月に開催した新任研修での講話)

テーマ:地域診断の実際について

講師:健康福祉事務所 中堅期 保健師





## 5)総括



# 2023 年度兵庫県保健師キャリア支援センター事業総括

## 1. 兵庫県保健師キャリア支援センター業務検討会

今年度は、運営協議会の廃止に伴い、3 月 11 日(月)に業務検討会を開催した。主に新任保健師研修を始めとする人材育成について協議し、研修と OJT の連動や中堅期保健師の人材育成の必要性を共有した。

## 2. 人材育成研修

### 1) 新任保健師研修会

新任保健師の継続研修として、前期Ⅰ研修では各対象年のテーマ別講義(1 年目:個別支援、2 年目:地域診断、3 年目:PDCA)について神戸大学大学院の和泉比佐子先生を講師にお迎えし、5 月 18(木)、5 月 23 日(火)及び 5 月 25 日(木)に実施した。参加者は聴講者を含みそれぞれ 79 名(うち新任 65 名)、88 名(同 81 名)、66 名(同 52 名)であった。前期Ⅱ研修では先輩保健師の講話とグループワークを行い、それぞれファシリテーターを含み 9 月 6 日(水)79 名(同 63 名)、9 月 21 日(木)98 名(同 78 名)、9 月 27 日(水)61 名(同 50 名)の参加であった。後期研修では、中堅期保健師による各テーマ別の保健活動の実践についての講話及び課題に関するグループワークを行った。参加者は、それぞれ 1 月 12 日(金)79 名(同 63 名)、1 月 18 日(木)95 名(同 75 名)、1 月 26 日(金)60 名(同 47 名)であった。新任研修全体では、9 回、延 705 名(同 574 名)の参加であった。

研修後のアンケートでは、全ての研修において 9 割以上が学びの効果を感じられたとの評価であった。研修は約 8 ヶ月に及び、当日ディスカッションする事例は限られるため、集合研修と各所属における指導の連動が学びを深めることから、集合研修の学びの視点をどのように各自の事例に反映できるのかという実践へつなげるための支援が課題である。

### 2) プリセプター研修会

6 月 29 日(木)に開催し、43 名の参加を得た。甲南女子大学の合田加代子先生を講師にお迎えし、新任の特性を踏まえた上での個別支援能力を高めるプリセプターシップのあり方の講義及びプリセプターとしての現状や課題を共有し、今後の支援のあり方を考えるグループワークを行った。研修後のアンケートでは 9 割以上が講義及びグループワークについて学びを実感できる研修となった。また、県庁職員による、新任保健師現任教育計画の策定と活用に関する趣旨説明及びグループワークを通じて、新任保健師一人ひとりに合わせた人材育成計画の立案と実践の必要性を再認識する機会となった。

### 3) 地域ケアの総合調整研修

12 月 15 日(金)に、武庫川女子大学の和泉京子先生を講師にお迎えし、地域活動において科学的手法を用いて課題を明らかにする必要性とその方法について公開講座を行った。参加者は 16 名であった。また、昨年度から約 2 年間取り組んだ課題研修について、宍粟市のいきいき百歳体操に関する取組(サポート講師:武庫川女子大学の金谷志子先生)、淡路市の後期高齢者の健康課題の分析(サポート講師:関西看護医療大学の伊木智子先生)、洲本市の子育てに関する保健師等が認識する課題(サポート講師:神戸市看護大学の山下正先生)の 3 チームから実践報告を行った。研修会を通して、来年度 5 チームが課題研修に取り組むことになった(継続を含む)。

### 3. 保健師及び地域保健に携わる関係者への調査研究

現在、「保健師のキャリア支援に関するニーズと支援体制に関する研究」、「職歴を考慮した新任期保健師の人材育成支援に関する研究」、「保健師の産休・育休復帰支援に関する研究」に取り組んでいる。これらの研究を通して、兵庫県下の保健師の実態を把握し、調査結果をもとに今後必要な支援の検討を進めていく予定である。

### 4. 保健師キャリア支援(再就業支援含む)

#### 1) 保健師キャリア相談

県内の保健師(保健師免許保有者)を対象として、活動に関する具体的な相談(事業、個別支援等)、スキルアップやキャリアラダーに関すること等保健師活動全般に関する相談窓口を開設している。今年度の相談実績は9件で、相談内容は研修講師の紹介、担当事例や事業の相談、キャリアアップに関する相談などであった。必要に応じて相談ができる窓口をさらに周知する必要がある。

#### 2) 保健師就業・復職支援研修会

2月16日(金)に研修会を行い、参加者は8名(受講者2名、聴講者6名)であった。研修会では、県職員による最近の保健医療福祉施策等に関する講義を総論とし、各論として、県、神戸市、淡路市から各機関での保健師活動についての講義及び現職保健師との座談会を行った。研修後のアンケートから、研修は卒業後のブランクを補う内容であり、行政機関での現在の保健師活動の理解が深まったとともに、現職保健師の姿勢から学び取るものがあったと満足度は高かった。

#### 3) オンデマンド研修

新任期保健師研修会の研修課題の説明に関する動画及び先輩保健師や中堅期保健師からの講話を配信し、随時活用できるように提供している。先駆的な保健師活動の紹介については取材を進めており、随時配信していく予定である。

### 5. まとめ

兵庫県保健師キャリア支援センターでの取組を開始して3年の節目を迎え、当センターが運営する活動の大枠は定着しつつある。今年度は事業実施にあたってコロナ禍の影響もほぼなくなり、対面を基本とした人材育成を進めることができた。新任期保健師研修会については、昨年度に引き続き、研修課題の実践時間を確保するスケジュール設定及びグループワーク、先輩からの学びの場を毎回企画したところ、有意義であったと大変好評であった。特に中堅期保健師によるテーマ別の講義は、研修として取り組んでいることが地域でどのように展開されているのかという具体的な理解から、研修課題に取り組む意義の認識につながっていた。また、地域ケアの総合調整研修では、今年度は公開講座に併せて実践報告会を行い、根拠に基づく保健活動の必要性の理解と実践への後押しにつながった。研修を通じて、活動の課題を明確にするとともに、行政機関と大学の協働体制の強化につなげていきたいと考える。また、保健師就業・復職支援研修会による潜在保健師の活用を目指した研修も実施し、全ての研修において概ね高評価を得た。他県からも当センターの活動への照会があるなど、どの地域でも重要課題である人材育成について、さらに充実、定着させていくことが求められる。そのためには、県内の自治体保健師及び看護系大学教員の協力が不可欠であり、県内全体で人材育成を進めていく機運を一層高め、継続して質の高い研修を実施していくことが重要である。

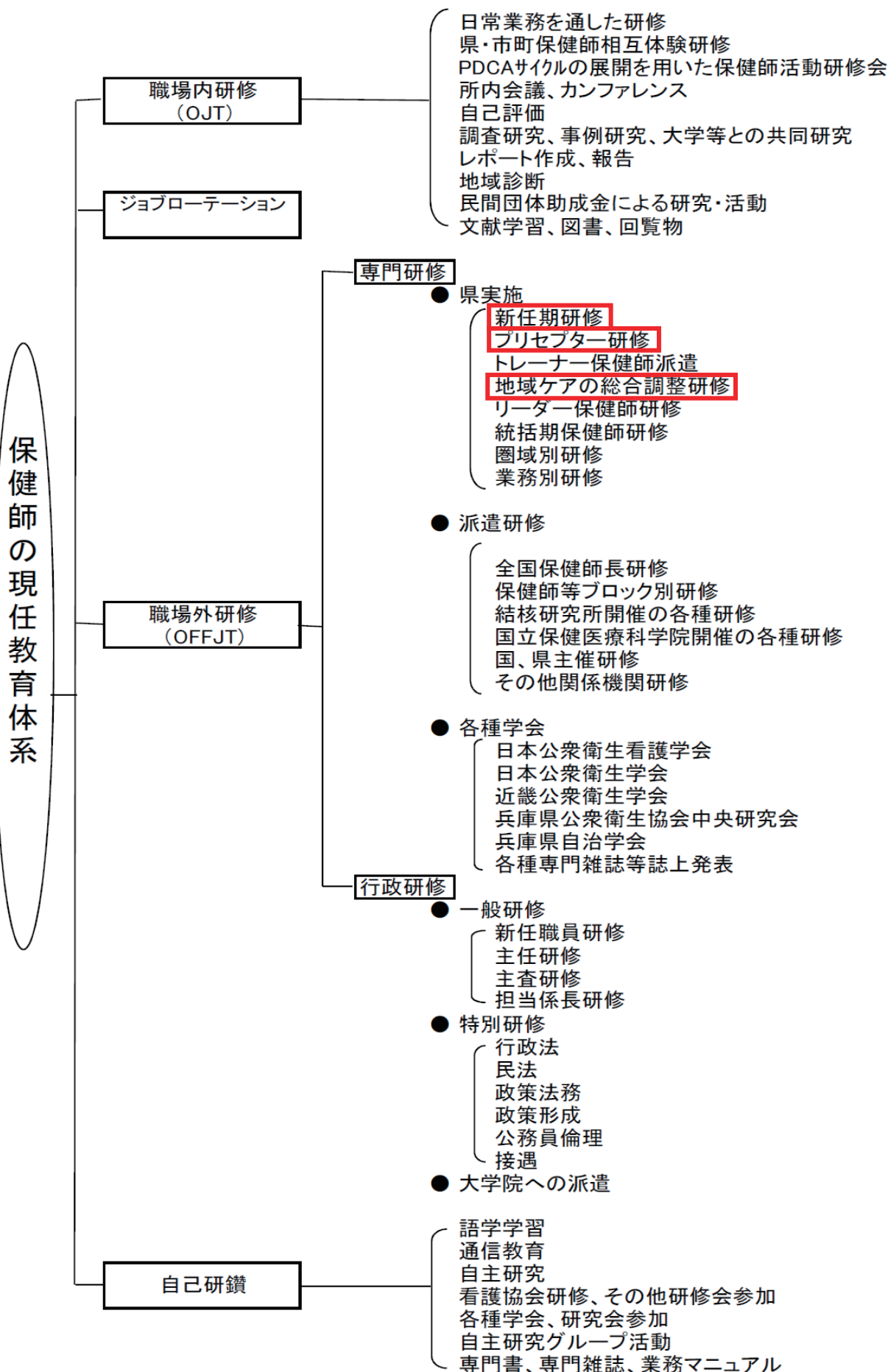
今後は、活動を通じて把握したニーズをもとに、関係機関とも協議しながら進め、さらに充実した人材育成とネットワークの強化につなげていきたいと考える。

## 2. 卷末資料



# 兵庫県の保健師の現任教育体系

※   は兵庫県保健師キャリア支援センター2023年度実施事業



自治体保健師の標準的なキャリアラダー（専門的能力に係るキャリアラダー）

出典：兵庫県保健師人材育成ガイドライン

別紙2-1

| キャリアレベル    |   |   |   |   |   |
|------------|---|---|---|---|---|
|            | A-1   | A-2   | A-3   | A-4   | A-5   |
| キャリアレベルの定義 |   |   |   |   |   |
| 所属組織における役割 | <ul style="list-style-type: none"> <li>組織の新任者であり行政組織人及び保健師専門職としての自覚を持つ。</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>計画された担当業務を自立して実施する。</li> <li>プリセプターとして後輩の指導を担う。</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>保健活動に係る担当業務全般について自立して行う。</li> <li>役割や立場の違いを理解し、つなぎ役としての組織的役割を担う。</li> <li>自組織を越えたプロジェクトに参画する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>所属係内でチームのリーダーシップをとって保健活動を推進する。</li> <li>キャリアレベルA-5の保健師を補佐する。</li> <li>関係機関との信頼関係を築き協働する。</li> <li>自組織を越えたプロジェクトで主体的に発言する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>所属課の保健事業全般に関して指導的役割を担う。</li> <li>自組織を越えた関係者との連携・調整を行う。</li> </ul>                    |
| 責任を持つ業務の範囲 | <ul style="list-style-type: none"> <li>担当業務を的確に把握・理解し、個別事例に対して責任を持つ。</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>系の保健事業に係る業務全般を理解し、地域支援活動に係る担当業務に責任を持つ。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>係の保健事業と施策との関係性を理解し、主担当として担当業務に責任を持つ。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>課の保健事業に係る業務全般を理解し、その効果的な実施に対して責任を持つ。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>組織の健康施策に係る事業全般を理解し、その効果的な実施に対して責任を持つ。</li> </ul>                                     |
| 専門技術の到達レベル | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な事例への対応を主体的に行う。</li> <li>地域活動を通して地域特性や地域資源を把握し、地域の人の健康課題を明らかにする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>複雑な事例への対応を必要に応じて指導を受けて実施する。</li> <li>担当地域の健康課題の優先度を判断し、地域の人の主体性を尊重した解決策を立案する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>複雑な事例に対して自立して対応する。</li> <li>健康課題を明確にし、チーム内で共有し、地域の人々と協働して事業計画を立案する。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>複雑な事例に対して、担当保健師等にスーパーバイズすることができ、地域の潜在的な健康課題を明確にし、施策に応じた事業化を行う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>組織横断的な連携を図りながら、複雑かつ緊急性の高い地域での健康課題に対して迅速に対応する。</li> <li>健康課題解決のための施策を提案する。</li> </ul> |

| 保健師の活動領域 | 各レベルにおいて求められる能力   |   |  |  |  |
|----------|---|---|--|--|--|
|          | 求められる能力   | 1-1. 個人及び家族への支援   | 1-2. 集団への支援  |  |  |
| 1 対人支援活動 | <ul style="list-style-type: none"> <li>医学や公衆衛生看護学等の専門知識に基づき個人及び家族の健康と生活に関するアセスメントを行う能力</li> <li>個人や家族の生活の多様性を踏まえ、あらゆる保健活動の場面を活用して個人及び家族の主体性を尊重し、課題解決のための支援及び予防的支援を行う能力</li> <li>必要な資源を導入及び調整し、効果的かつ効率的な個人及び家族への支援を行う能力</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>個人及び家族の健康と生活について分析し健康課題を解決するための支援計画を立てることができる。</li> <li>個人及び家族の多様性や主体性を尊重した支援を指導を受けながら実践できる。</li> <li>支援に必要な資源を把握できる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>複雑な事例の支援を必要に応じて、指導を受けて実施できる。</li> <li>対象の主体性を踏まえ、支援に必要な資源を指導を受けて導入及び調整できる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>複雑な事例の潜在的な健康課題を把握し、予防に係る支援を実践できる。</li> <li>健康課題に予防的に介入できる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>複雑かつ緊急性の高い健康課題を迅速に明確化し、必要な資源を調整し、効果的な支援を実践できる。</li> </ul> |
|          |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>集団のグループダイナミクスを活用して、特性に応じた支援計画を企画し、自立して支援できる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>集団への支援を通して、地域の健康課題を明確化する事ができる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>集団への支援を通して立案した事業により、住民による地域の健康課題の解決を支援することができる。</li> </ul>            |  |



| 保健師の活動領域       |                  | 求められる能力  | 各レベルにおいて求められる能力   |  |  |   |   |
|----------------|------------------|--|---|--|--|---|---|
| 2 地域支援活動       | 2-1. 地域診断・地区活動   | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の健康課題や地域資源を明確化し、地域組織や関係機関と協働して課題解決する能力</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>担当地区の情報进行分析し、健康課題の明確化と優先性の判断ができる。</li> </ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域診断や地区活動で明らかになった課題を事業計画立案に活用できる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域に潜在する健康課題を把握し、リスクの低減や予防策を計画し実践できる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域診断や地区活動で明らかになった課題を施策立案に活用できる。</li> </ul>   |   |
|                | 2-2. 地域組織活動      | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の特性を理解し住民と協働して組織化・ネットワーク化を促す能力</li> <li>地域組織を育成し、ネットワーク化し協働する能力</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な住民ニーズを把握しながら、地域組織と共に活動できる。</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>住民と共に活動しながら、住民ニーズに応じた組織化が提案できる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>住民ニーズに応じた組織化と協働し、必要に応じて新たな資源やネットワークの立ち上げを検討することができる。</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な住民組織のネットワークを立ち上げ、地域組織の育成を行うことができる。</li> </ul>   |   |
|                | 2-3. ケアシステムの構築   | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康なまちづくりを推進するため保健、医療、福祉、介護等の各種サービスの総合的な調整を行う能力</li> <li>住民、学校、企業ほか、地域の関係機関と協働し連携を図り、地域特性に応じたケアシステムを構築する能力</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>担当地区の各種サービスとその関係性を理解し、指導を受けながら担当事例に必要なサービスを活用できる。</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>担当地区や担当事例への対応を通して必要なサービスの調整ができる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の健康課題や地域特性に基づき、関係機関と協働し、地域ケアシステムの改善・強化について検討できる。</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>各種サービスの円滑な連携のために必要な調整ができる。</li> <li>地域の健康課題や特性に応じたケアシステムについて検討し提案することができる。</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>保健福祉政策に基づき、地域特性に応じたケアシステムの構築に係る施策化ができる。</li> </ul>             |
|                | 3 事業化・施策化のための活動  | <ul style="list-style-type: none"> <li>保健医療福祉施策を理解し、事業を企画立案し、予算確保できる能力</li> <li>地域の健康課題を解決するため、自組織のビジョンを踏まえた保健医療福祉施策を提案する能力</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>所属自治体の施策体系や財政のしくみについて理解できる。</li> <li>担当事業の法的根拠や関連政策について理解し事業を実施できる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>係内の事業の成果や評価等をまとめ、組織内で共有することができる。</li> <li>地域の健康課題を明らかにし、評価に基づく事業の見直しや新規事業計画を提案できる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>係内の事業の成果や評価等をまとめ、組織内で共有することができる。</li> <li>地域の健康課題を明らかにし、評価に基づく事業の見直しや新規事業計画を提案できる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>保健医療福祉計画に基づいた事業計画を立案し、事業や予算の必要性について上司や予算担当者に説明できる。</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の健康課題を解決するための自組織のビジョンを踏まえた施策を各種保健医療福祉計画策定時に提案できる。</li> </ul> |
| 4 健康危機管理に関する活動 | 4-1. 健康危機管理の体制整備 | <ul style="list-style-type: none"> <li>平時において、地域の健康課題及び関連連法規や自組織内の健康危機管理計画等に基つき、地域の健康危機*の低減策を講じる能力</li> <li>*災害、医薬品、食中毒、感染症、飲料水その他何らかの原因により生じる地域住民の生命、健康の安全を脅かす事象</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康危機対応マニュアルに基づき、予防活動を行うことができる。</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康危機対応マニュアルに基つき、予防活動を行うことができる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域特性を踏まえ健康危機の低減のための事業を提案できる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>有事に起こりうる複雑な状況の対応に備え、平時より関係者との連携体制を構築できる。</li> <li>健康危機管理計画や体制の見直しを計画的に行うことができる。</li> </ul> |   |
|                | 4-2. 健康危機発生時の対応  | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康危機発生時に、組織内外の関係者と連携し、住民の健康被害を回避し、必要な対応を迅速に判断し実践する能力</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>発生要因を分析し、二次的健康被害を予測し予防するための活動を主体的に実施できる。</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報を整理し組織内外の関係者へ共有でき、変化する状況を踏まえ、二次的健康被害を予測し、予防活動を計画、実施できる。</li> </ul>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康被害を予測し、回避するための対応方法について、変化する状況を踏まえて、見直しができる。</li> <li>組織内の関連部署と連携、調整できる。</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康被害を予測し、回避するための対応方法について、変化する状況を踏まえて、見直しができる。</li> <li>組織内の関連部署と連携、調整できる。</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>有事に起こる複雑な状況に、組織の代表者を補佐し、関係者と連携し対応できる。</li> </ul>               |

| 保健師の活動領域    |  | 各レベルにおいて求められる能力  |   |  |   |  |  |
|-------------|--|--|---|--|---|--|--|
| 5<br>管理的活動  | 保健師の活動領域   | 求められる能力  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・PDCAサイクルに基づく事業評価方法を理解できる。</li> <li>・担当する事例に係る評価結果に基づき支援方法の見直しができる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・所属係内のメンバーと共同して事業の評価及び見直しを主体的に実施できる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・所属係内で事業評価が適切に実施できるよう後輩保健師を指導できる。</li> <li>・事業計画の立案時に評価指標を適切に設定できる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・所属部署内外の関係者とともに事業評価を行い、事業の見直しや新規事業の計画を提案できる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価に基づき保健活動の効果を検証し、施策の見直しについて提案できる。</li> <li>・施策立案時に評価指標を適切に設定できる。</li> </ul> |
|             | 5-1. PDCAサイクルに基づく事業・施策評価   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・所属部署内外の関係者とともに、事業評価及び施策評価、保健活動の効果検証を行う能力</li> <li>・評価結果等の根拠に基づき事業及び施策の必要な見直しを行う能力</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織における情報管理に係る基本指針を理解し、業務に係る文書等を適切に管理できる。</li> <li>・保健活動上知り得た個人情報等を適切に取り扱うことができる。</li> <li>・業務の記録を適切に行い関係者への情報伝達ができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健活動に係る情報の取扱が適切に行われているか、自主的に確認できる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・所属係内の保健師が規則を遵守して保健活動に係る情報を管理するよう指導できる。</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健活動に係る情報管理上の不則の事態が発生した際に、所属部署内で主導して対応できる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健活動の情報管理に関する規則の遵守状況を評価し、マニュアル等の見直しを提案できる。</li> </ul>                        |
|             | 5-2. 情報管理  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織内外の保健活動に係る情報を適切に保管、開示、保護する能力</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織の記録を適切に行い関係者への情報伝達ができる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己のキャリア形成ビジョンを持ち、積極的に自己研鑽できる。</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・後輩保健師の指導を通して人材育成上の課題を抽出し、見直し案を提示できる。</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師の研修事業を企画し、実施・評価できる。</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織の人材育成方針に沿った保健師の人材育成計画を作成できる。</li> </ul>                                    |
| 5-3. 人材育成   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織の人材育成方針を理解し、保健師の人材育成計画を作成する能力</li> <li>・継続的に自己研鑽するとともに、後輩を指導・育成する能力</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠に基づいた保健活動の実践する能力</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導を受けながら研究的手法を用いて事業の評価ができる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究的手法を用いた事業評価ができる。</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域診断などにおいて研究的手法を用いて分析し、根拠に基づき保健事業を計画できる。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠に基づき、質の高い保健事業を提案し、その効果を検証できる。</li> </ul>             |  |
| 6. 保健師の活動基盤 |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師の活動理念である社会的公正性・公共性について理解し、活動を倫理的に判断する能力</li> </ul>  | 保健師の活動の理念である社会的公正性・公共性について理解し、活動を倫理的に判断できる  |  |   |  |  |

自治体保健師の標準的なキャリアラダー(管理職保健師に向けた能力に係るキャリアラダー)

別紙2-2

|             |              |              |               |
|-------------|--------------|--------------|---------------|
| キャリアレベル     |              |              |               |
| (係長級への準備段階) | B-1<br>(係長級) | B-2<br>(係長級) | B-3<br>(課長級)  |
|             |              |              | B-4<br>(部局長級) |

| 保健師の活動領域 |            | 各レベルにおいて求められる能力  |   |   |  |
|----------|------------|--|---|---|--|
| 管理的活動    | 1. 政策策定と評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>国の動向や自組織の方針を理解し、担当部署に係る活動方針のビジョンを示し、必要に応じた見直しを行う能力</li> <li>自治体を代表して外部機関の上位者との調整や交渉を行う能力</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>住民の健康課題等に基づく事業化、施策化及び事業評価に基づく見直しができる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>保健医療福祉に係る国の動向や組織の方針、施策の評価を踏まえ、組織の政策ビジョンに係る提言ができる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>保健医療福祉政策に係る必要な計画や法制度整備について組織内で提言し、実現に向け組織の意志決定者及び関係機関にはたらきかけることができる。</li> </ul>                                 |
|          | 2. 危機管理    | <ul style="list-style-type: none"> <li>危機等の発生時に組織の管理者として迅速な判断を行う能力</li> <li>組織内外の調整を行う能力</li> <li>危機を回避するための予防的措置が行われるよう管理する能力</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理マニュアルに沿って行動できるよう訓練等を企画できる。</li> <li>有事に組織内の人員や業務の調整を行い、課長の補佐や部下への指示ができる。</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>課員が危機管理マニュアルに沿って行動できるよう各係長級に対し、訓練等の実施を指導できる。</li> <li>有事に、組織の対応方針に基づき、組織内の人的物的資源等の調整や管理ができる。</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理に必要な計画・マニュアル・内規等の整備を組織に提言し、実現化することができる。</li> <li>有事に、行政の保健医療福祉組織を代表して、関係機関の代表者と連携し、部局を統括して対応できる。</li> </ul> |
|          | 3. 人事管理    | <ul style="list-style-type: none"> <li>担当部署内の全職員の能力・特性を把握し、資質向上のしくみづくりと必要に応じた見直しを行う能力</li> <li>組織目標・計画を踏まえて保健師採用計画・配置基準・人事異動を提言する能力</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>係内職員の能力・特性を把握し、資質向上のための取組を企画、実施、評価できる。</li> <li>係内の業務内容と量を勘案し、人材配置について課長に提案できる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>専門職の人材育成計画を策定するため関係者が協働し検討できる場を設置し運営できる。</li> <li>関係課長と連携し、保健師の業務範囲等を踏まえ保健師必要数について人事部門を含め組織内で提案できる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>組織目標・計画を踏まえて、保健師採用計画・配置基準・人事異動を提言できる。</li> </ul>  |

# 兵庫県保健師キャリア支援センター事業

(神戸市看護大学 いちかんだiversity看護開発センター内)

## 兵庫県保健師キャリア支援センター(2021.4月設置)

県内のすべての保健師の質の向上を目指す人材育成拠点

現職保健師

潜在保健師

資質向上・キャリア支援  
人材確保

### 人材育成研修

兵庫県人材育成ガイドラインに則った研修

2023年度参加者

新任期 延705名  
プリセプター 43名  
地域ケアの総合調整研修 16名  
3市・3大学

### キャリア支援

リカレント教育・キャリア相談

2023年度実績(2024.3.11現在)

キャリア相談 9件  
オンデマンド研修  
保健師就業・復職支援研修会  
8名(聴講者含む)

### 兵庫県保健師キャリア支援センター

事務局:神戸市看護大学

兵庫県

運営委託

### 調査研究

- ①保健師のキャリア支援に関するニーズと支援体制に関する研究
- ②新任期保健師の職歴を考慮した人材育成支援に関する研究
- ③行政保健師の産育休取得前後の支援ニーズに関する研究

(2023年度全て現在進行中)

### 業務検討会

構成員12名  
保健師代表  
(県、政令市、中核市、市町)  
兵庫県看護系大学協議会  
県看護協会

2023年度 年1回開催

兵庫県看護協会

兵庫県内行政機関

ネットワーク構築

兵庫県内事業所等

兵庫県内看護系大学





新任期保健師研修 専門的能力評価表

評価：  
 ◎達成できた  
 ○だいたい達成できた  
 △あまり達成できなかった  
 ×達成できなかった

2 地域診断(2年目相当)

※本評価表の種類について、自己評価か他者評価(指導者評価)のいずれかに☒を入れてください

評価年月日: [ ]

評価種類:  自己評価  他者評価

評価対象者(新任期保健師名): 所属[ ] 氏名[ ]  
 指導者(指導保健師評価者名): 所属[ ] 職氏名[ ]

※ は、1個別支援受講時に達成しているべき項目(再評価すること)

| 能力・役割<br>(到着目標) | 具体的説明<br>(行動目標)                       | (達成目標)                                       | 評価                       |
|-----------------|---------------------------------------|--|--------------------------|
| (1)個人・家族、集団への支援 | ③地域にある社会資源や地区組織活動・セルフヘルプグループの活動を理解する。 | 地区組織活動やセルフヘルプグループの活動内容を説明できる                 | <input type="checkbox"/> |
|                 |                                       | 地域の組織等と必要時連絡が取れ、連携して社会資源を活用できる               | <input type="checkbox"/> |
|                 |                                       | 個人・家族が活用可能な社会資源の情報を提供できる                     | <input type="checkbox"/> |
|                 |                                       | 個人・家族等対象者が社会資源を利用できるよう調整できる                  | <input type="checkbox"/> |
|                 | ④個別事例を地域全体の中に位置づけて考えることができる。          | 個別事例への支援を通じて地域の課題へ視点を広げることができる               | <input type="checkbox"/> |
|                 |                                       | 地域のデータと個別事例を関連させて考えることができる                   | <input type="checkbox"/> |
|                 |                                       | 地域のデータと個別事例を関連させ、地域の健康課題を抽出し説明できる            | <input type="checkbox"/> |
| (2)企画・立案・評価     | ①担当地域の健康課題を知る。                        | 担当分野、地域について必要な情報を集めることができる                   | <input type="checkbox"/> |
|                 |                                       | 担当地域の健康課題について説明できる                           | <input type="checkbox"/> |
| (3)情報収集・調査研究    | ①地域の特性、保健情報、援助対象の保健情報、社会資源等を収集できる。    | 必要な情報があるデータベースを知っている                         | <input type="checkbox"/> |
|                 |                                       | 収集した情報を地域特性や健康課題を抽出するデータとして整理・選択し、保管することができる | <input type="checkbox"/> |
|                 |                                       | 地区診断をレポートにまとめることができる                         | <input type="checkbox"/> |
|                 |                                       | 担当する地域の統計資料を収集し、県、国の資料と比較や分析を行う              | <input type="checkbox"/> |
|                 | ②調査研究課題を見出すことができる。                    | 家庭訪問、保健事業への参加や関係機関との連絡をとおして地域特性を説明できる        | <input type="checkbox"/> |
|                 |                                       | データや情報から地域の潜在化している健康問題を抽出できる                 | <input type="checkbox"/> |
|                 |                                       | 担当する地域、業務から調査研究課題を明確にできる                     | <input type="checkbox"/> |
|                 |                                       | 職場内で地区診断結果をプレゼンテーションし、今後の方針について検討できる         | <input type="checkbox"/> |
|                 |                                       | 職場内で地域の健康問題の解決策が立案できる                        | <input type="checkbox"/> |

### 新任期保健師研修 専門的能力評価表

#### 3 地域診断に基づくPDCA(3年目相当)

※本評価表の種類について、自己評価か他者評価(指導者評価)のいずれかに☑を入れてください

評価年月日: [ ]

評価種類:  自己評価       他者評価

評価対象者(新任期保健師名): 所属[ ] 氏名[ ]

指導者(指導保健師評価者名): 所属[ ] 職氏名[ ]

評価:

◎達成できた

○だいたい達成できた

△あまり達成できなかった

×達成できなかった

※    は1個別支援、2地域診断受講時に達成しているべき項目(再評価すること)

| 能力・役割<br>(到着目標)                                   | 具体的説明<br>(行動目標)                               | (達成目標)   | 評価  |
|---|---|--|---|
| (1)個人・家族、集団への支援                                   | ①訪問や面接などで相談者の話をしっかり聞き、信頼関係を築くことができる。          | 担当地区の訪問対象者を把握することができる  |   |
|   |   | 訪問の優先順位を考えることができる  |   |
|   |   | 対象者の状況にあわせて、家庭訪問、面接相談、電話相談などを組み合わせて、適切な保健指導や生活支援が展開できる         |   |
|   |   | 対象者に事前連絡し、訪問日時を調整して設定できる                                       |   |
|   |   | 対象にあわせた必要物品を整えることができる  |   |
|   |   | 訪問目的の主たる対象者に直接会うことができる   |   |
|   |   | 訪問先で、あいさつ・自己紹介・訪問目的を適切に伝えられる                                   |   |
|   |   | 相手の話の腰を折らず、適度なあいづちをうちながら話をしっかり聴くことができる                         |   |
|   |   | 個別事例との援助関係(信頼関係)が確立できる   |   |
|   |   | 生活者としての価値感や信念を尊重することができる                                       |   |
|   |   | 障害や疾患・不安をもつ事例等、対応困難事例に対して、関わりの方策を工夫できる                         |   |
|   |   | 障害や疾患・不安をもつ事例等、対応困難事例と面接し、円滑な信頼関係を築くことができる                     |   |
|   |   | ②個人や家族単位で行う保健指導に必要な情報収集、分析、計画の立案を行うことができ、行動変容を促す保健指導を行うことができる。 | 対象者に保健指導を行うために必要な、発達・発育、疾患等についての知識をもつことができる |
|   | 訪問場面での状況や健康ニーズ予測し、訪問計画を立案できる                  |  |   |
|   | 相談内容の緊急性や重要性について判断できる                         |  |   |
|   | 対象者の身体状況を把握できる(バイタルサイン・発育発達状況、母子手帳の確認など)      |  |   |
|   | 安全な方法で支援技術を提供できる                              |  |   |
|   | 対象者の話を整理し、主訴を的確にとらえることができる                    |  |   |
|   | 個人・家族のもつ力を引き出すことができる                          |  |   |
|   | 家庭環境の観察や相談内容によって、訪問計画を修正できる                   |  |   |
|   | 判断に迷うこと、わからないことについての対応がとれる(確認後の回答、上司の判断を得るなど) |  |   |
|   | 個人、家族の健康課題をアセスメントし、健康ニーズを判断できる                |  |   |
|   | 必要な情報を収集し、科学的根拠に基づいて分析できる                     |  |   |
|   | 現実的で対象者が納得できる保健指導計画が立案でき説明できる                 |  |   |
|   | 保健指導案に基づき、対象者にわかり易く保健指導できる                    |  |   |
|   | 対象者の変化を見ながら指導ができる                             |  |   |
| 健康課題の解決に向け、主体性を尊重した援助ができる                         |   |  |   |
| 行動変容を促す援助ができる                                     |   |  |   |
| 今後のかわり方等について対象者に伝えることができる                         |   |  |   |
| 具体的かつ客観的に記録を作成し、今後の方針を立てることができる                   |   |  |   |
| 訪問結果及び支援経過を正確かつ迅速に報告できる                           |   |  |   |
| 単独で継続訪問できる  |   |  |   |
| 困ったときには指導者の助言を求めることができる                           |   |  |   |
| 継続訪問した事例のサマリーを作成し、自己の支援方法について振り返って今後の活動に活かすことができる |   |  |   |
| 支援に必要な関係機関を理解できる                                  |   |  |   |





# 保健師キャリア相談

無料

保健師の業務やキャリアに関することで  
困っていることや相談したいことはありませんか？

地域課題を多角的な  
視点から分析して  
みたい。

プリセプターとして  
どう対応したら  
いいだろう。

今関わっている  
個別対応はこれで  
いいのかしら？

保健師としてどのように  
キャリアアップして  
いったらいいのかな。

## 主な相談内容

- ①保健師活動に関する具体的な相談（事業、個別支援等）
- ②スキルアップに関する事
- ③キャリアラダーに関する事
- ④保健師活動に関する調査研究に関する事
- ⑤その他保健師活動に関する事 何でも！



**日時：**毎月第3水曜日 13:00～20:00

上記以外の日程（土曜日も含む）や相談方法は調整可能ですのでご相談ください。

**方法：**面談（来所・遠隔）または電話（**予約制**）

**予約方法：**メール（**随時**）

**相談員：**保健師キャリア支援センター教員（磯濱）  
公衆衛生看護学分野教員（岩本、山下）

**連絡先：**保健師キャリア支援センター事務局

（神戸市看護大学 いちかんダイバーシティ看護開発センター内）

**Mail : [phncenter@kobe-ccn.ac.jp](mailto:phncenter@kobe-ccn.ac.jp)**

ご相談いただいた事やその内容は、ご所属の方など他者へお話することはありませんので  
安心してご相談ください。なお、ご自身が希望される場合には、他者へ情報提供することもで  
きます。

**問い合わせ先:神戸市看護大学内 兵庫県保健師キャリア支援センター**

**〒651-2103 神戸市西区学園西町3丁目4番地**

**TEL 078-794-8084（直通）** ※直通電話はつながりにくいこともありますのでご了承ください。

**078-794-8080（代表）**

相談内容は匿名の上統計的に処理し、今後の保健師支援に活かすための研究に活用させていただきますのでご了承ください。

# 兵庫県 保健師キャリア支援センター

2021年4月設置

保健師の質の向上を目的として、保健師人材育成の拠点となる  
兵庫県保健師キャリア支援センターを神戸市看護大学内に設置いたしました。

## 1 保健師のキャリア相談

保健師業務に関する質問をなんでもどうぞ！

予約制

毎月第3水曜日  
面談・電話

にて実施

- ・ホームページより随時受付中
- ・日時・方法は応相談（オンライン相談も可）
- ・いちかんダイバーシティ看護開発センター教員、公衆衛生看護学領域教員が相談対応



お申込フォームは  
こちら



## 2 保健師人材育成研修

兵庫県保健師人材育成ガイドラインに  
則り研修を実施します。

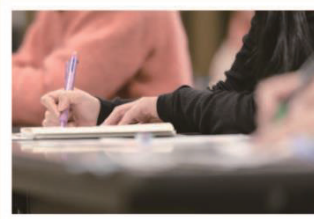
新任期 保健師研修

中堅期 保健師研修

統括期 保健師研修

オンデマンド研修

県下の先駆的保健師活動の紹介など、随時アップ



随時更新中！



## 3 保健師に関する調査研究



## 4 兵庫県 保健師キャリア支援センター ホームページ

キャリア相談の  
お申し込みもHPから

<https://kobe-phn-cc.jp/>

- ・キャリアアップ情報
- ・研修等の案内
- ・相談窓口フォーム等



〒651-2103 神戸市西区学園西町3丁目4番地（神戸市看護大学内）  
（直通電話）078-794-8084 /（大学代表）078-794-8080  
phncenter@kobe-ccn.ac.jp

ご要望を  
お寄せ  
ください

兵庫県保健師キャリア支援センター事務局名簿

2023年度

| 機 関 名                                    | 職 名  | 氏 名    |
|--|------|--------|
| 公立大学法人 神戸市看護大学<br>いちかんだ이버シティ看護開発センター     | 特任講師 | 磯濱 亜矢子 |
| 公立大学法人 神戸市看護大学<br>看護学部健康生活看護学領域公衆衛生看護学分野 | 教 授  | 岩本 里織  |
|  | 講 師  | 山下 正   |
|  | 助 教  | 山田 暢子  |
|  | 助 教  | 遠藤 真澄  |
| 公立大学法人 神戸市看護大学<br>事務局                    | 担当課長 | 篠原 良浩  |
| 公立大学法人 神戸市看護大学<br>事務局経営管理課               | 担当係長 | 北 正明   |
|  |      | 植村茉菜美  |
|  |      | 高坂 泰司  |

## 編集後記

神戸市看護大学が兵庫県から委託を受け、本学と兵庫県健康増進課が協力しながら運営を行う兵庫県保健師キャリア支援センターが設立して、今年で丸3年が経ちました。

今年度は新型コロナウイルス感染症流行の影響がほぼなくなり、対面での研修を基本に、顔の見える環境だからこそ得られるものを大事にさせていただきたい思いで取り組んでまいりました。特に、同期(同年代)同士の交流を始め、経験年数の異なる保健師同士のグループ編成や交流により、横と縦のつながりによる学びの場を大事に企画・実施いたしました。ご参加の皆様からは、私達事務局の思いの通じた声として多く寄せられ、試行錯誤しながら取り組んだ甲斐があったと実感しています。

保健師の活動は、知識として学びを積み重ねるもののほかに、先輩保健師の後ろ姿から伝承されるものも多くあります。それらは、直接見聞きし、共に活動することで後輩保健師の意識となり、行動となって現れ、地域に根付いていくものです。各々の現場の中で相互から学び合うものが根底にあり、それを他機関の保健師同士と分かち合えることで、保健師全体の資質が高まっていくことを願っています。

当センターでは、今後も引き続き県下全体での学びを支える取組をしてまいります。その取組を下支えしているのは、県や市町など各現場の皆様の日々の活動です。県下の保健師の皆様と当センターが車の両輪となって、兵庫県の保健師活動の未来を作り上げられるよう、これからも尽力してまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

2024年3月

兵庫県保健師キャリア支援センター事務局教員

磯濱 亜矢子(いちかんダイバーシティ看護開発センター・特任講師)

岩本 里織(神戸市看護大学公衆衛生看護学分野・教授)

山下 正(神戸市看護大学公衆衛生看護学分野・講師)

山田 暢子(神戸市看護大学公衆衛生看護学分野・助教)

遠藤 真澄(神戸市看護大学公衆衛生看護学分野・助教)

兵庫県保健師キャリア支援センター事業実績報告書  
(2023年度)

発行日 2024年3月31日

発行者 兵庫県保健師キャリア支援センター事務局  
(公立大学法人 神戸市看護大学)

〒651-2103

兵庫県神戸市西区学園西町3丁目4番地

TEL 078-794-8080(代表) / 078-794-8084(直通)

